

**城陽市障がい者計画等策定に関する
アンケート調査結果報告書**

令和 5 年 (2023 年) 7 月

城陽市

目次

I. 調査の概要.....	1
1 調査目的.....	3
2 実施要領.....	3
3 回収状況.....	3
4 報告書の見方.....	3
5 調査結果の概要.....	4
II. 調査の結果.....	7
1 基本的事項.....	9
〔1〕 回答者	
〔2〕 性別	
〔3〕 年齢	
〔4〕 居住地域	
〔5〕 身体障害者手帳の等級	
〔6〕 主たる障がいの種類（身体）	
〔7〕 療育手帳の障がいの程度	
〔8〕 精神障害者保健福祉手帳の有無	
〔9〕 通院医療費助成（精神等）	
〔10〕 発達障がいや難病の認定	
2 医療や介護保険について.....	16
〔1〕 現在受けている医療的ケア	
〔2〕 医療に関して困っていること	
〔3〕 介護保険サービスの利用	
〔4〕 要介護度	
〔5〕 医療への希望（精神等）	
3 生活の状況について.....	20
〔1〕 主な収入源	
〔2〕 家族構成	
〔3〕 主な介助者	
〔4〕 家庭や家族のことで困っていること	
〔5〕 平日の居場所	
〔6〕 休日の居場所	
〔7〕 今後の生活場所の希望	
〔8〕 地域で希望する支援	
4 就労について.....	28
〔1〕 現在の就労状況	
〔2〕 就労形態	
〔3〕 仕事を見つけた方法	
〔4〕 仕事や職場への希望	
〔5〕 働いていない理由	
〔6〕 今後の就労意向	
〔7〕 希望する雇用形態	
5 外出について.....	35
〔1〕 主な外出手段	
〔2〕 外出時に困ること	
6 余暇や地域活動について.....	37
〔1〕 参加してみたい活動（身体）	

〔2〕 地域活動参加状況	
〔3〕 地域活動に参加していない理由	
7 サービス利用について	40
〔1〕 自立支援給付サービスの利用状況と満足度	
〔2〕 自立支援給付サービスで不満と感ずる内容	
〔3〕 地域生活支援事業の利用状況と満足度	
〔4〕 地域生活支援事業のサービスで不満と感ずる内容	
〔5〕 サービスを決定している人	
〔6〕 必要なサービス	
〔7〕 必要と感ずるサービスや支援	
8 情報について	58
〔1〕 情報の入手方法	
〔2〕 充実すべき情報発信方法	
9 地域での暮らしや悩み・相談について	60
〔1〕 近所との付き合いの程度	
〔2〕 自治会長、民生委員・児童委員の認知	
〔3〕 悩みや相談事	
〔4〕 日常的な相談相手	
〔5〕 現在の相談体制について	
10 災害時の避難等について	65
〔1〕 一人での避難の可否	
〔2〕 助けてくれる人の有無	
〔3〕 助けてくれる人	
〔4〕 災害時に困ること	
11 権利擁護等について	68
〔1〕 成年後見制度の認知	
〔2〕 成年後見制度の利用	
〔3〕 成年後見制度について相談する相手	
〔4〕 成年後見制度について必要な情報	
〔5〕 差別経験の有無	
〔6〕 差別経験の内容	
〔7〕 いじめや虐待経験の有無	
〔8〕 虐待を受けた場所	
〔9〕 虐待を受けた相手	
〔10〕 虐待の内容	
12 城陽市の福祉の環境について	77
〔1〕 今後重要な施策	
13 介助者について	78
〔1〕 介助者の性別	
〔2〕 介助者の年齢	
〔3〕 療育及び保育での困りごと	
〔4〕 介護での困りごと	
〔5〕 介助者に必要な支援	

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、平成30年（2018年）3月に策定した「城陽市障がい者計画」の計画年度が平成30年度（2018年度）から令和5年度（2023年度）までであることから、本市にお住まいの障害者手帳を持つ方や通院医療費助成を受けている方を対象に、障がい福祉に関するご意見をお伺いし、「城陽市障がい者計画」の見直しの基礎資料とするために実施したものです。

2 実施要領

（1）調査地域

城陽市内全域

（2）調査対象及び標本抽出方法

市内在住の次の方から2,000人を無作為抽出

①身体障害者手帳所持者

②療育手帳所持者

③精神障害者保健福祉手帳所持者又は通院医療費助成を受けている方

（3）調査方法

郵送による配布・回収

（4）調査基準日

令和4年（2022年）11月1日

（5）調査時期

配布開始：令和4年（2022年）12月6日（火）

回収終了：令和4年（2022年）12月23日（金）

3 回収状況

調査対象	配布数	有効回収数	有効回収率
①身体障害者手帳所持者	1,300件	742件	57.1%
②療育手帳所持者	200件	74件	37.0%
③精神障害者保健福祉手帳所持者等	500件	192件	38.4%
計	2,000件	1,008件	50.4%

4 報告書の見方

- ・回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著し

I 調査の概要

く困難なものを集計しています。

- 図表等の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 調査対象について、「身体障害者手帳所持者」を「身体」、「療育手帳所持者」を「療育」、「精神障害者保健福祉手帳所持者等」を「精神等」とそれぞれ略称しています。
- 設問ごとに、該当する調査対象及び設問番号を記載しています。

5 調査結果の概要

(1) 医療や介護保険について

医療に関して困っていることについては、身体、精神等で「特にない」が、療育で「医師に病状を伝えることが難しい」が最も多くなっています。また、療育、精神等では「医療機関に関する情報が少ない」、「専門的な医療を受けられる機関が近くにない」も多くなっています。

介護保険サービスの利用については、「利用している」は身体が最も多く、療育、精神等ではそれぞれわずかとなっています。また、要介護度は、身体、精神等で「要支援2」が最も多くなっています。

医療への希望（精神等）については、「病気の経過や見通しについて知りたい」が最も多く、次いで、「薬の効果や副作用について知りたい」が多くなっています。

(2) 生活の状況について

主な収入源については、身体、療育で「自分の年金」が、精神等で「家族の給料や年金」が最も多くなっています。

家族構成については、身体で「夫婦二人暮らし」が、療育、精神等で「自分と親」が最も多くなっています。また、主な介助者については、身体で「配偶者」が、療育で「親」が、精神等で「介助者はいない」が最も多くなっています。

家庭や家族のことで困っていることについては、身体、療育で「高齢者や障がい者だけの世帯である」が、精神等で「生活が困窮している」が最も多くなっています。

平日の居場所については、身体で「家族と過ごしている」が、療育、精神等で「仕事や通学をしている」が最も多くなっています。また、休日の居場所については、いずれの調査対象でも「家族と過ごしている」が最も多くなっています。

今後の生活場所の希望については、いずれの調査対象でも「家族と暮らしたい」が最も多くなっています。

地域で希望する支援については、身体で「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が、療育、精神等で「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。

(3) 就労について

現在の就労状況については、「働いている」は療育で最も多くなっています。就労形態については、身体、精神等で「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）」が、療育で「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしている」が最も多くなっています。また、仕事を見つけた方法については、身体、精神等で「直接自分で探した」が、療育、精神等で「就労支援機関や公共職業安定所のあっせん」が最も多くなっています。また、仕事や職場への希望については、いずれの調査対象でも「安定した収入」が最も多くなっています。

働いていない理由については、身体で「高齢のため」が、療育で「障がいや重度のため」が、

精神等で「病気のため」が最も多くなっています。

また、今後の就労意向については、「仕事をしたい」は精神等で最も多くなっています。一方、「仕事ができない」は身体で最も多くなっています。

(4) 外出について

主な外出手段については、身体、精神等で「徒歩や自転車」が、療育で「家族が運転する自動車」が最も多くなっています。

外出時に困ることについては、身体で「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用づらい」が、療育、精神等で「歩道がないなど道路が危険である」が最も多くなっています。

(5) 余暇や地域活動について

参加してみたい活動（身体）については、「パソコン教室」が最も多くなっています。

地域活動参加状況については、いずれの調査対象でも「十分している」と「まあまあしているほうだ」を合わせた『参加している』に比べて「あまりしているとはいえない」と「何もしていない」を合わせた『参加していない』が多くなっています。また、地域活動に参加できない理由については、いずれの調査対象でも「したいとは思わない」が最も多くなっています。

(6) サービス利用について

自立支援給付サービスの利用状況については、身体で「家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス」、「日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス」が、療育で「福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う」が、精神等で「日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス」が最も多くなっています。

また、自立支援給付サービスの満足度については、概ね「不満がある」に比べて「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が多くなっています。

地域生活支援事業の利用状況については、身体で「日常生活用具の給付」が、療育で「日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと」が、精神等で「サービス事業所などでの相談」が最も多くなっています。また、地域生活支援事業の満足度については、いずれも「不満がある」に比べて「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が多くなっています。

必要なサービス、必要と感じるサービスや支援については、「特にない」が最も多くなっています。

(7) 情報について

情報の入手方法については、身体、精神等で「テレビ」が、療育で「家族、親族」が最も多くなっています。

充実すべき情報発信方法については、いずれの調査対象でも「市の広報」が最も多くなっています。

(8) 地域での暮らしや悩み・相談について

近所との付き合いの程度については、いずれの調査対象でも「顔を合わせばあいさつする程度」が最も多くなっています。

自治会長、民生委員・児童委員の認知について「知っている」は、いずれも身体で最も多くなっています。

悩みや相談事については、いずれの調査対象でも「自分の健康や治療のこと」が最も多くな

I 調査の概要

っています。また、日常的な相談相手については、いずれの調査対象でも「家族・親類」が最も多くなっています。

現在の相談体制については、身体で「満足している」が最も多くなっていますが、一方で、いずれの調査対象でも「どこに相談したらよいかわからない」が多くなっています。

(9) 災害時の避難等について

一人での避難の可否については、身体、精神等で「できる」が、療育で「できない」が多くなっています。また、助けてくれる人の有無については、身体、精神等で「わからない」が、療育では「いない」が最も多くなっています。

助けてくれる人については、いずれの調査対象でも「家族」が最も多くなっています。

災害時に困ることについては、身体、精神等で「投薬や治療が受けられない」が、療育は「どのように対応すべきか自分で判断できない」が最も多くなっています。

(10) 権利擁護等について

成年後見制度の認知については、いずれの調査対象でも「よく知っている」と「多少は知っている」を合わせた『知っている』に比べて「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「全く知らない、聞いたことがない」を合わせた『知らない』が多くなっています。また、成年後見制度の利用については、「ある」は、精神等で最も多くなっています。

成年後見制度について相談する相手については、いずれの調査対象でも、「家族や親せき」が最も多くなっています。

成年後見制度について必要な情報については、身体、療育では「どんな場合に利用されているかなどの具体的な事例」が、精神では「制度を利用した際のだいたいの費用」が最も多くなっています。

差別経験の有無については、いずれの調査対象でも「あまり感じない」「全く感じない」をあわせた「感じない」が最も多くなっています。また、差別経験の内容については、いずれの調査対象でも「外出時（街角での人の視線や対応）」が最も多くなっています。

いじめや虐待経験の有無については、いずれの調査対象でも「ない」の方が多くなっています。

(11) 城陽市の福祉の環境について

今後重要な施策については、いずれの調査対象でも「困った時に気軽に相談できる窓口を充実させること」が最も多くなっています。

(12) 介助者について

介助者の性別については、調査対象のいずれも、女性の割合が多くなっています。また、介助者の年齢については、身体、精神等で「70歳代」が、療育で「40歳代」が最も多くなっています。

療育等での困りごとについては、いずれの調査対象でも「子どもの発達や障がいについて気軽に相談できる窓口がない」が最も多くなっています。また、介護での困りごとについては、いずれの調査対象でも「自分が高齢化してきた」が最も多くなっています。

介助者に必要な支援については、いずれの調査対象でも「介助者が介助できなくなった場合の支援」が最も多くなっています。

Ⅱ. 調査の結果

II. 調査の結果

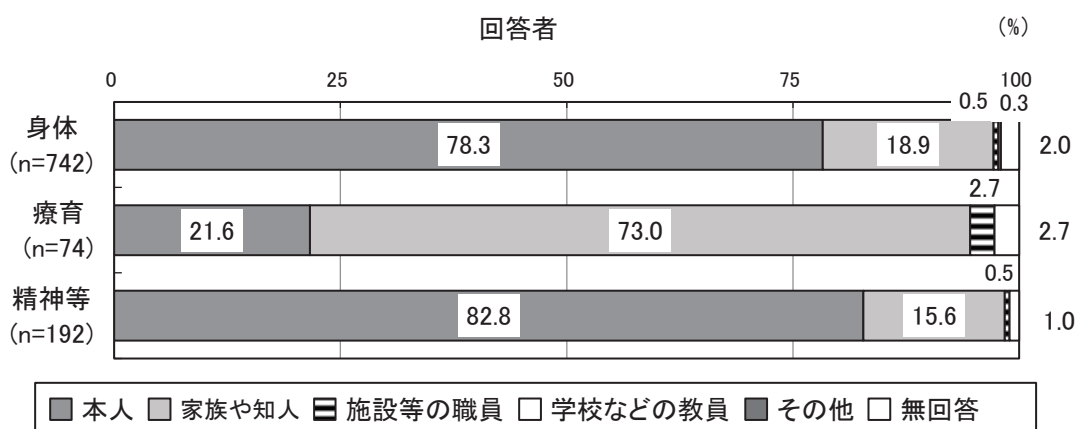
1 基本的事項

〔1〕 回答者

1 このアンケートにお答えいただいている方はどなたですか。

[身体：問 1，療育：問 1，精神等：問 1]

回答者については、身体、精神等で「本人」が約 8 割と多く、療育で「家族や知人」が約 7 割と多くなっています。

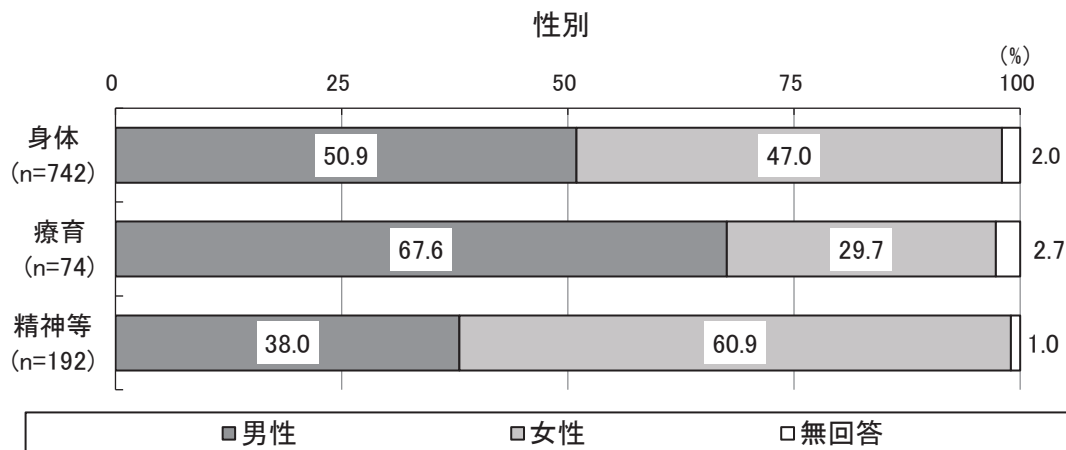


〔2〕 性別

2 あなたの性別は。※ご自身が認識されている性別または状態をお書きください。

[身体：問 2，療育：問 2，精神等：問 2]

性別については、身体では男女がほぼ半々となっており、療育では男性が 6 割を超えて多く、精神等では女性が約 6 割と多くなっています。



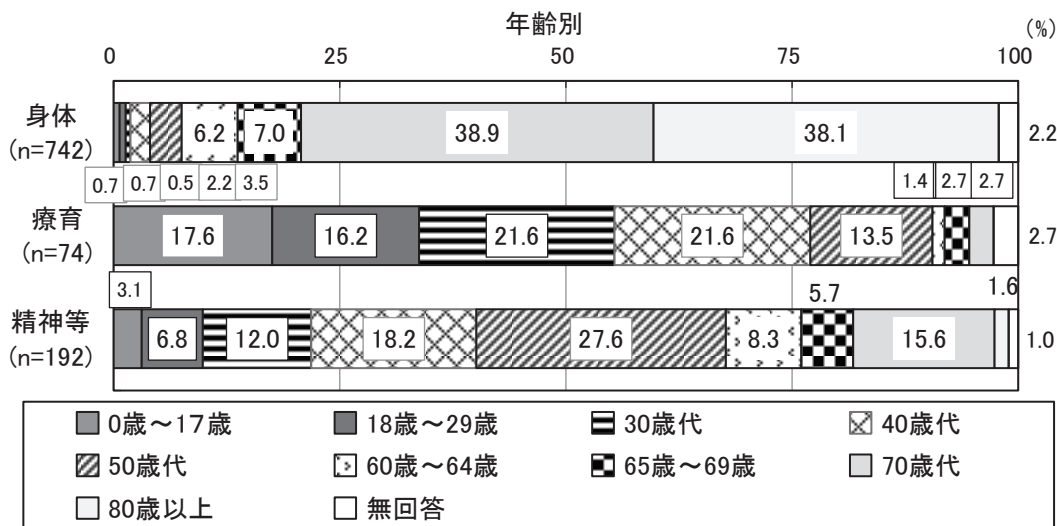
Ⅱ-1 基本的事項

〔3〕 年齢

3 あなたは何歳ですか（令和4年11月1日現在の年齢をお答えください）。

〔身体：問3，療育：問3，精神等：問3〕

年齢については、身体で「70歳代」が38.9%と最も多く、次いで、「80歳以上」が38.1%となっています。療育で「30歳代」と「40歳代」がともに21.6%と最も多くなっています。精神等で「50歳代」が27.6%と最も多く、次いで、「40歳代」が18.2%となっています。

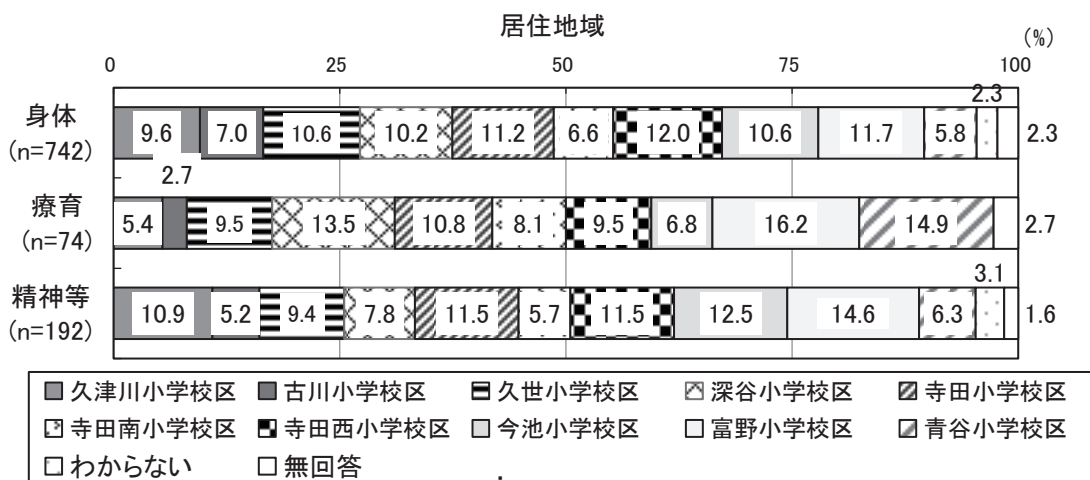


〔4〕 居住地域

4 あなたのお住まいの小学校区は次のうちどれですか。

〔身体：問4，療育：問4，精神等：問4〕

居住地域については、身体で「寺田西小学校区」が12.0%と最も多く、次いで、「富野小学校区」が11.7%となっています。療育で「富野小学校区」が16.2%と最も多く、次いで、「青谷小学校区」が14.9%となっています。精神等で「富野小学校区」が14.6%と最も多く、次いで、「今池小学校区」が12.5%となっています。

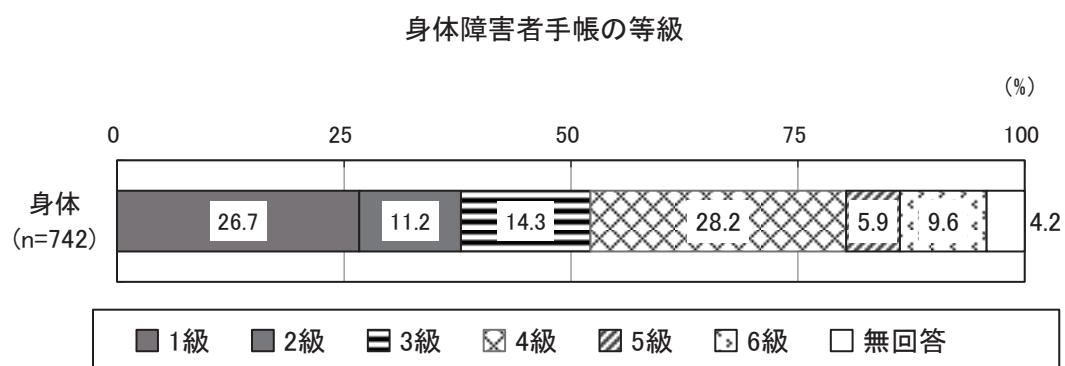


〔5〕 身体障害者手帳の等級

5 あなたの身体障害者手帳の等級は何級ですか。

[身体：問5]

身体障害者手帳の等級については、「4 級」が 28.2%と最も多く、次いで、「1 級」が 26.7%、「3 級」が 14.3%、「2 級」が 11.2%となっています。



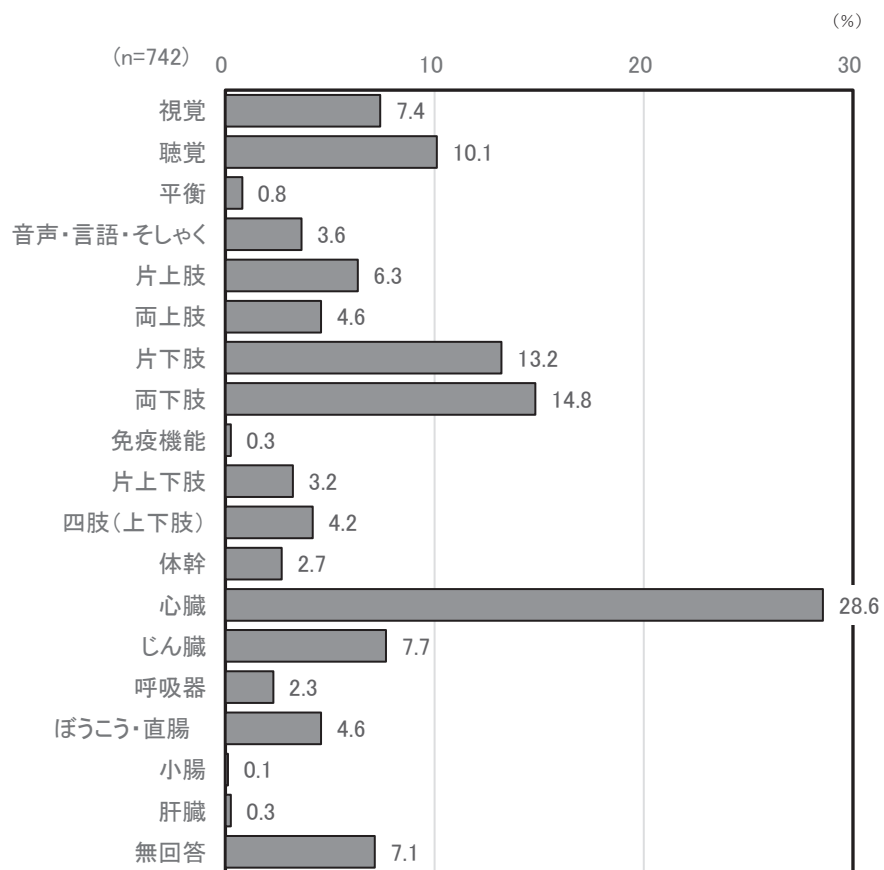
〔6〕主たる障がいの種類（身体）

6 手帳に示されているあなたの障がいの部位はどれですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問6]

主たる障がいの種類（身体）については、「心臓」が28.6%と最も多く、次いで、「両下肢」が14.8%、「片下肢」が13.2%、「聴覚」が10.1%となっています。

主たる障がいの種類（身体）

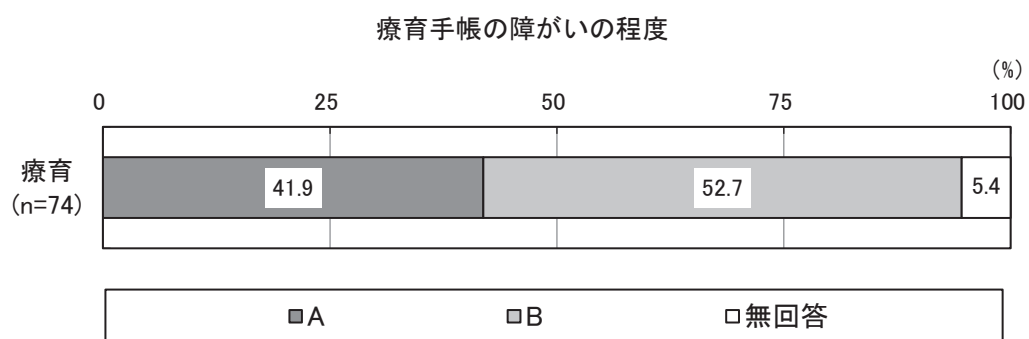


〔7〕療育手帳の障がいの程度

7 療育手帳であなたの障がいの程度はどれですか。

[療育：問5]

療育手帳の障がいの程度については、「A」が41.9%、「B」が52.7%となっています。



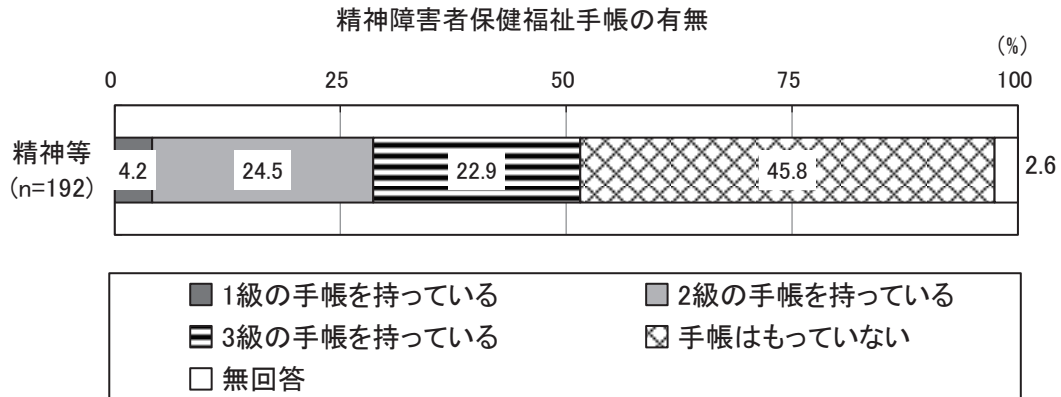
Ⅱ-1 基本的事項

〔8〕 精神障害者保健福祉手帳の有無

8 あなたは精神障害者保健福祉手帳を持っていますか。

[精神等：問5]

精神障害者保健福祉手帳の有無については、「1級の手帳を持っている」が4.2%、「2級の手帳を持っている」が24.5%、「3級の手帳を持っている」が22.9%で、これらを合わせた『手帳を持っている』人が全体の51.6%、「手帳はもっていない」が45.8%となっています。

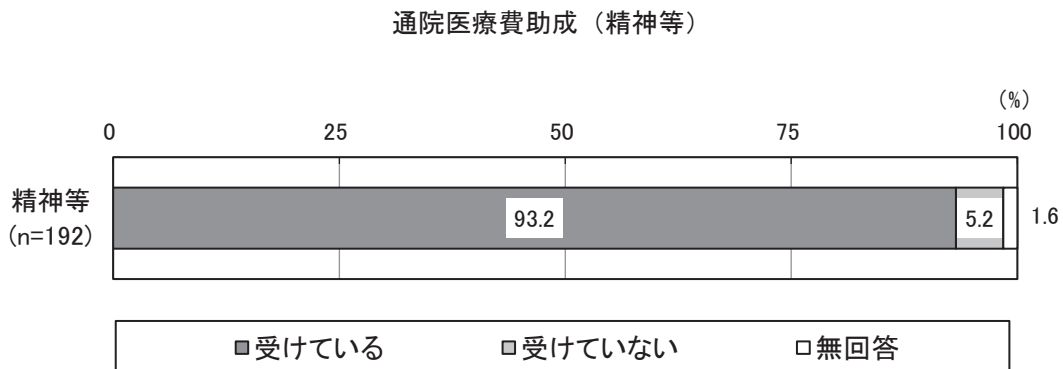


〔9〕 通院医療費助成（精神等）

9 あなたは自立支援医療（精神通院医療）を受けていますか。

[精神等：問6]

自立支援医療（精神通院医療）については、「受けている」が93.2%、「受けていない」が5.2%となっています。



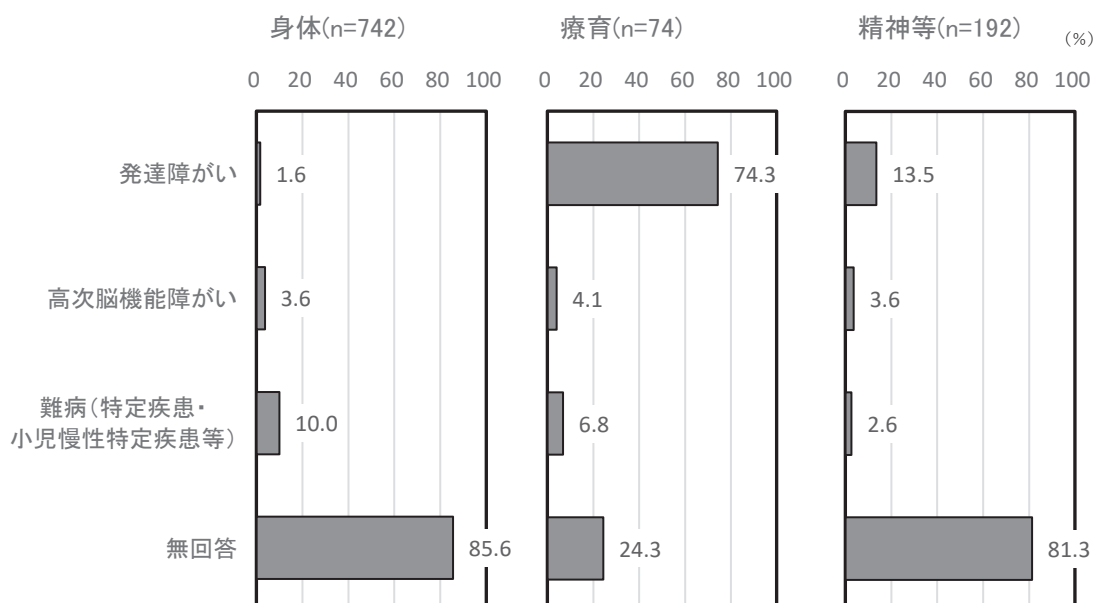
〔10〕 発達障がいや難病の認定

10 あなたは、以下の診断や認定を受けたことがありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問7，療育：問6，精神等：問7]

発達障がいや難病の認定については、身体で「難病（特定疾患・小児慢性特定疾患等）」が最も多く10.0%、療育、精神等で「発達障がい」が最も多く、それぞれ74.3%、13.5%となっています。

発達障がいや難病の認定



2 医療や介護保険について

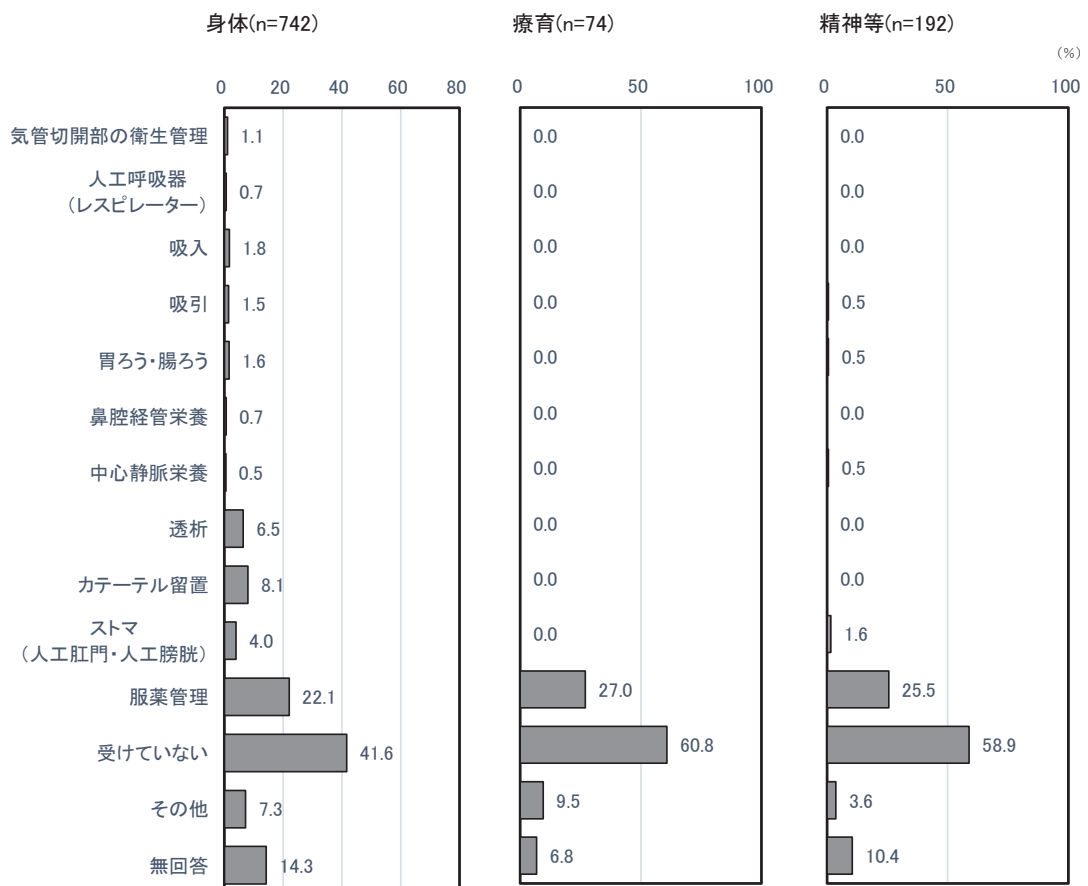
〔1〕現在受けている医療的ケア

11 あなたが現在受けている医療的ケア*をご回答ください。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。
*自宅や施設等で家族や支援者から受ける医療的援助行為

[身体：問8，療育：問7，精神等：問9]

いずれの調査対象も、医療的ケアを「受けていない」が最も多くなっています。
 現在受けている医療ケアについては、身体で「服薬管理」が22.1%と最も多く、次いで、「カテーテル留置」が8.1%、「透析」が6.5%となっています。療育、精神等でも「服薬管理」が最も多く、それぞれ27.0%、25.5%となっています。

現在受けている医療的ケア



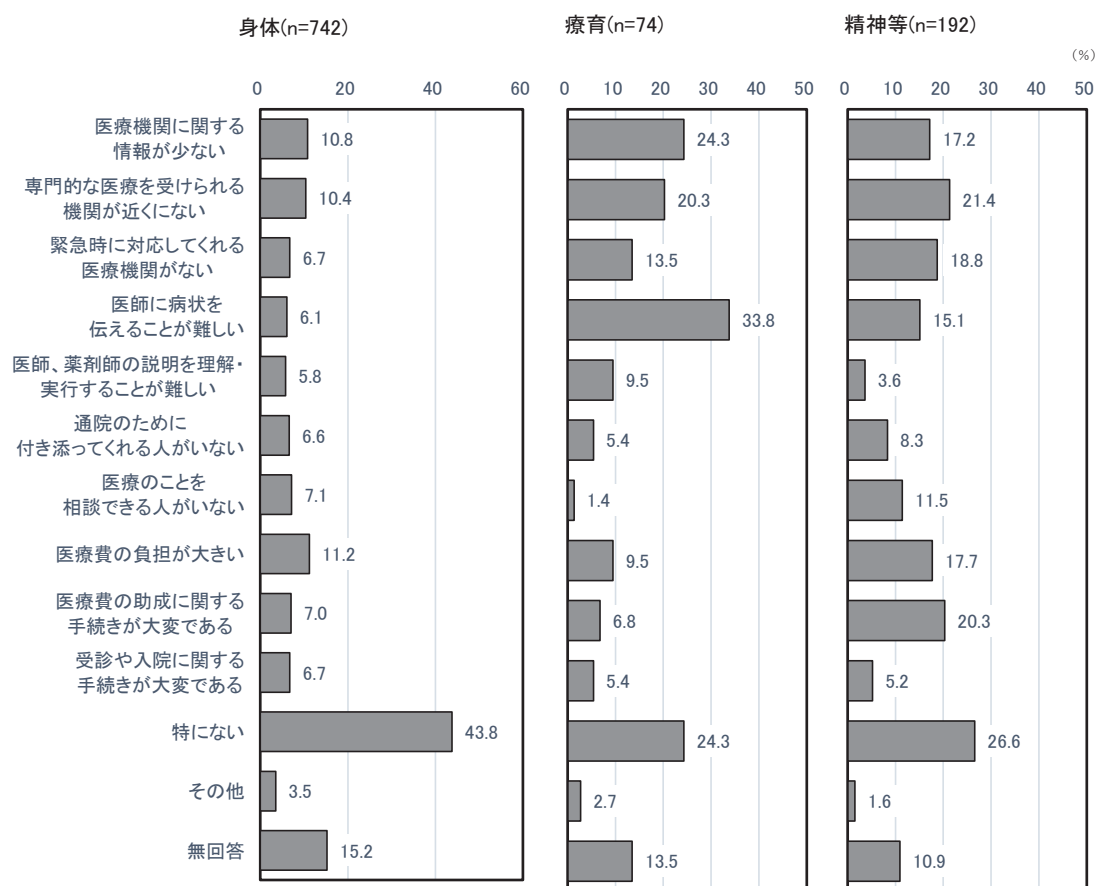
〔2〕医療に関して困っていること

12 あなたは、障がいに起因する医療に関して困っていることがありますか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

[身体：問9，療育：問8，精神等：問10]

医療に関して困っていることについては、身体で「特にない」が43.8%と最も多く、次いで、「医療費の負担が大きい」が11.2%、「医療機関に関する情報が少ない」が10.8%となっています。療育で「医師に病状を伝えることが難しい」が33.8%と最も多く、次いで、「医療機関に関する情報が少ない」、「特にない」がともに24.3%となっています。精神等で「特にない」が26.6%と最も多く、次いで、「専門的な医療を受けられる機関が近くにない」が21.4%、「医療費の助成に関する手続きが大変である」が20.3%となっています。

障がいに起因する医療に関して困っていること



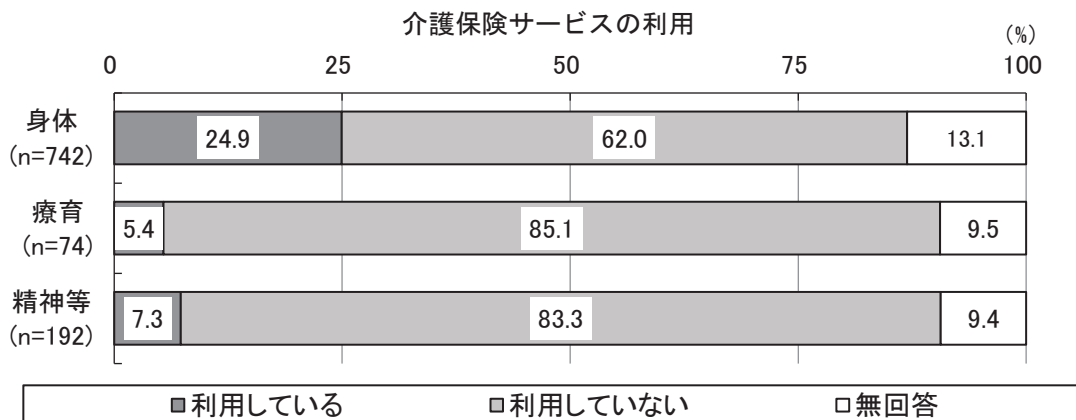
Ⅱ-2 医療や介護保険について

〔3〕 介護保険サービスの利用

13 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。

[身体：問 10，療育：問 9，精神等：問 11]

介護保険サービスの利用については、「利用している」は身体で 24.9%、療育で 5.4%、精神等で 7.3%となっています。

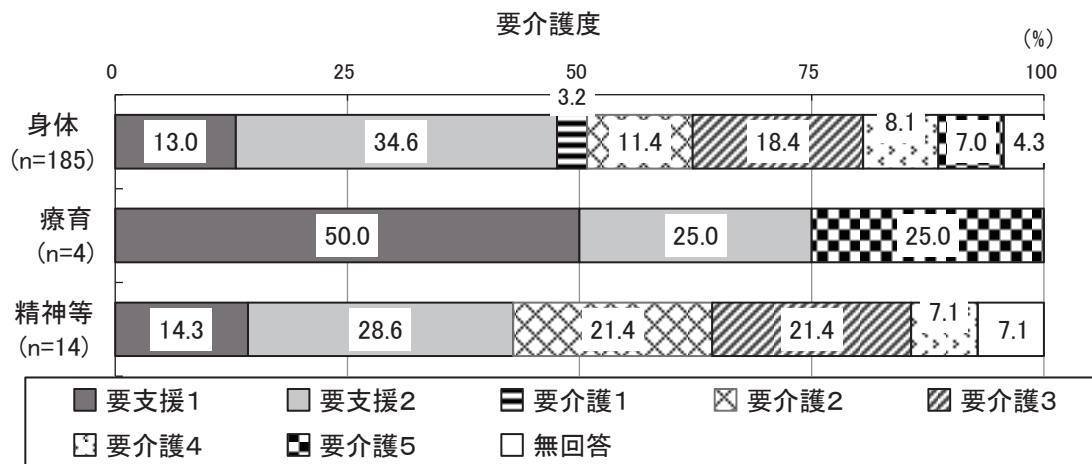


〔4〕 要介護度

13-1 あなたは介護認定を受けていますか。該当する要介護度に○をつけてください。

[身体：問 10-1，療育：問 9-1，精神等：問 11-1]

要介護度については、身体で「要支援2」が 34.6 %と最も多く、次いで、「要介護3」が 18.4%、「要支援1」が 13.0%となっています。精神等で「要支援2」が 28.6%と最も多くなっています。療育では、回答はわずかとなっています。



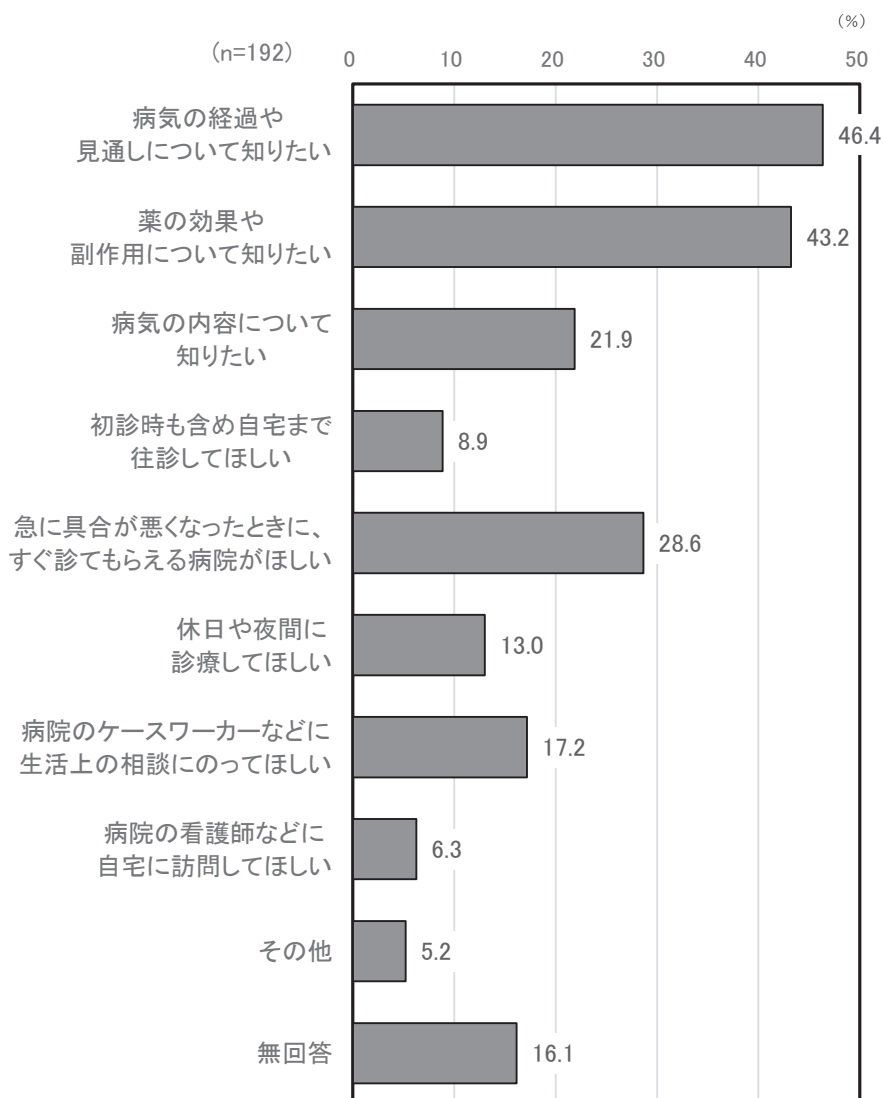
〔5〕医療への希望（精神等）

14 今後、精神通院医療で、どのようなことを希望しますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[精神等：問8]

医療への希望（精神等）については、「病気の経過や見通しについて知りたい」が46.4%と最も多く、次いで、「薬の効果や副作用について知りたい」が43.2%、「急に具合が悪くなったときに、すぐ診てもらえる病院がほしい」が28.6%、「病気の内容について知りたい」が21.9%となっています。

精神通院医療で希望すること



3 生活の状況について

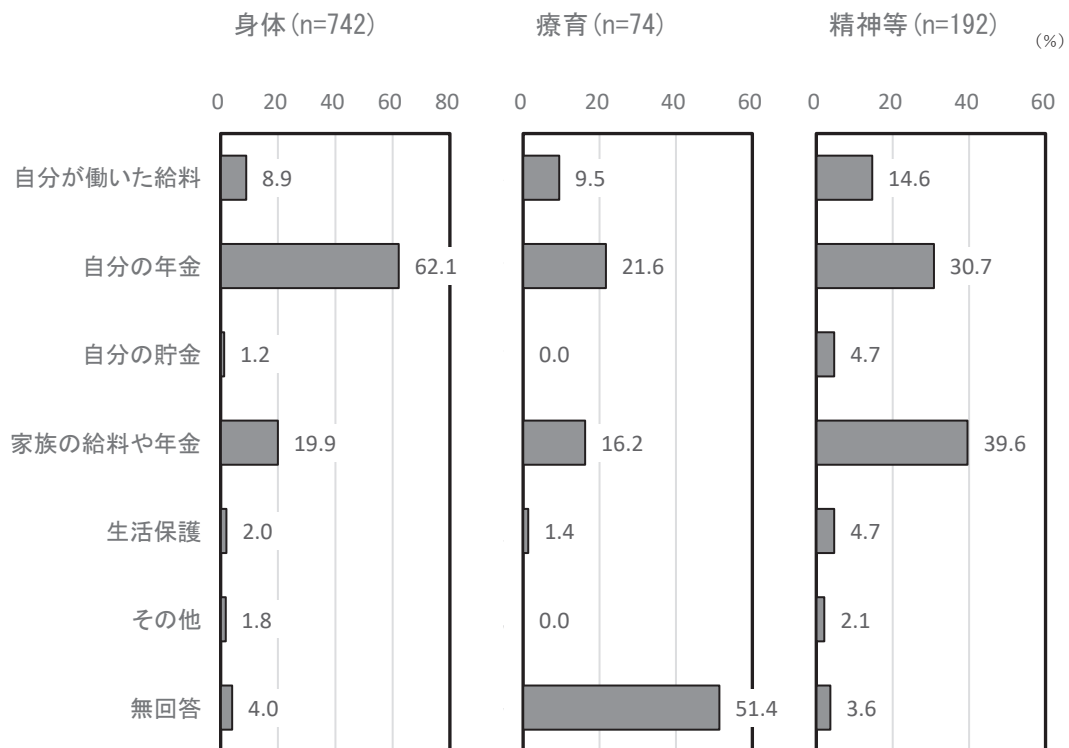
〔1〕 主な収入源

15 あなたの世帯の主な収入源は何ですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。
 [身体：問 11，療育：問 10，精神等：問 12]

主な収入源については、身体で「自分の年金」が62.1%と最も多く、次いで、「家族の給料や年金」が19.9%となっています。

療育で「自分の年金」が21.6%と最も多く、次いで、「家族の給料や年金」が16.2%となっています。精神等で「家族の給料や年金」が39.6%と最も多く、次いで、「自分の年金」が30.7%となっています。

主な収入源



〔2〕 家族構成

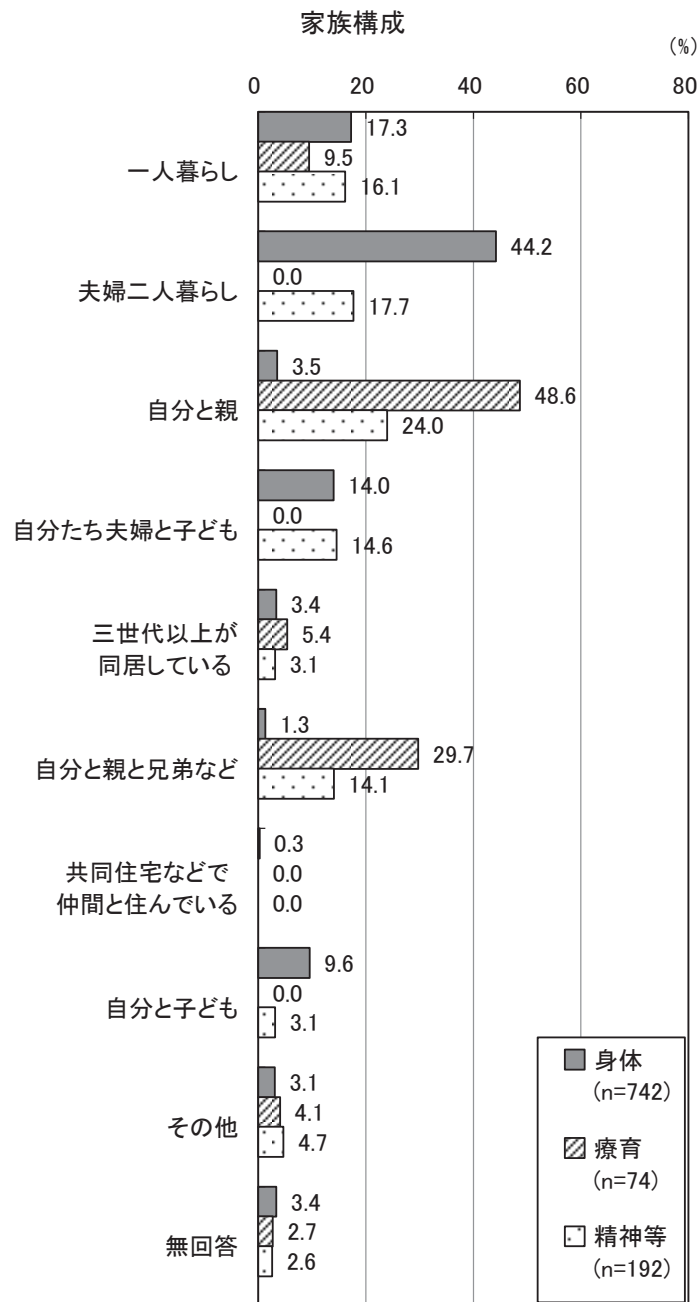
16 あなたの家族構成で当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 12，療育：問 11，精神等：問 13]

家族構成については、身体で「夫婦二人暮らし」が44.2%と最も多く、次いで、「一人暮らし」が17.3%、「自分たち夫婦と子ども」が14.0%となっています。

療育で「自分と親」が48.6%と最も多く、次いで、「自分と親と兄弟など」が29.7%となっています。

精神等で「自分と親」が24.0%と最も多く、次いで、「夫婦二人暮らし」が17.7%となっています。



Ⅱ-3 生活の状況について

〔3〕主な介助者

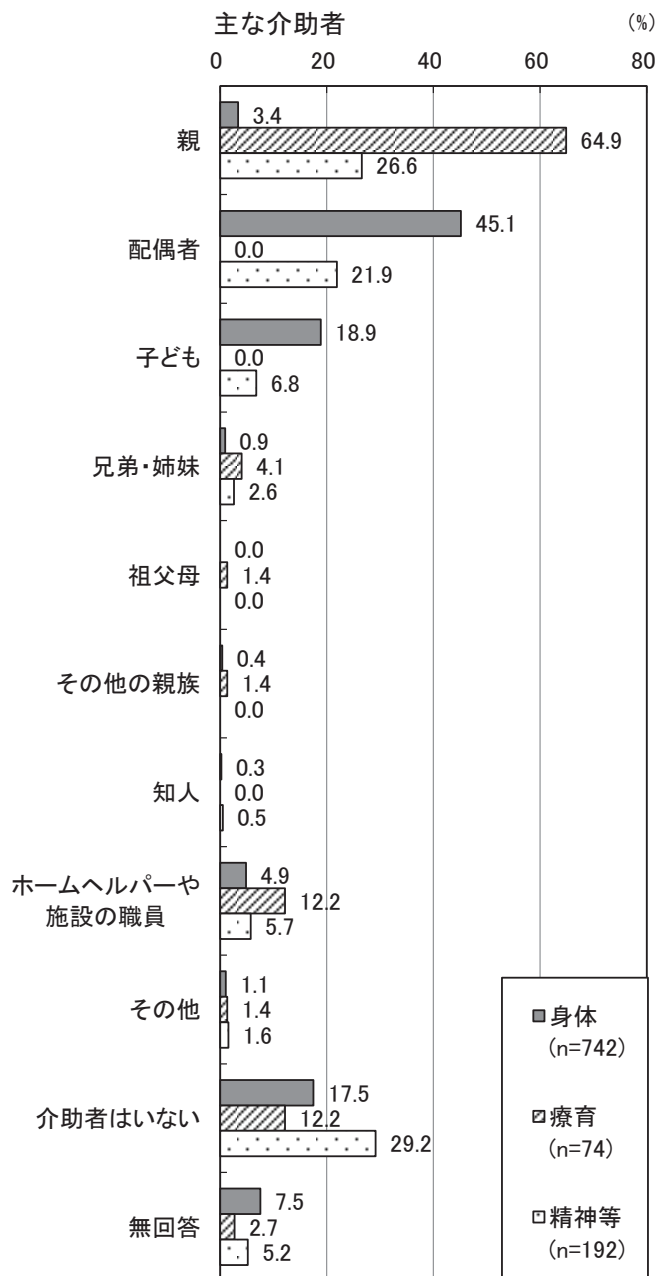
17 あなたの主な介助者は次のうち誰ですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 13，療育：問 12，精神等：問 14]

主な介助者については、身体で「配偶者」が45.1%と最も多く、次いで、「子ども」が18.9%となっています。

療育は「親」が64.9%と最も多く、次いで、「ホームヘルパーや施設の職員」「介助者はいない」がともに12.2%となっています。

精神等で「介助者はいない」が29.2%と最も多く、次いで、「親」が26.6%となっています。



〔4〕 家庭や家族のことで困っていること

18 あなたの家庭やあなた以外の家族のことで困っていることはありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけて下さい。

[身体：問 14，療育：問 13，精神等：問 15]

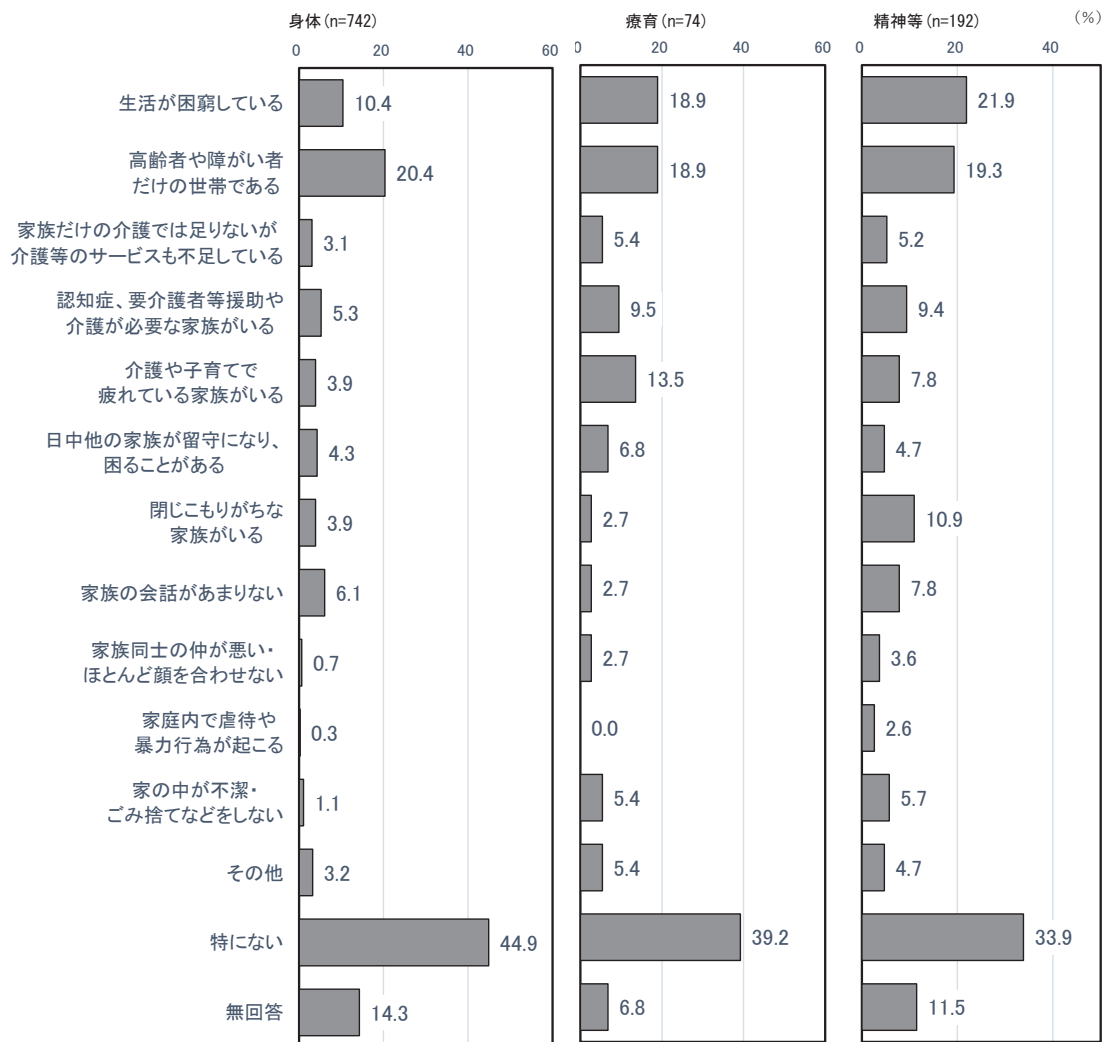
「特にない」は、いずれの調査対象でも約3割から4割となっています。

家庭や家族のことで困っていることについては、身体で「高齢者や障がい者だけの世帯である」が20.4%と最も多く、次いで、「生活が困窮している」が10.4%、「家族の会話があまりない」が6.1%となっています。

療育で「高齢者や障がい者だけの世帯である」「生活が困窮している」がともに18.9%と最も多く、次いで、「介護や子育てで疲れている家族がいる」が13.5%となっています。

精神等で「生活が困窮している」が21.9%と最も多く、次いで、「高齢者や障がい者だけの世帯である」が19.3%、「閉じこもりがちな家族がいる」が10.9%となっています。

家庭や家族のことで困っていること



Ⅱ-3 生活の状況について

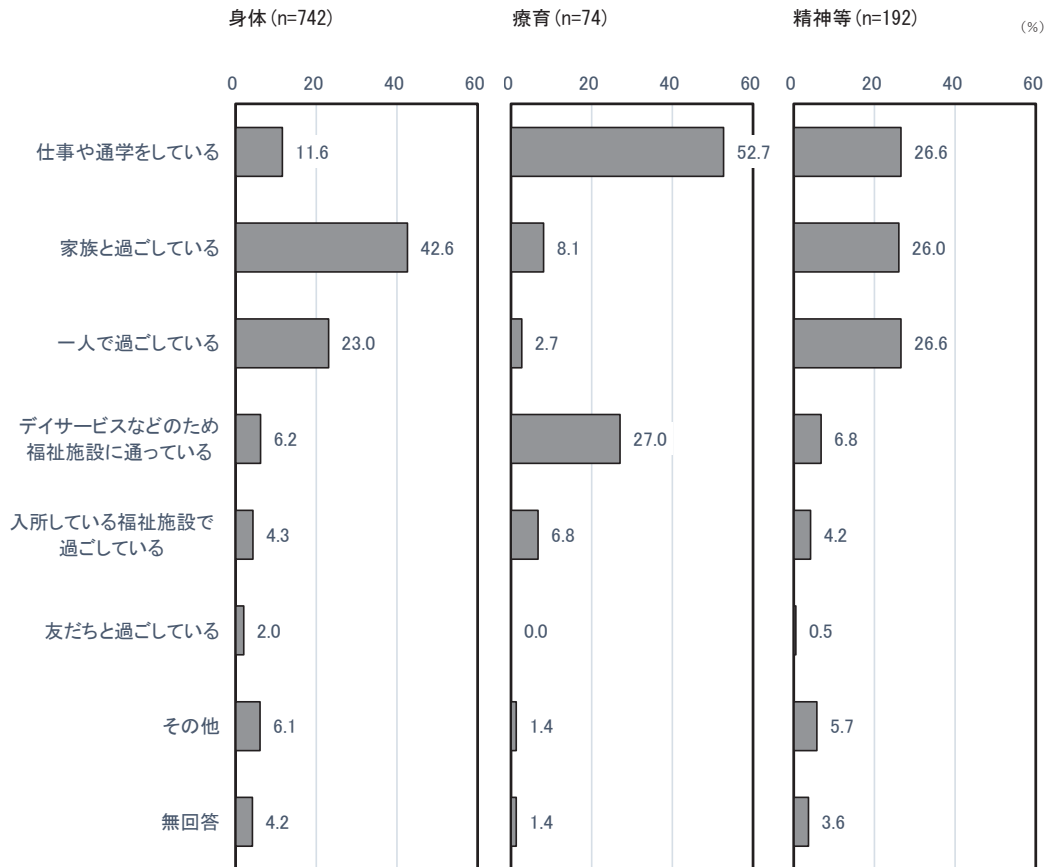
〔5〕 平日の居場所

19 あなたは平日の昼間、主にどのように過ごしていますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 15，療育：問 14，精神等：問 16]

平日の居場所については、身体で「家族と過ごしている」が42.6%と最も多く、次いで、「一人で過ごしている」が23.0%、「仕事や通学をしている」が11.6%となっています。
 療育で「仕事や通学をしている」が52.7%と最も多く、次いで、「デイサービスなどのため福祉施設に通っている」が27.0%、「家族と過ごしている」が8.1%となっています。
 精神等で「仕事や通学をしている」「一人で過ごしている」がともに26.6%と最も多く、次いで、「家族と過ごしている」が26.0%となっています。

平日の居場所



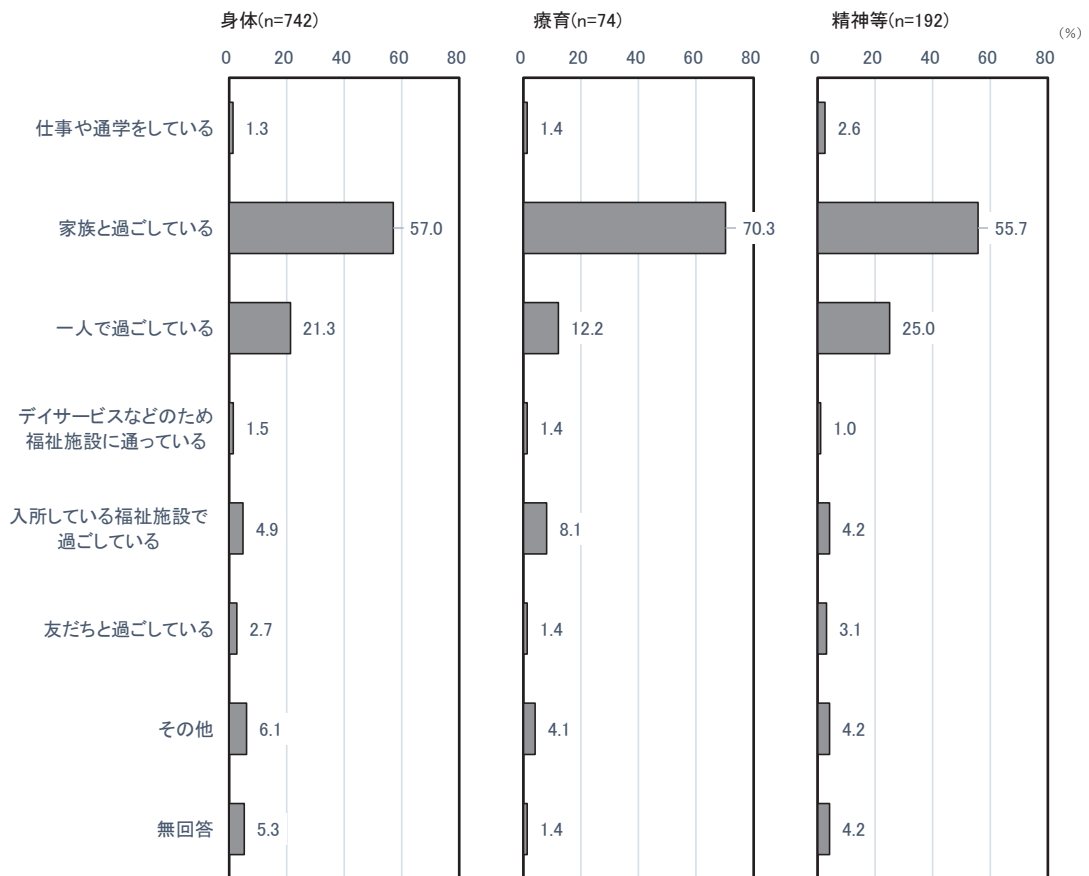
〔6〕 休日の居場所

20 あなたは休日、主にどのように過ごしていますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 16，療育：問 15，精神等：問 17]

休日の居場所については、いずれの調査対象でも「家族と過ごしている」が約6割から7割で最も多く、次いで、「一人で過ごしている」が約1割から2割以上となっています。

休日の居場所



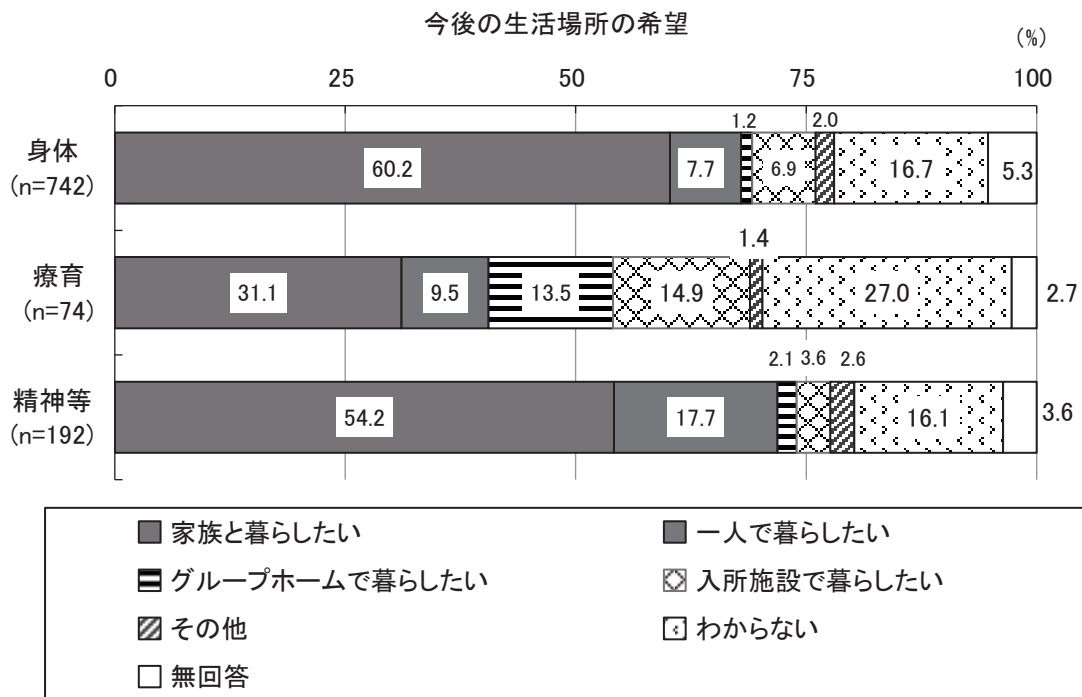
Ⅱ-3 生活の状況について

〔7〕 今後の生活場所の希望

21 あなたは今後、どこでの暮らしを希望していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 17, 療育：問 16, 精神等：問 18]

今後の生活場所の希望については、いずれの調査対象でも「家族と暮らしたい」が最も多く、身体、精神等で約5割から6割、療育で約3割となっています。次いで、身体、療育で「わからない」それぞれ16.7%、27.0%、精神等で「一人で暮らしたい」が17.7%となっています。

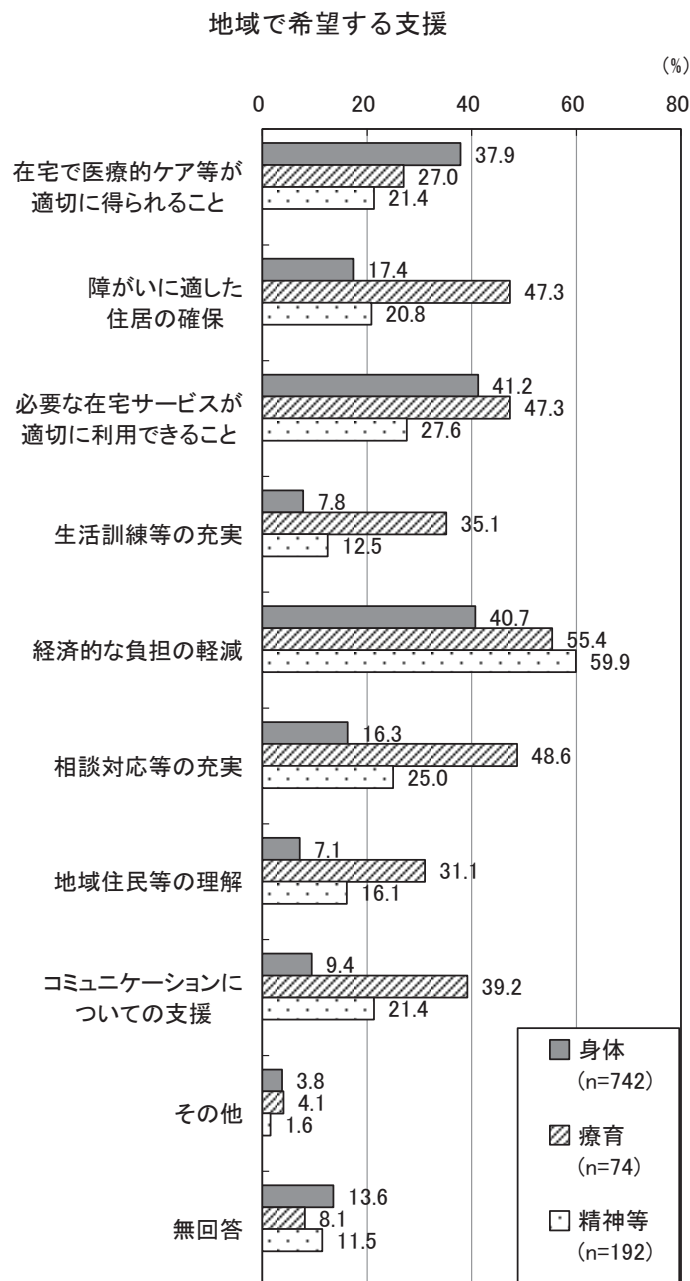


〔8〕 地域で希望する支援

22 地域で生活するためには、どのような支援があれば良いと思いますか。当てはまる番号にすべてに○をつけてください。

[身体：問 18，療育：問 17，精神等：問 19]

地域で希望する支援については、身体で「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が41.2%、療育、精神等で「経済的な負担の軽減」がそれぞれ55.4%、59.9%と最も多くなっています。次いで、身体で「経済的な負担の軽減」が40.7%、療育で「相談対応等の充実」が48.6%、精神等で「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が27.6%となっています。



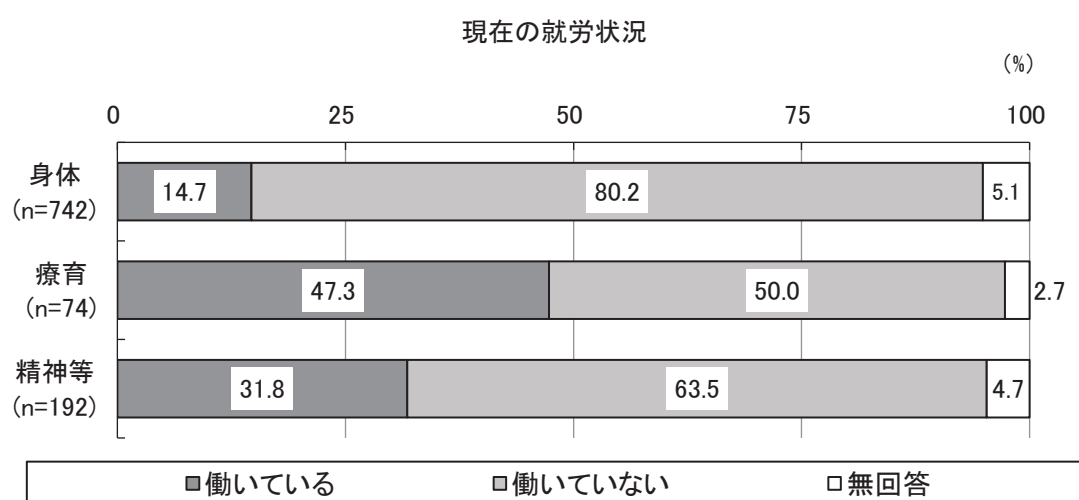
4 就労について

〔1〕現在の就労状況

23 現在働いていますか。

[身体：問 19, 療育：問 18, 精神等：問 20]

現在の就労状況については、「働いている」は療育で 47.3%と最も多く、次いで、精神等で 31.8%、身体で 14.7%となっています。



〔2〕 就労形態

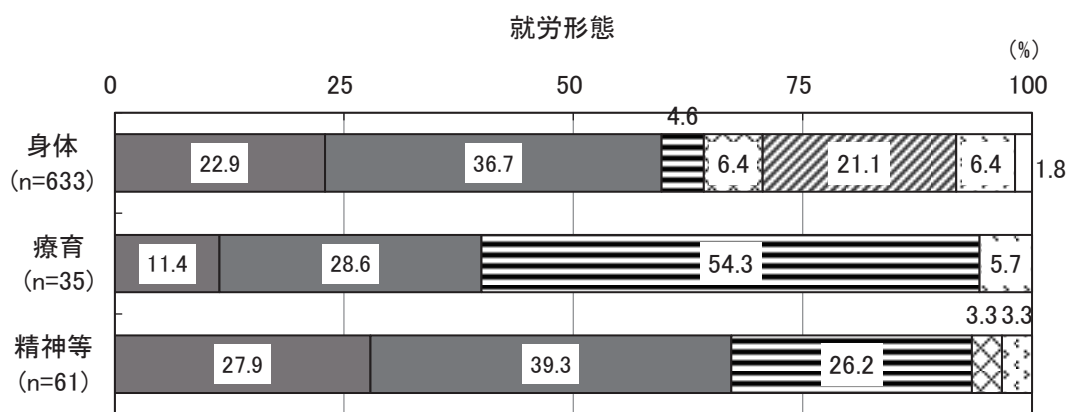
24 現在働いている方におたずねします。お仕事について当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 20，療育：問 19，精神等：問 21]

就労形態については、身体で「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）」が36.7%と最も多く、次いで、「事業所・企業・団体の正職員」が22.9%、「自分が経営者として自営業」が21.1%となっています。

療育で「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしている」が54.3%と最も多く、次いで、「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）」が28.6%、「事業所・企業・団体の正職員」が11.4%となっています。

精神等で「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）」が39.3%と最も多く、次いで、「事業所・企業・団体の正職員」が27.9%「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしている」が26.2%となっています。



- 事業所・企業・団体の正職員
- 事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）
- ▨ 福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）で仕事をしている
- ▩ 自分の家の家業（商店など）に携わっている
- ▧ 自分が経営者として自営業
- その他
- 無回答

〔3〕 仕事を見つけた方法

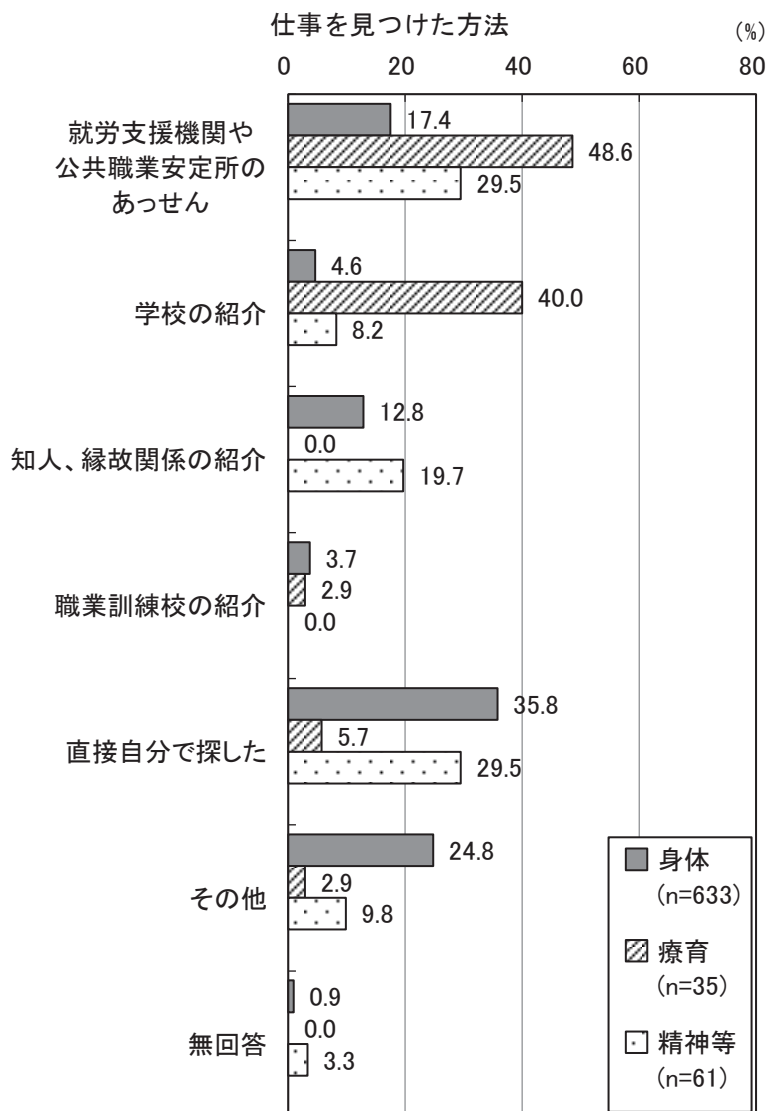
25 現在働いている方におたずねします。現在の仕事をどのようにして見つけましたか。当
てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 21，療育：問 20，精神等：問 22]

仕事を見つけた方法については、身体で「直接自分で探した」が 35.8%と最も多く、次いで、「就労支援機関や公共職業安定所のあっせん」が 17.4%、「知人、縁故関係の紹介」が 12.8%、
となっています。

療育で「就労支援機関や公共職業安定所のあっせん」が 48.6%と最も多く、次いで、「学校の紹介」が 40.0%、「直接自分で探した」が 5.7%となっています。

精神等で「就労支援機関や公共職業安定所のあっせん」、「直接自分で探した」がともに 29.5%と最も多く、次いで、「知人、縁故関係の紹介」が 19.7%となっています。



〔4〕 仕事や職場への希望

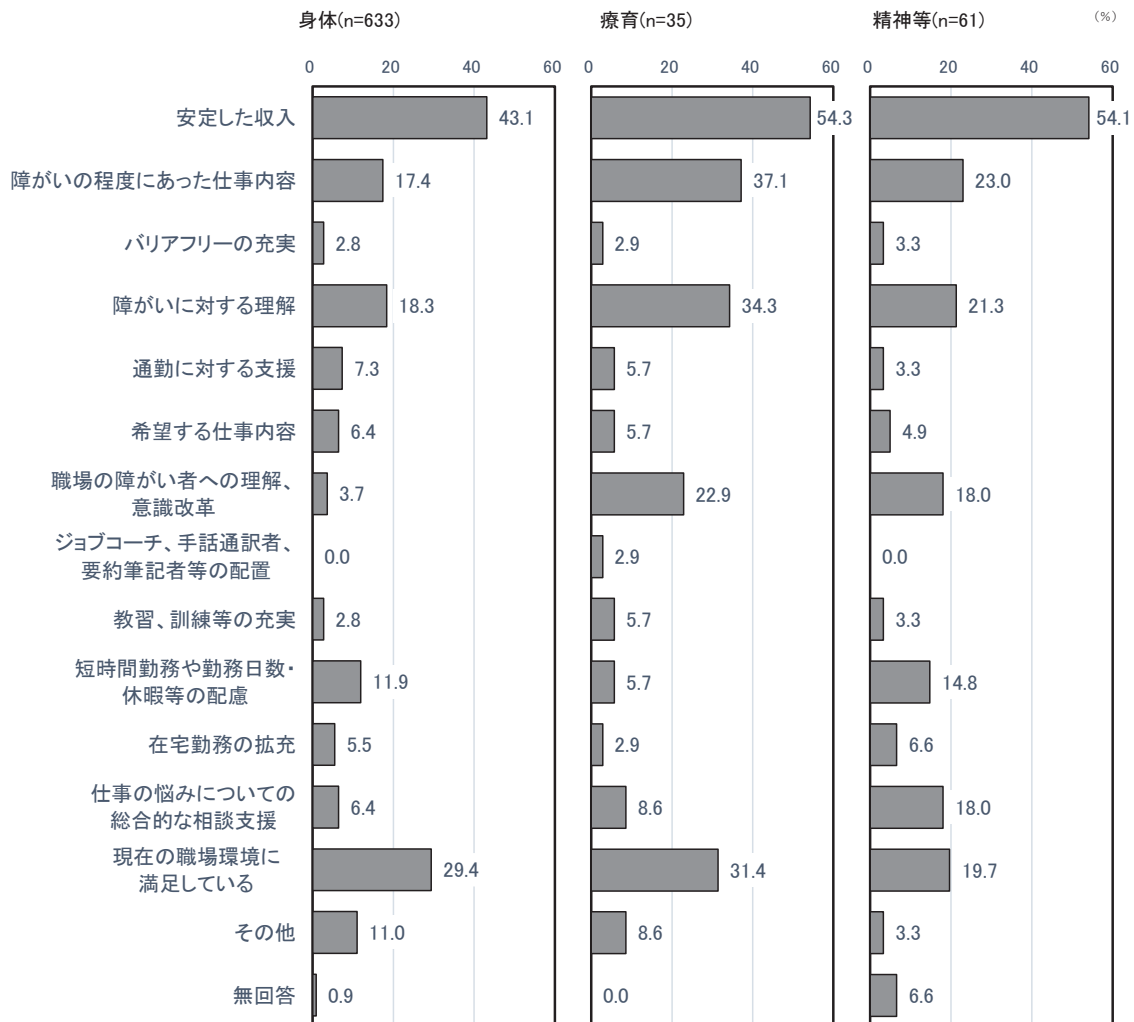
26 現在働いている方におたずねします。現在の仕事や職場に関して、どのような環境が整えば、より働きやすいと思いますか。特に当てはまる番号に3つまで○をつけてください。

[身体：問 22，療育：問 21，精神等：問 23]

仕事や職場への希望については、いずれの調査対象でも「安定した収入」が最も多くなっています。

次いで、身体で「現在の職場環境に満足している」が 29.4%、「障がいに対する理解」が 18.3%、療育、精神等で「障がいの程度にあった仕事内容」がそれぞれ 37.1%、23.0%、「障がいに対する理解」がそれぞれ 34.3%、21.3%となっています。

仕事や職場への希望



Ⅱ-4 就労について

〔5〕働いていない理由

27 現在働いていない方におたずねします。働いていない理由は何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。（ご本人が18歳未満の場合は回答不要です）

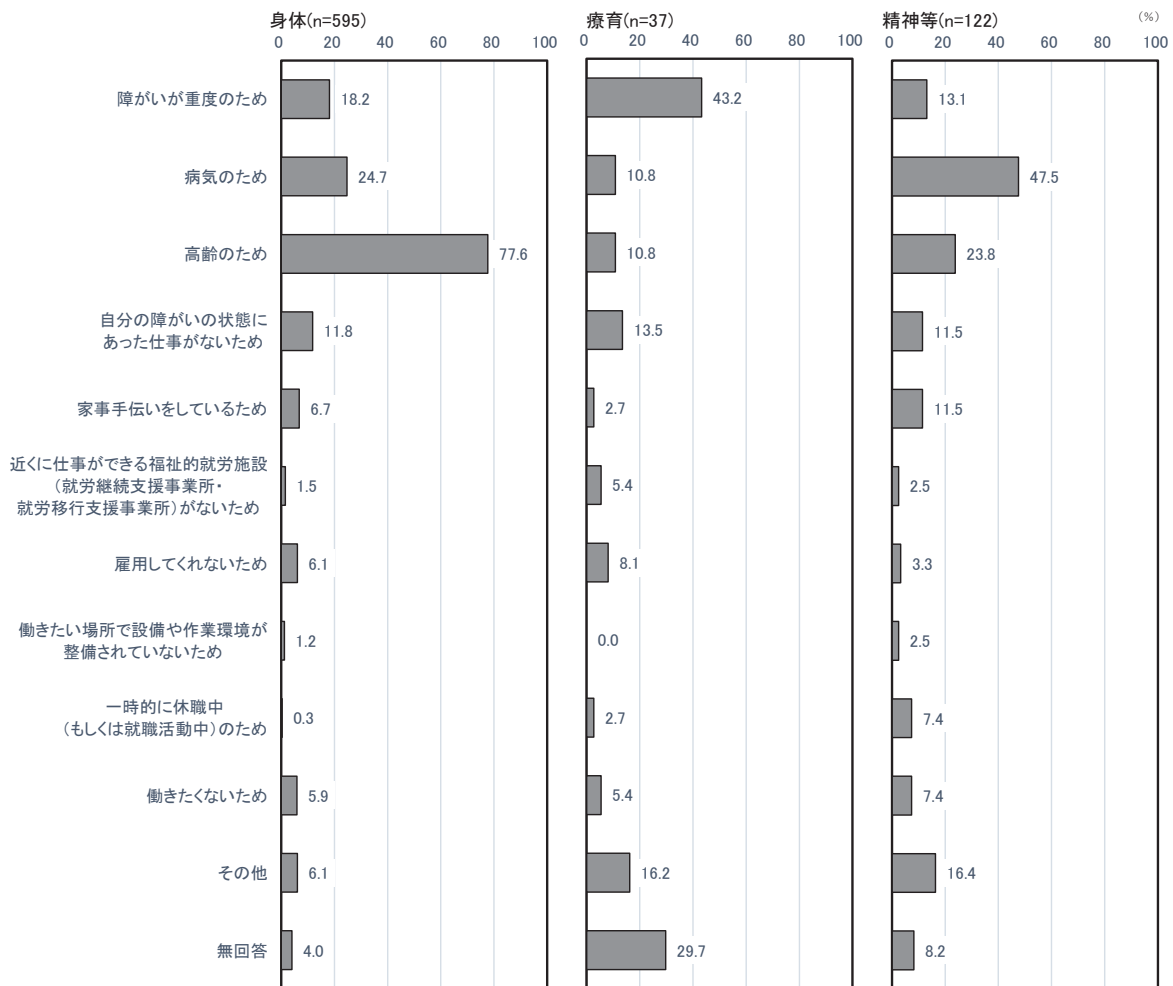
[身体：問23，療育：問22，精神等：問24]

働いていない理由については、身体で「高齢のため」が77.6%と最も多く、次いで、「病気のため」が24.7%、「障がいが重度のため」が18.2%となっています。

療育で「障がいが重度のため」が43.2%と最も多く、次いで、「自分の障がいの状態にあった仕事がないため」が13.5%、「病気のため」「高齢のため」がともに10.8%となっています。

精神等で「病気のため」が47.5%と最も多く、次いで、「高齢のため」が23.8%、「障がいが重度のため」が13.1%となっています。

働いていない理由

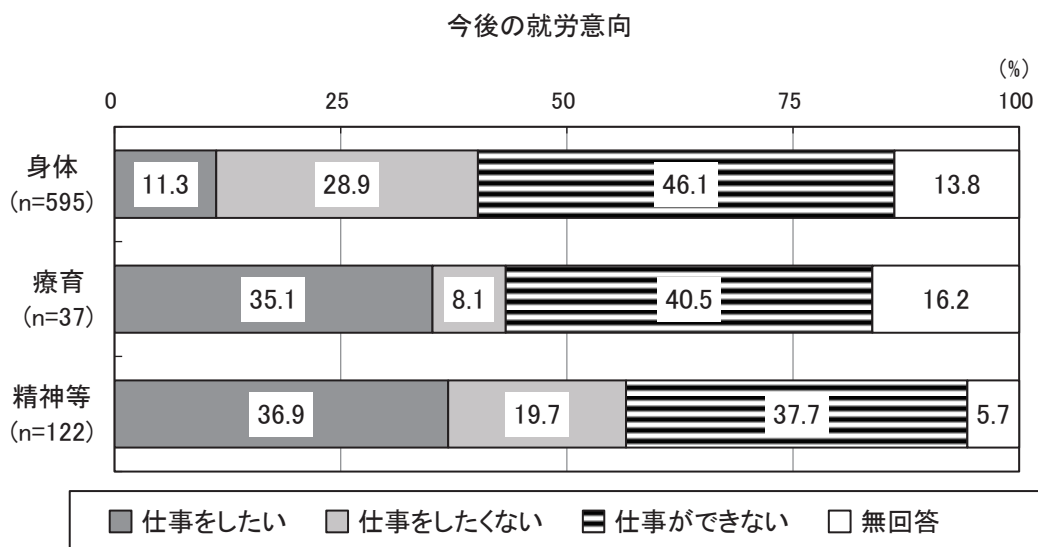


〔6〕 今後の就労意向

28 現在働いていない方におたずねします。あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思えますか。

[身体：問 24，療育：問 23，精神等：問 25]

今後の就労意向については、「仕事をしたい」は精神等で 36.9%と最も多く、次いで、療育で 35.1%、身体で 11.3%となっています。一方、「仕事ができない」は身体で 46.1%と最も多く、次いで、療育で 40.5%、精神等で 37.7%となっています。



Ⅱ-4 就労について

〔7〕希望する雇用形態

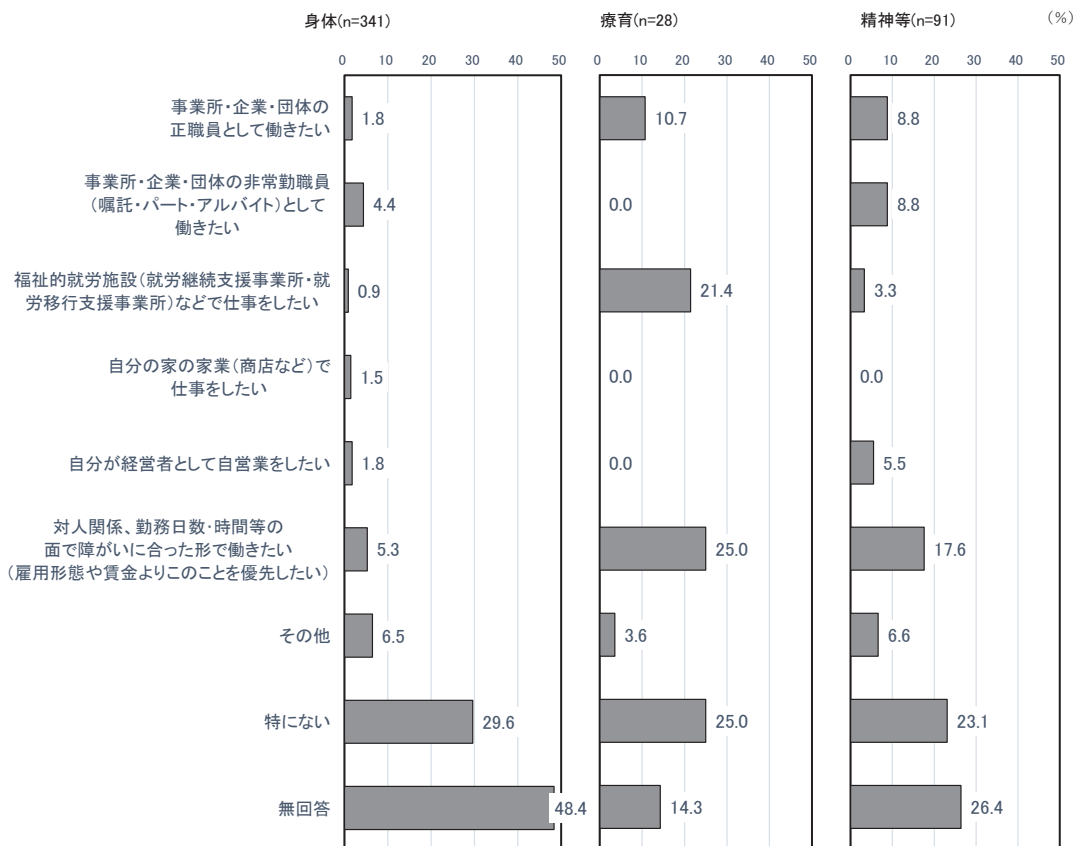
29 あなたは今後どのように働きたいですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 25，療育：問 24，精神等：問 26]

希望する雇用形態については、いずれの調査対象でも「特にない」が2割以上と最も多くなっています。次いで、「対人関係、勤務日数・時間等の面で障がいにあった形で働きたい（雇用形態や賃金よりこのことを優先したい）」が身体で5.3%、療育では「特にない」と同率で25.0%、精神等で17.6%となっています。

また、身体で「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）として働きたい」が4.4%、療育で「福祉的就労施設（就労継続支援事業所・就労移行支援事業所）などで仕事をしたい」が21.4%、精神等で「事業所・企業・団体の正職員として働きたい」、「事業所・企業・団体の非常勤職員（嘱託・パート・アルバイト）として働きたい」がともに8.8%となっています。

希望する雇用形態



5 外出について

〔1〕主な外出手段

30 あなたが外出する際の主な手段は何ですか。特に当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

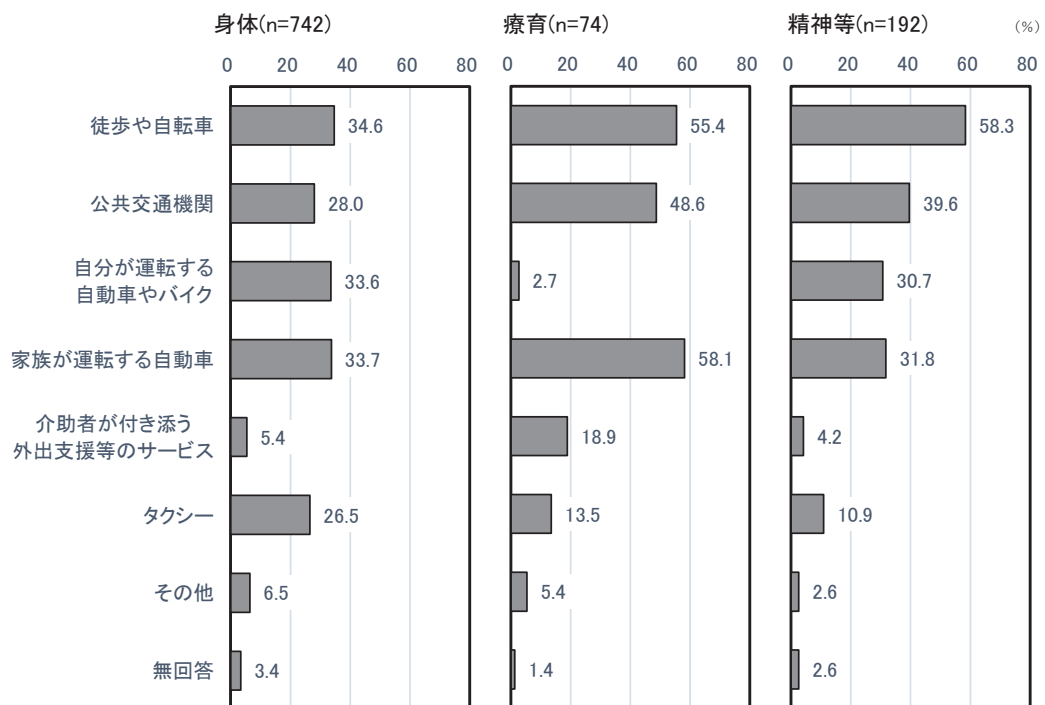
[身体：問 26，療育：問 25，精神等：問 27]

主な外出手段については、身体で「徒歩や自転車」が34.6%と最も多く、次いで、「家族が運転する自動車」が33.7%、「自分が運転する自動車やバイク」が33.6%となっています。

療育で「家族が運転する自動車」が58.1%と最も多く、次いで、「徒歩や自転車」が55.4%、「公共交通機関」が48.6%となっています。

精神等で「徒歩や自転車」が58.3%と最も多く、次いで、「公共交通機関」が39.6%、「家族が運転する自動車」が31.8%となっています。

主な外出手段



Ⅱ-5 外出について

〔2〕外出時に困ること

31 あなたが外出する時、困ることは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 27，療育：問 26，精神等：問 28]

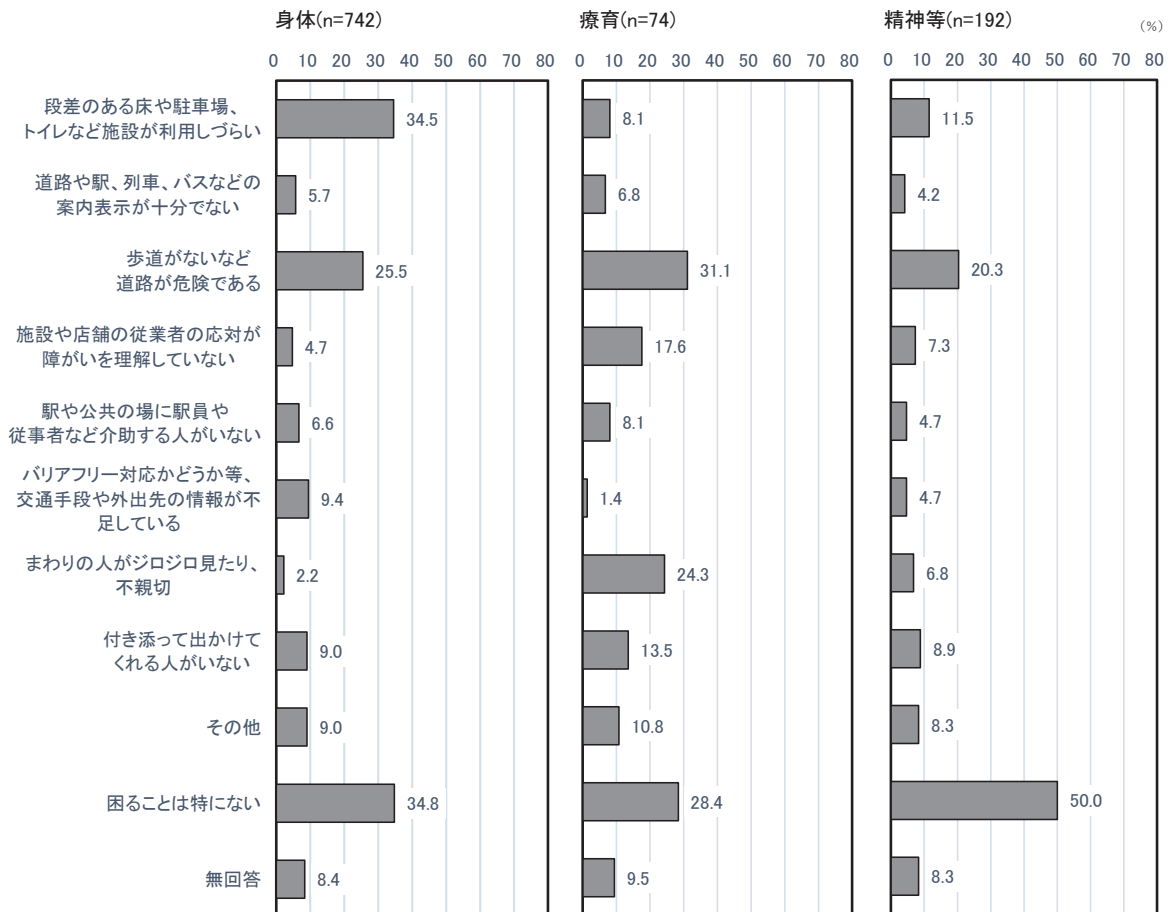
「困ることは特にない」が身体、精神で最も多く 34.8%、50.0%、療育で 28.4%となっています。

外出時に困ることについては、身体で「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい」が 34.5%、「歩道がないなど道路が危険である」が 25.5%となっています。

療育で「歩道がないなど道路が危険である」が 31.1%と最も多く、次いで、「まわりの人がジロジロ見たり、不親切」が 24.3%となっています。

精神等で「歩道がないなど道路が危険である」が 20.3%、「段差のある床や駐車場、トイレなど施設が利用しづらい」が 11.5%となっています。

外出時に困ること



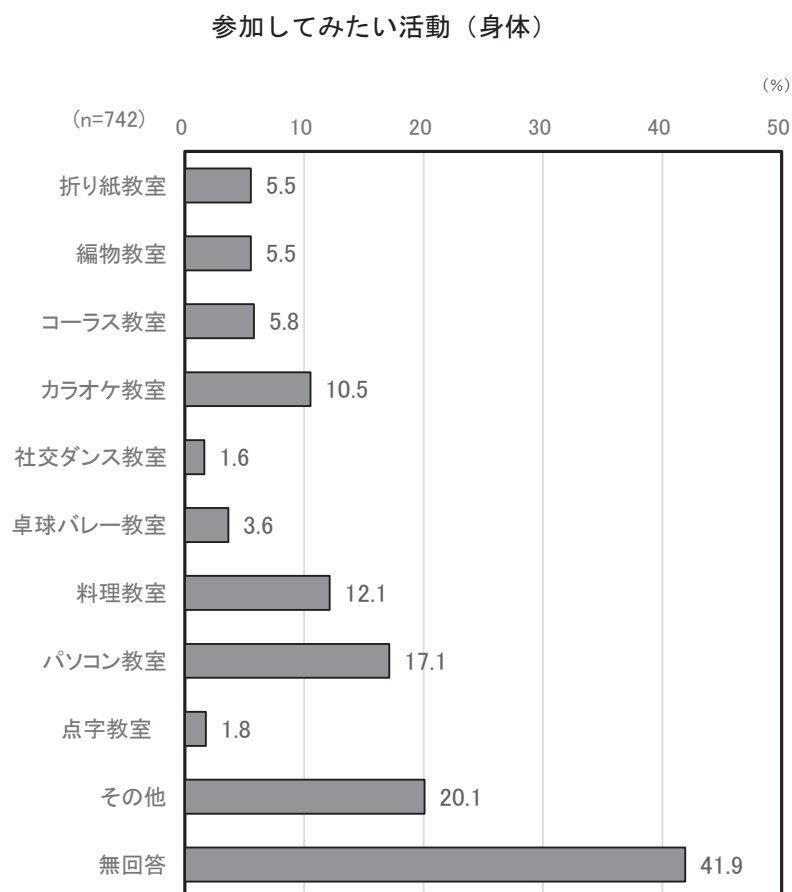
6 余暇や地域活動について

〔1〕参加してみたい活動（身体）

32 城陽市では身体障害者手帳をお持ちの方を対象として、創作的活動、社会適応訓練等を行っています。次の中からあなたが参加してみたいと思う番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問28]

参加してみたい活動（身体）については、「パソコン教室」が17.1%と最も多く、次いで、「料理教室」が12.1%、「カラオケ教室」が10.5%となっています。



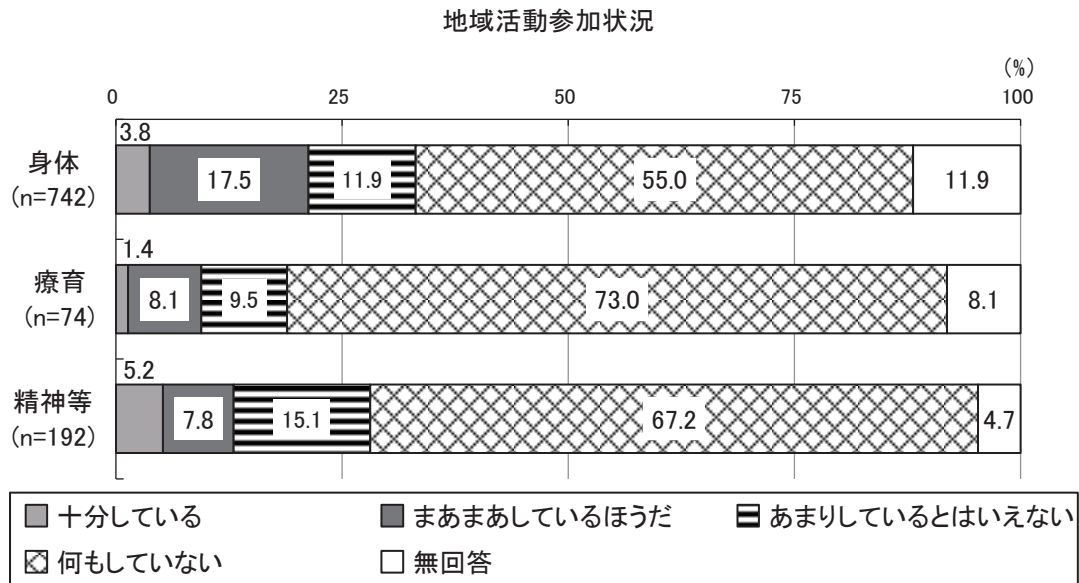
Ⅱ-6 余暇や地域活動について

〔2〕地域活動参加状況

33 あなたは地域活動（自治会、子ども会の行事や役員など）へ参加していますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 29, 療育：問 27, 精神等：問 29]

地域活動参加状況については、「十分している」、「まあまあしているほうだ」を合わせた『参加している』は、身体で21.3%、療育で9.5%、精神等で13.0%となっています。一方、「あまりしているとはいえない」、「何もしていない」を合わせた『参加していない』は、身体で66.9%、療育で82.5%、精神等で82.3%と、いずれの調査対象でも『参加していない』が多くなっています。



〔3〕 地域活動に参加していない理由

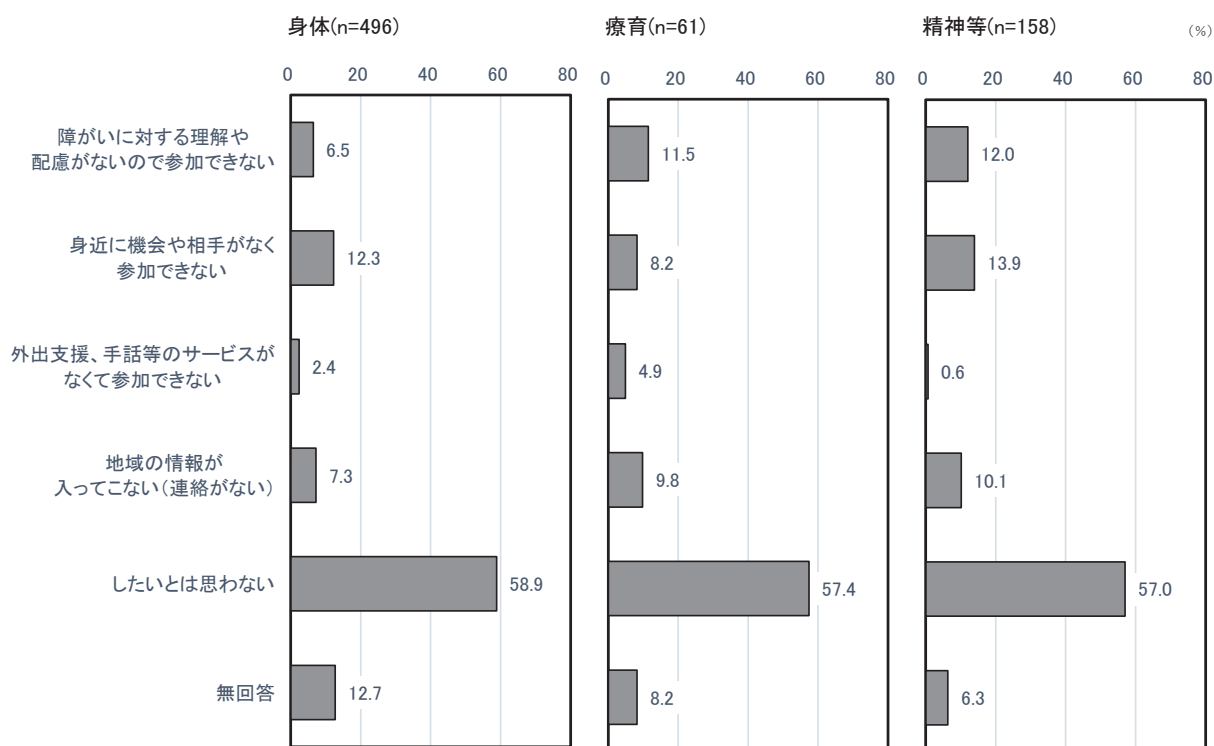
33-1 33 で「あまりしているとはいえない」、「何もしていない」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。特に当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 29-1，療育：問 27-1，精神等：問 29-1]

地域活動に参加できない理由については、いずれの調査対象でも「したいとは思わない」が最も多く、身体で58.9%、療育で57.4%、精神等で57.0%となっています。

次いで、身体で「身近に機会や相手がなく参加できない」が12.3%、「地域の情報が入ってこない（連絡がない）」が7.3%、療育で「障がいに対する理解や配慮がないので参加できない」が11.5%、「地域の情報が入ってこない（連絡がない）」が9.8%、精神等で「身近に機会や相手がなく参加できない」が13.9%、「障がいに対する理解や配慮がないので参加できない」が12.0%となっています。

地域活動に参加していない理由



7 サービス利用について

〔1〕 自立支援給付サービスの利用状況と満足度

34(1) 利用しているサービスに○をつけてください。

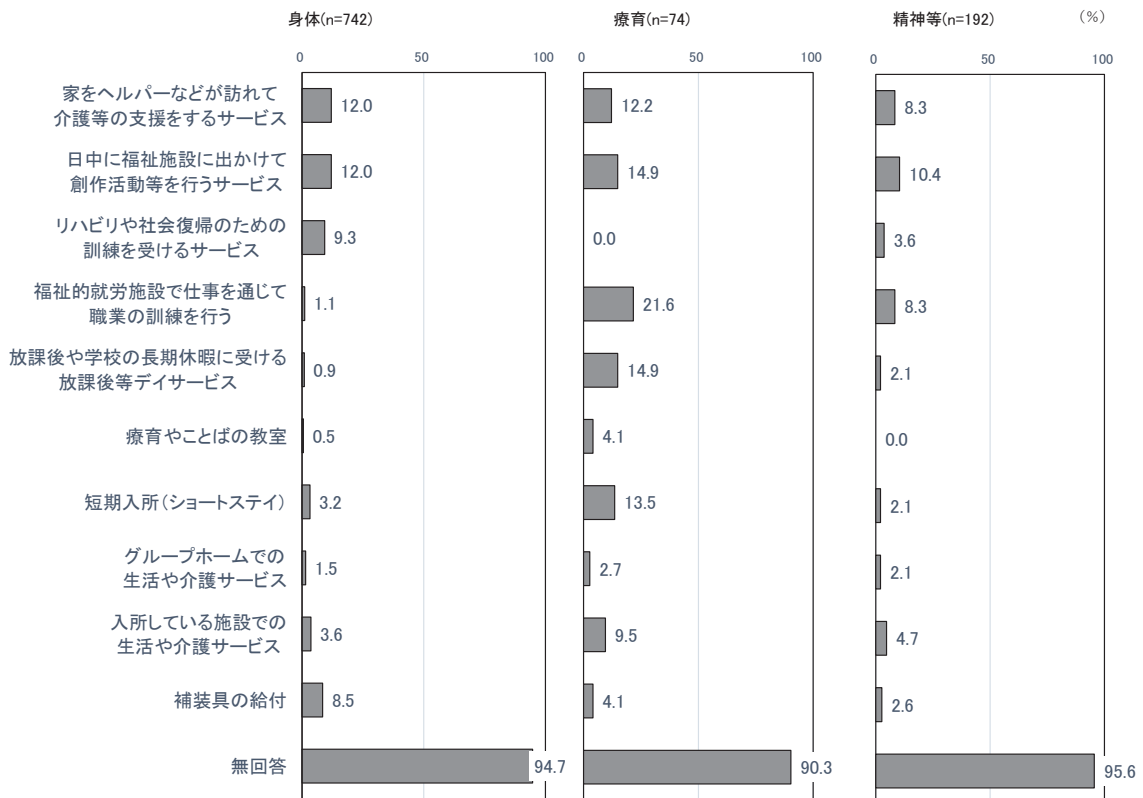
[身体：問 30(1)，療育：問 28(1)，精神等：問 30(1)]

回答者が少ないものの、自立支援給付サービスの利用状況については、身体で「家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス」と「日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス」がともに 12.0%と最も多く、次いで、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」が 9.3%となっています。

療育で「福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う」が 21.6%と最も多く、次いで、「日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス」、「放課後や学校の長期休暇に受ける放課後等デイサービス」がともに 14.9%となっています。

精神等で「日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス」が 10.4%と最も多く、次いで、「家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス」、「福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う」がともに 8.3%となっています。

自立支援給付サービスの利用状況

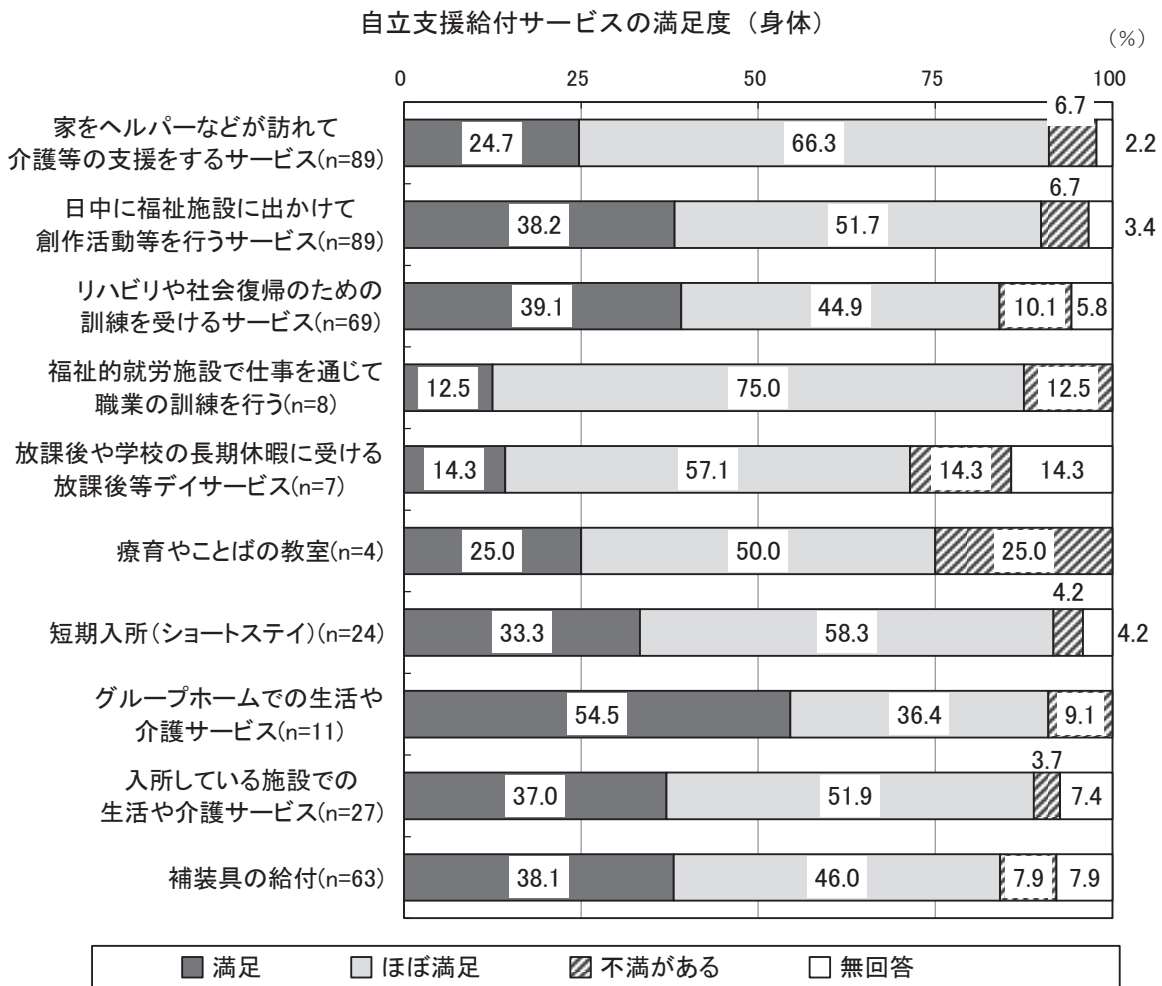


34(2) 利用しているサービスの満足度を次の 3 つから選んで該当の番号に○を1つだけつけてください。

[身体：問 30(2)，療育：問 28(2)，精神等：問 30(2)]

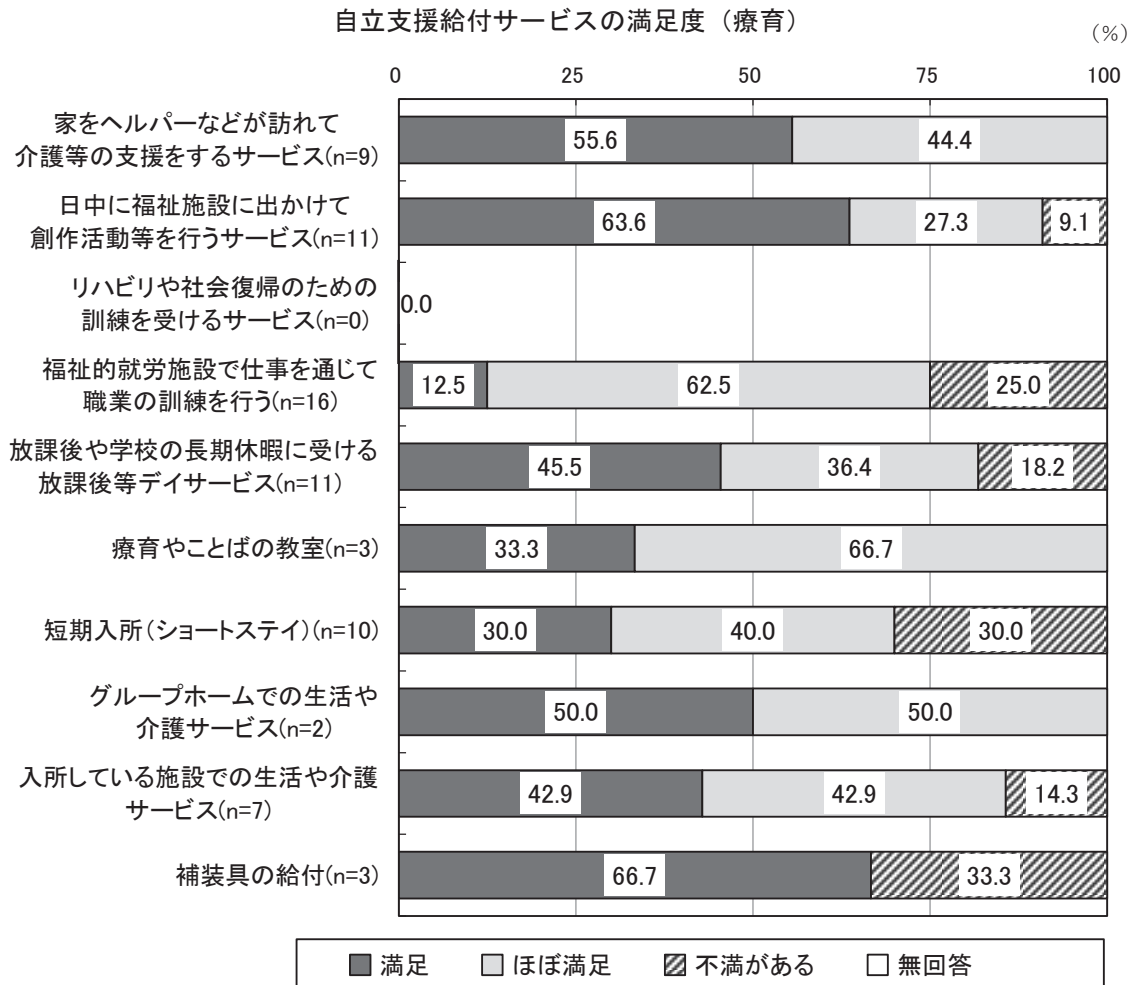
回答者が少ないものの、身体では、いずれの調査対象でも概ね「不満がある」に比べて「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が多くなっています。

身体で「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「短期入所(ショートステイ)」が91.6%と最も多く、次いで「家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス」が91.0%、「グループホームでの生活や介護サービス」が90.9%となっています。

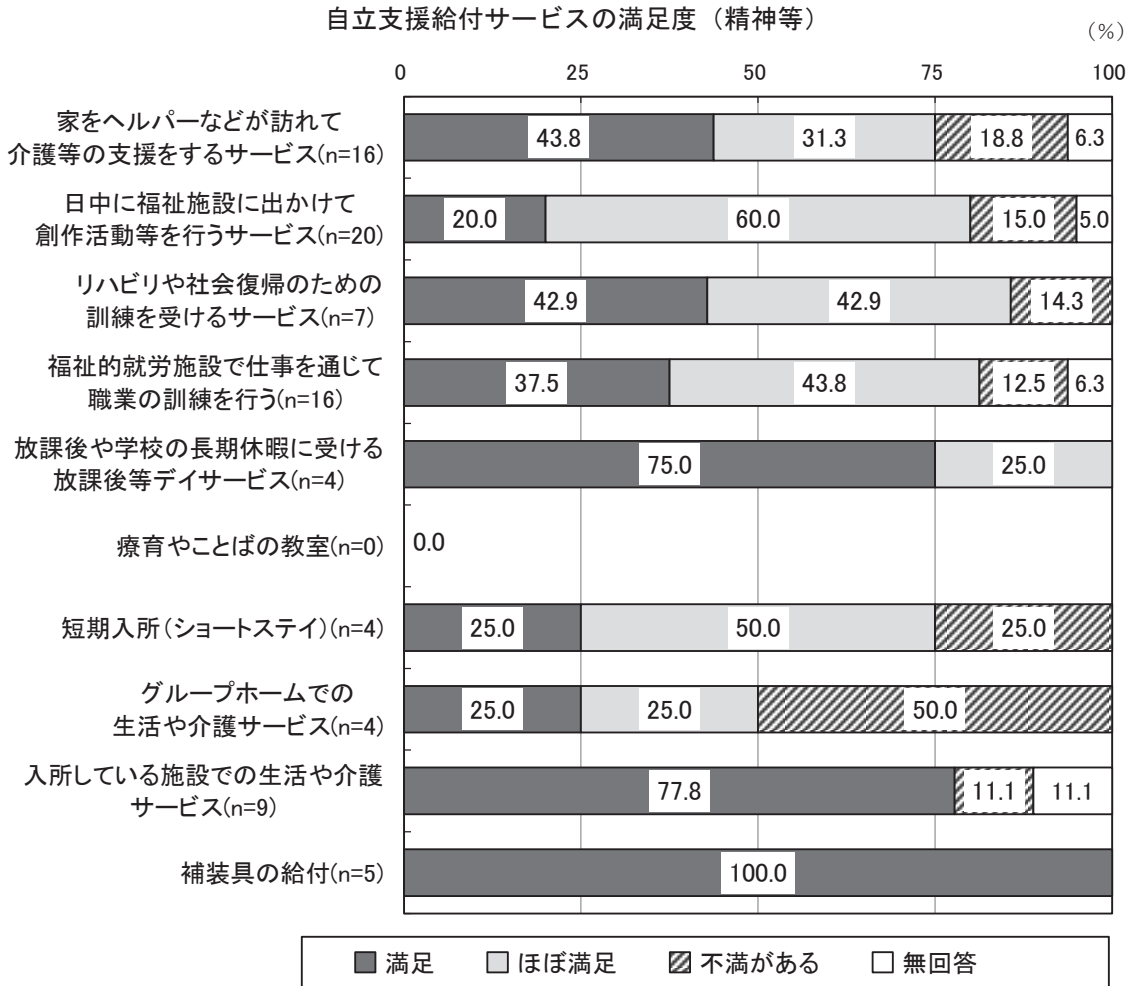


Ⅱ-7 サービス利用について

回答者が少ないものの、療育では、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス」、「療育やことばの教室」、「グループホームでの生活や介護サービス」がそれぞれ100.0%と最も多く、次いで、「日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス」が90.9%となっています。



回答者が少ないものの、精神等で「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「放課後や学校の長期休暇に受ける放課後等デイサービス」、「補装具の給付」が100.0%と最も多く、次いで、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」が85.8%、「福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う」が81.3%、「日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス」が80.0%となっています。



Ⅱ-7 サービス利用について

34(3) 34(2)で「不満がある」を選択した方は、その不満の番号をいくつでも選んで○をつけてください。

[身体：問 30(3)，療育：問 28(3)，精神等：問 30(3)]

自立支援給付サービスの不満の内容については、次のとおりです。

自立支援給付サービスの不満内容（身体）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	事業所までが遠い	その他	無回答
家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス	6	4	2	2	0	0	0
日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス	6	1	3	0	0	1	1
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	7	1	2	0	0	1	3
福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う	1	0	1	0	0	1	0
放課後や学校の長期休暇に受ける放課後等デイサービス	1	0	0	0	0	0	1
療育やことばの教室	1	1	1	0	1	0	0
短期入所（ショートステイ）	1	0	0	0	0	0	1
グループホームでの生活や介護サービス	1	0	0	0	0	0	1
入所している施設での生活や介護サービス	1	1	0	1	0	0	0
補装具の給付	5	3	0	1	0	1	1

自立支援給付サービスの不満内容（療育）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	事業所までが遠い	その他	無回答
家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス	0	0	0	0	0	0	0
日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス	1	1	0	1	0	0	0
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	0	0	0	0	0	0	0
福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う	4	1	1	1	2	3	0
放課後や学校の長期休暇に受ける放課後等デイサービス	2	2	0	1	0	0	0
療育やことばの教室	0	0	0	0	0	0	0
短期入所（ショートステイ）	3	0	2	0	0	2	0
グループホームでの生活や介護サービス	0	0	0	0	0	0	0
入所している施設での生活や介護サービス	1	0	0	0	0	0	1
補装具の給付	1	0	0	0	0	1	0

Ⅱ-7 サービス利用について

自立支援給付サービスの不満内容（精神等）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	事業所までが遠い	その他	無回答
家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス	3	0	1	0	0	2	0
日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス	3	1	0	1	2	3	0
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	1	0	0	0	0	1	0
福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う	2	1	0	1	2	0	0
放課後や学校の長期休暇に受ける放課後等デイサービス	0	0	0	0	0	0	0
療育やことばの教室	0	0	0	0	0	0	0
短期入所（ショートステイ）	1	0	0	1	0	0	0
グループホームでの生活や介護サービス	2	0	0	1	0	1	0
入所している施設での生活や介護サービス	1	0	0	1	0	0	0
補装具の給付	0	0	0	0	0	0	0

Ⅱ-7 サービス利用について

〔2〕 自立支援給付サービスで不満と感ずる内容

35 34(3)で「その他」を選択された方について、「その他」の内容を下記にお書きください。

[身体：問 31，療育：問 29，精神等：問 31]

自立支援給付サービスで不満と感ずる内容については、次のとおり、身体 9 件、療育 6 件、精神等 12 件の記述意見を得ました。

自立支援給付サービスで不満と感ずる内容（身体）

単位：件

	記述数
家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス	1
日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス	3
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	0
福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う	1
放課後や学校の長期休暇に受ける放課後等デイサービス	0
療育やことばの教室	0
短期入所（ショートステイ）	0
グループホームでの生活や介護サービス	0
入所している施設での生活や介護サービス	1
補装具の給付	3
合計	9

自立支援給付サービスで不満と感ずる内容（療育）

単位：件

	記述数
家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス	0
日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス	0
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	0
福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う	3
放課後や学校の長期休暇に受ける放課後等デイサービス	0
療育やことばの教室	0
短期入所（ショートステイ）	2
グループホームでの生活や介護サービス	0
入所している施設での生活や介護サービス	0
補装具の給付	1
合計	6

自立支援給付サービスで不満と感じる内容（精神等）

単位：件

	記述数
家をヘルパーなどが訪れて介護等の支援をするサービス	3
日中に福祉施設に出かけて創作活動等を行うサービス	2
リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス	2
福祉的就労施設で仕事を通じて職業の訓練を行う	2
放課後や学校の長期休暇に受ける放課後等デイサービス	0
療育やことばの教室	0
短期入所（ショートステイ）	1
グループホームでの生活や介護サービス	1
入所している施設での生活や介護サービス	0
補装具の給付	1
合計	12

Ⅱ-7 サービス利用について

〔3〕 地域生活支援事業の利用状況と満足度

36(1) 次の表の中で、利用している地域生活支援事業のサービスに○をつけてください。

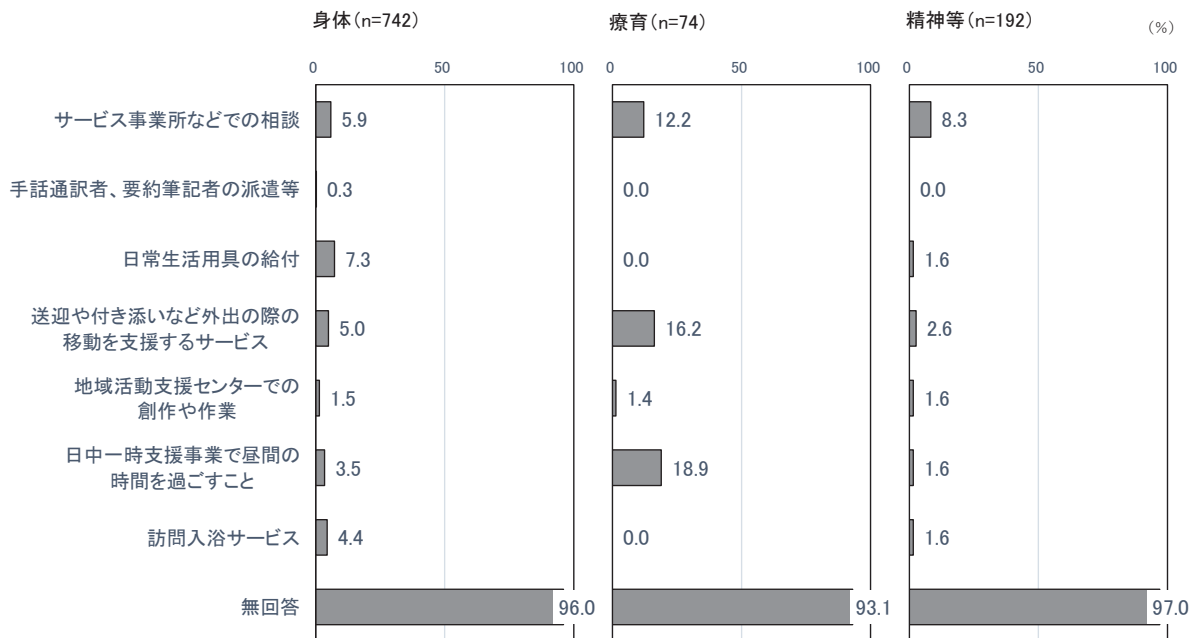
〔身体：問 32(1)，療育：問 30(1)，精神等：問 32(1)〕

回答者が少ないものの、地域生活支援事業の利用状況については、身体で「日常生活用具の給付」が7.3%と最も多く、次いで、「サービス事業所などでの相談」が5.9%、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が5.0%となっています。

療育で「日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと」が18.9%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が16.2%、「サービス事業所などでの相談」が12.2%となっています。

精神等で「サービス事業所などでの相談」が8.3%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が2.6%、「日常生活用具の給付」、「地域活動支援センターでの創作や作業」、「日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと」、「訪問入浴サービス」がそれぞれ1.6%となっています。

地域生活支援事業の利用状況



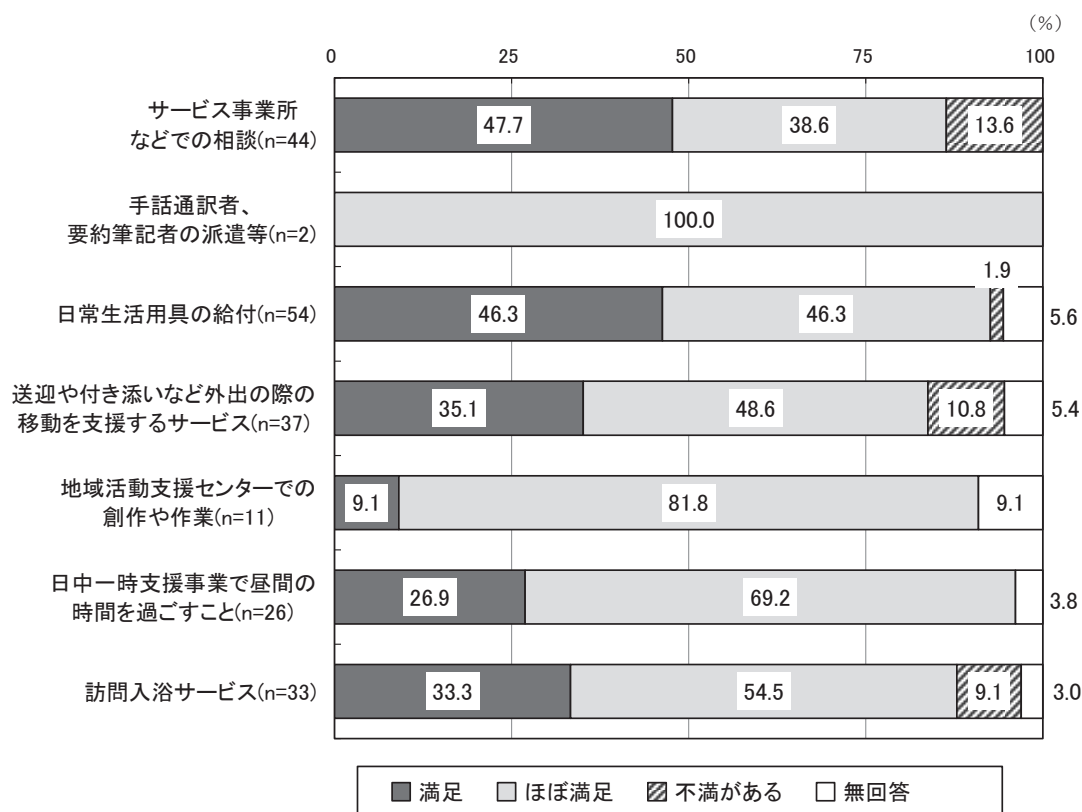
36(2) 利用しているサービスの満足度を次の 3 つから選んで該当の番号に○を1つだけつけてください。

[身体：問 32(2)，療育：問 30(2)，精神等：問 32(2)]

回答者が少ないものの、身体では、いずれの調査対象でも「不満がある」に比べて「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』が多くなっています。

身体で「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』について、回答数は少ないものの、「手話通訳者、要約筆記者の派遣等」が100.0%と最も多く、次いで、「日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと」が96.1%、「日常生活用具の給付」が92.6%となっています。

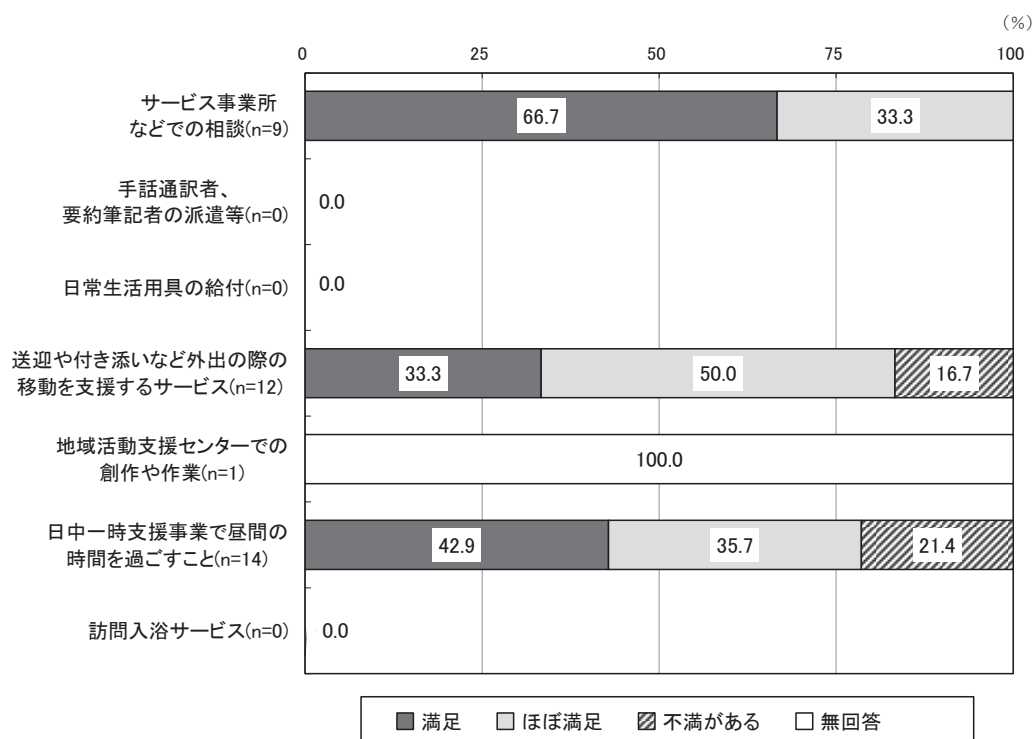
地域生活支援事業の満足度（身体）



Ⅱ-7 サービス利用について

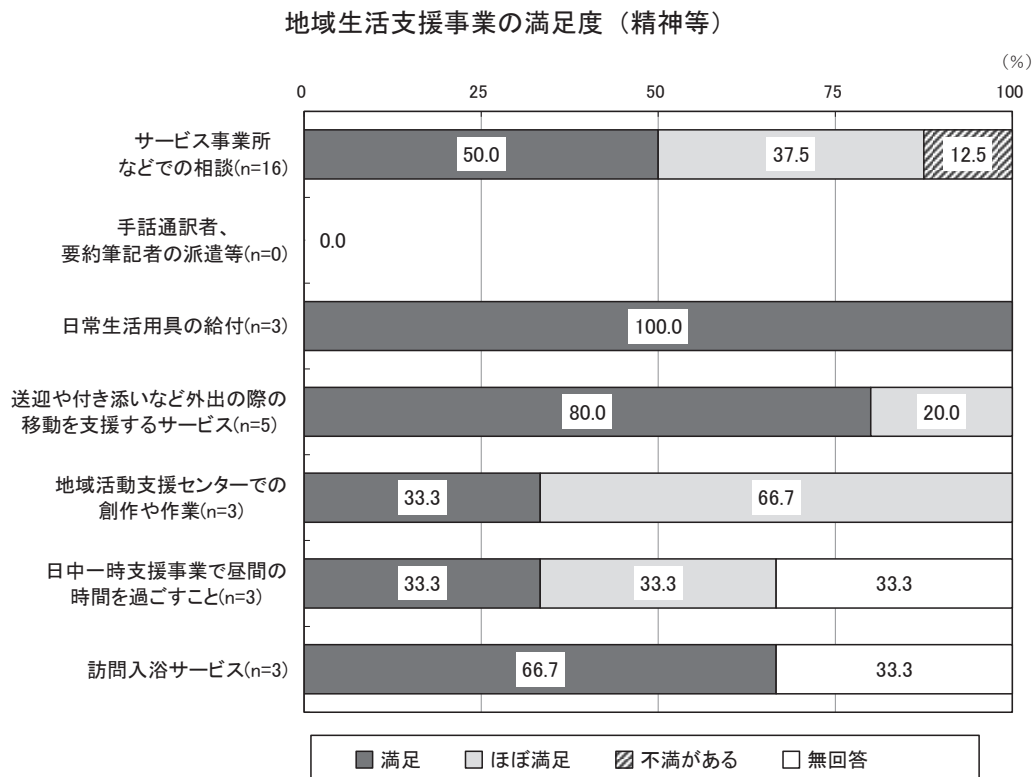
回答者が少ないものの、療育では、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「サービス事業所などでの相談」が100.0%と最も多く、次いで、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が83.3%となっています。

地域生活支援事業の満足度（療育）



※手話通訳者、要約筆記者の派遣は、身体障がい者（聴覚・言語障がい）を対象とするものです。

回答者が少ないものの、精神等では、「満足」と「ほぼ満足」を合わせた『満足』は、「日常生活用具の給付」、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」、「地域活動支援センターでの創作や作業」がそれぞれ100.0%と最も多く、次いで、「サービス事業所などの相談」が87.5%となっています。



※手話通訳者、要約筆記者の派遣は、身体障がい者（聴覚・言語障がい）を対象とするものです。

Ⅱ-7 サービス利用について

36(3) 36(2)で「不満がある」を選択した方は、その不満の番号をいくつでも選んで○をつけてください。

[身体：問 32(3)，療育：問 30(3)，精神等：問 32(3)]

地域生活支援事業の不満内容については、次のとおりです。

地域生活支援事業の不満内容（身体）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	事業所までが遠い	その他	無回答
サービス事業所などでの相談	6	1	1	2	0	1	1
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0	0	0	0	0	0	0
日常生活用具の給付	1	0	0	0	0	0	1
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	4	0	0	0	0	1	3
地域活動支援センターでの創作や作業	0	0	0	0	0	0	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	0	0	0	0	0	0	0
訪問入浴サービス	3	1	1	1	0	1	0

地域生活支援事業の不満内容（療育）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	事業所までが遠い	その他	無回答
サービス事業所などでの相談	0	0	0	0	0	0	0
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0	0	0	0	0	0	0
日常生活用具の給付	0	0	0	0	0	0	0
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	2	2	1	0	0	0	0
地域活動支援センターでの創作や作業	0	0	0	0	0	0	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	3	3	1	0	0	0	0
訪問入浴サービス	0	0	0	0	0	0	0

地域生活支援事業の不満内容（精神等）

単位：件

	回答数	内容が不満	時間や日数が足りない	職員の対応が不満	事業所までが遠い	その他	無回答
サービス事業所などでの相談	2	1	0	2	1	0	0
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0	0	0	0	0	0	0
日常生活用具の給付	0	0	0	0	0	0	0
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	0	0	0	0	0	0	0
地域活動支援センターでの創作や作業	0	0	0	0	0	0	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	0	0	0	0	0	0	0
訪問入浴サービス	0	0	0	0	0	0	0

Ⅱ-7 サービス利用について

〔4〕 地域生活支援事業のサービスで不満と感ずる内容

37 36(3)で「その他」を選択された方について、「その他」の内容を下記にお書きください。

[身体：問 33，療育：問 31，精神等：問 33]

地域生活支援事業で不満と感ずる内容については、次のとおり、身体5件、療育7件、精神等1件の記述意見を得ました。

地域生活支援事業で不満と感ずる内容（身体）

単位：件

	記述数
サービス事業所などでの相談	1
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0
日常生活用具の給付	0
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	1
地域活動支援センターでの創作や作業	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	1
訪問入浴サービス	2
合計	5

地域生活支援事業で不満と感ずる内容（療育）

単位：件

	記述数
サービス事業所などでの相談	1
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	1
日常生活用具の給付	1
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	1
地域活動支援センターでの創作や作業	1
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	1
訪問入浴サービス	1
合計	7

地域生活支援事業で不満と感ずる内容（精神等）

単位：件

	記述数
サービス事業所などでの相談	1
手話通訳者、要約筆記者の派遣等	0
日常生活用具の給付	0
送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス	0
地域活動支援センターでの創作や作業	0
日中一時支援事業で昼間の時間を過ごすこと	0
訪問入浴サービス	0
合計	1

〔5〕 サービスを決定している人

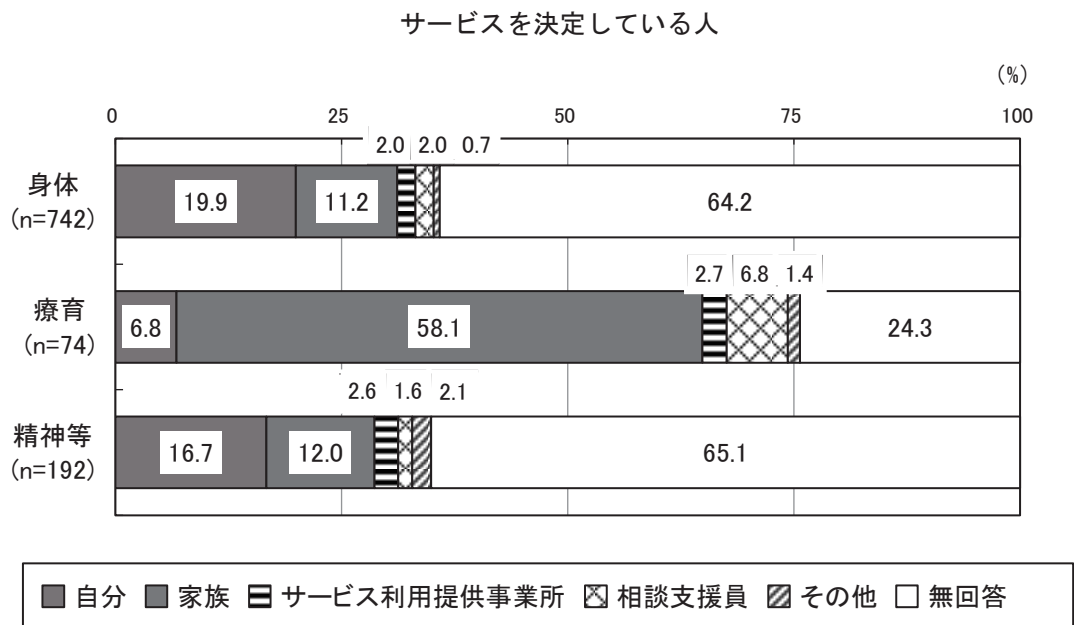
38 福祉サービス等の利用にあたり、利用する施設やサービス内容について誰が決めていますか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 34，療育：問 32，精神等：問 34]

サービスを決定している人については、身体で「自分」が19.9%と最も多く、次いで、「家族」が11.2%となっています。

療育で「家族」が58.1%と最も多く、次いで、「自分」、「相談支援員」がともに6.8%となっています。

精神等で「自分」が16.7%と最も多く、次いで、「家族」が12.0%となっています。



〔6〕必要なサービス

39 今受けていないサービスで必要と思うサービスはありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 35，療育：問 33，精神等：問 35]

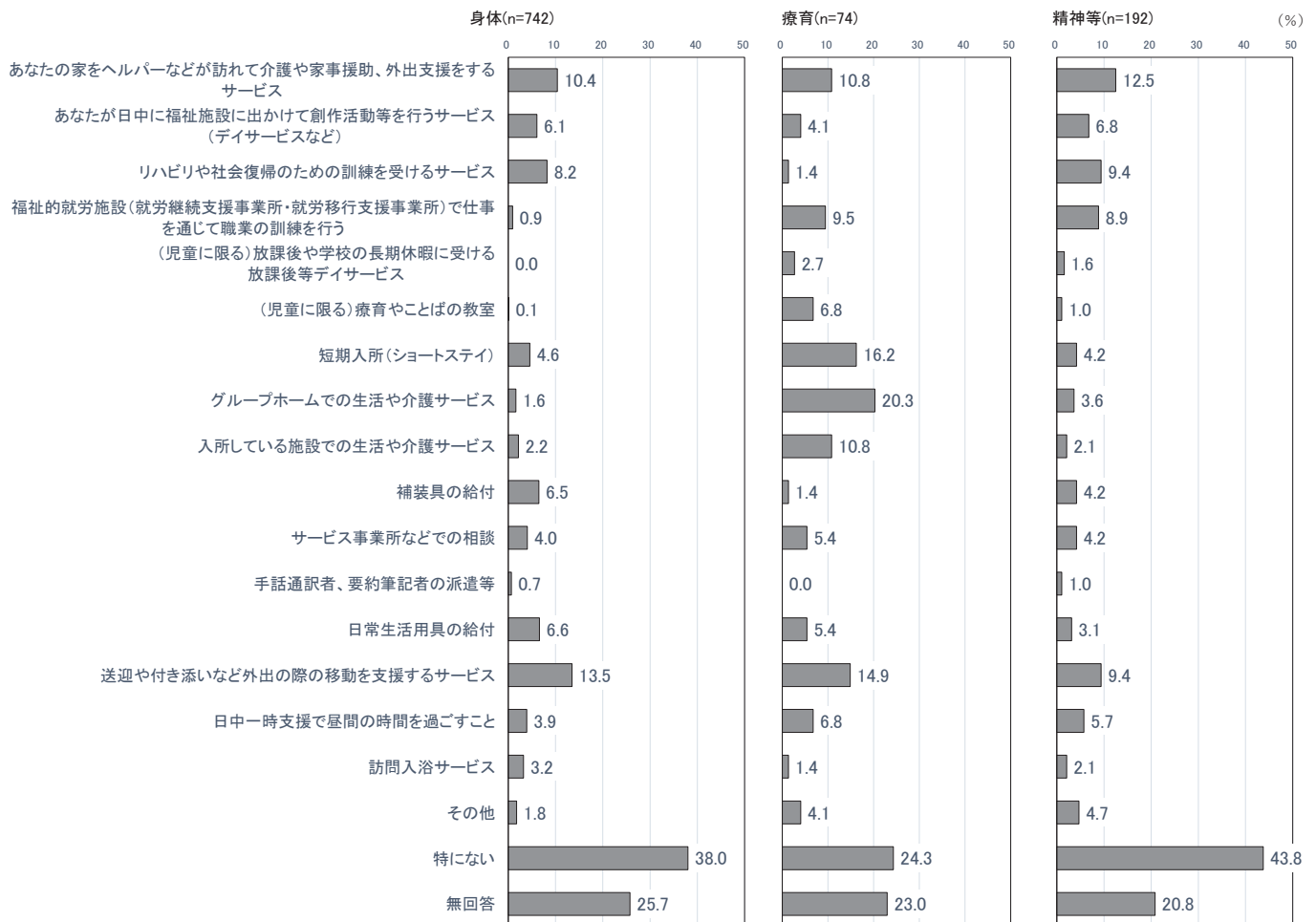
「特にない」が最も多くなっています。

必要なサービスについては、身体で「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」が13.5%と最も多く、次いで、「あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助、外出支援をするサービス」が10.4%となっています。

療育で「グループホームでの生活や介護サービス」が20.3%と最も多く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」が16.2%となっています。

精神等で「あなたの家をヘルパーなどが訪れて介護や家事援助、外出支援をするサービス」が12.5%と最も多く、次いで、「リハビリや社会復帰のための訓練を受けるサービス」、「送迎や付き添いなど外出の際の移動を支援するサービス」がともに9.4%となっています。

必要なサービス



〔7〕 必要と感じるサービスや支援

40 今のところ城陽市では実施はされていませんが、次のサービスや支援で必要と感じるものはありますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 36，療育：問 34，精神等：問 36]

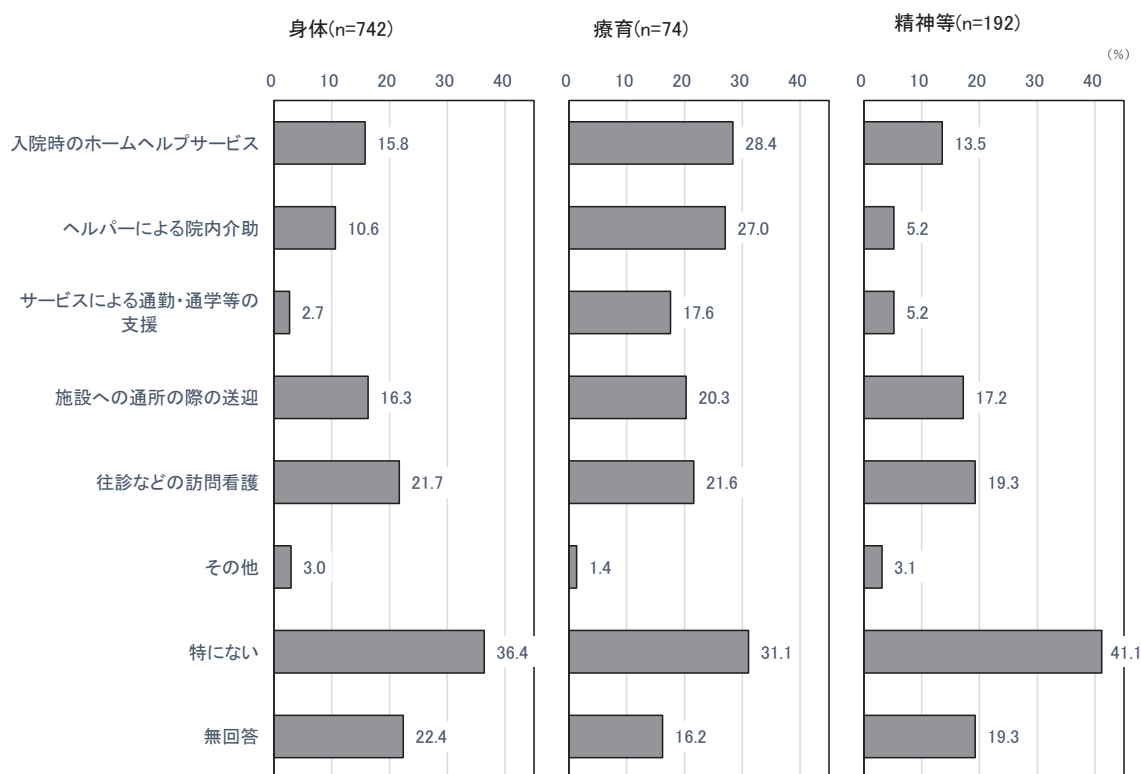
「特にない」が最も多くなっています。

必要と感じるサービスや支援については、身体で「往診などの訪問看護」が 21.7%と最も多く、次いで、「施設への通所の際の送迎」が 16.3%、「入院時のホームヘルプサービス」が 15.8%となっています。

療育で「入院時のホームヘルプサービス」が 28.4%と最も多く、次いで、「ヘルパーによる院内介助」が 27.0%、「往診などの訪問看護」が 21.6%となっています。

精神等で「往診などの訪問看護」が 19.3%と最も多く、次いで、「施設への通所の際の送迎」が 17.2%、「入院時のホームヘルプサービス」が 13.5%となっています。

必要と感じるサービスや支援



8 情報について

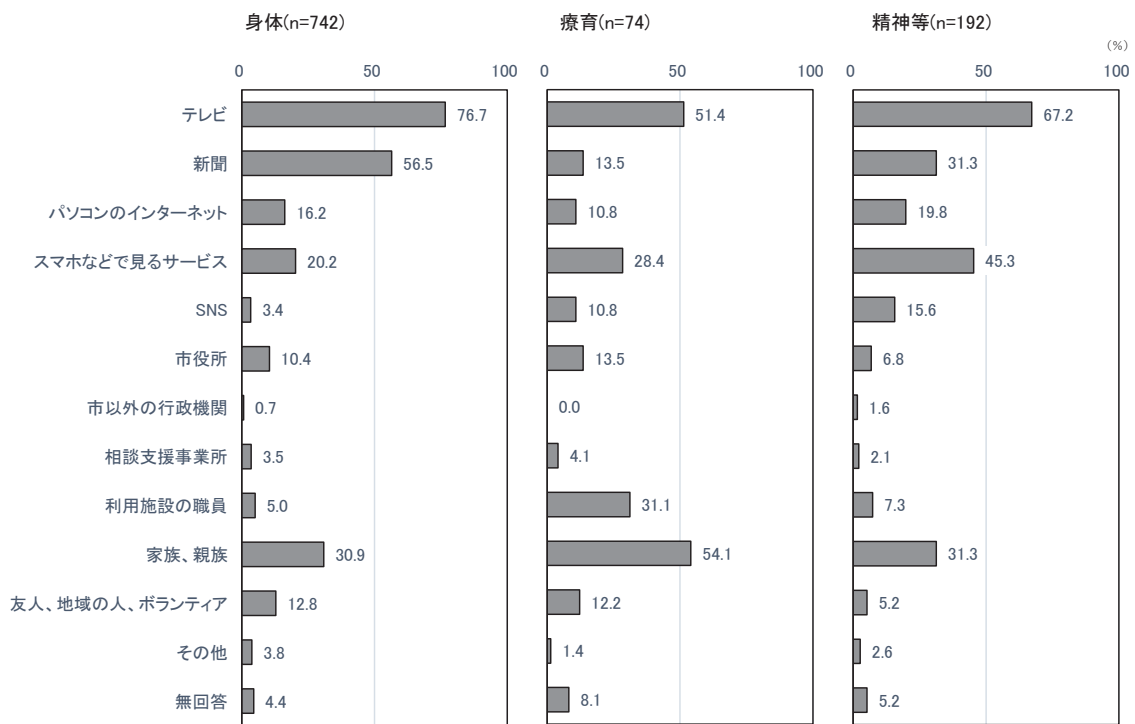
〔1〕情報の入手方法

41 あなたは生活に必要な情報を主に何から得ていますか。特に当てはまる番号に3つまで○をつけてください。

[身体：問 37，療育：問 35，精神等：問 37]

情報の入手方法については、身体で「テレビ」が 76.7%と最も多く、次いで、「新聞」が 56.5%となっています。療育で「家族、親族」が 54.1%と最も多く、次いで、「テレビ」が 51.4%となっています。精神等で「テレビ」が 67.2%と最も多く、次いで、「スマホなどで見るサービス」が 45.3%となっています。

情報の入手方法



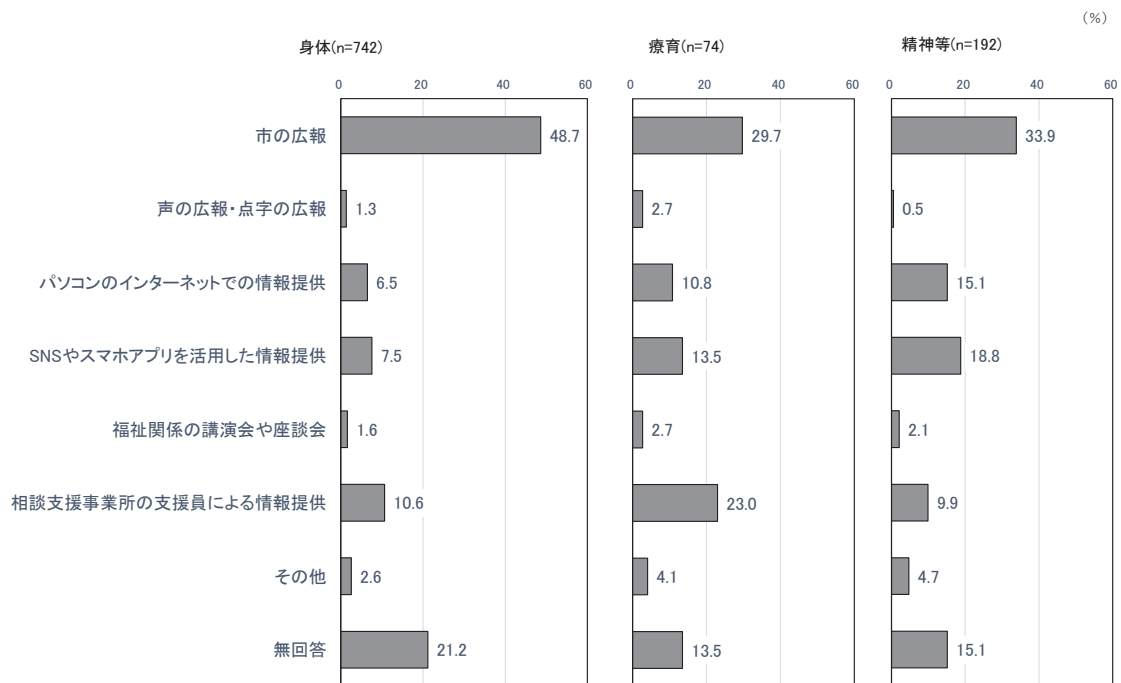
〔2〕 充実すべき情報発信方法

42 市の情報発信方法として、もっとも力を入れてほしいことは何ですか。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

[身体：問 38，療育：問 36，精神等：問 38]

充実すべき情報発信方法については、いずれの調査対象でも「市の広報」が最も多くなっています。次いで、身体で「相談支援事業所の支援員による情報提供」が10.6%、「SNS やスマホアプリを活用した情報提供」が7.5%となっています。療育で「相談支援事業所の支援員による情報提供」が23.0%、「SNS やスマホアプリを活用した情報提供」が13.5%となっています。精神等で「SNS やスマホアプリを活用した情報提供」が18.8%、「パソコンのインターネットでの情報提供」が15.1%となっています。

充実すべき情報発信方法



9 地域での暮らしや悩み・相談について

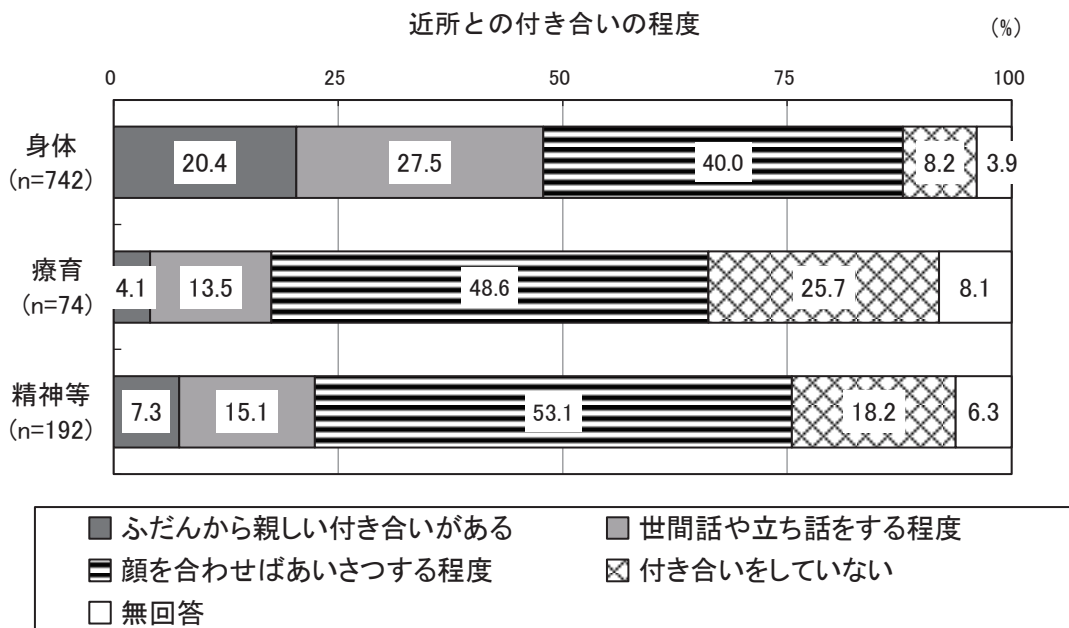
〔1〕 近所との付き合いの程度

43 あなたは、隣近所の人とどの程度お付き合いをしていますか。当てはまる番号に1つだけ〇をつけてください。

[身体：問 39，療育：問 37，精神等：問 39]

近所との付き合いの程度については、いずれの調査対象でも「顔を合わせばあいさつする程度」が約 4 割から 5 割と最も多くなっています。次いで、身体で「世間話や立ち話をする程度」が 27.5%、「ふだんから親しい付き合いがある」が 20.4%となっています。

療育、精神等で「付き合いをしていない」がそれぞれ 25.7%、18.2%、「世間話や立ち話をする程度」がそれぞれ 13.5%、15.1%となっています。



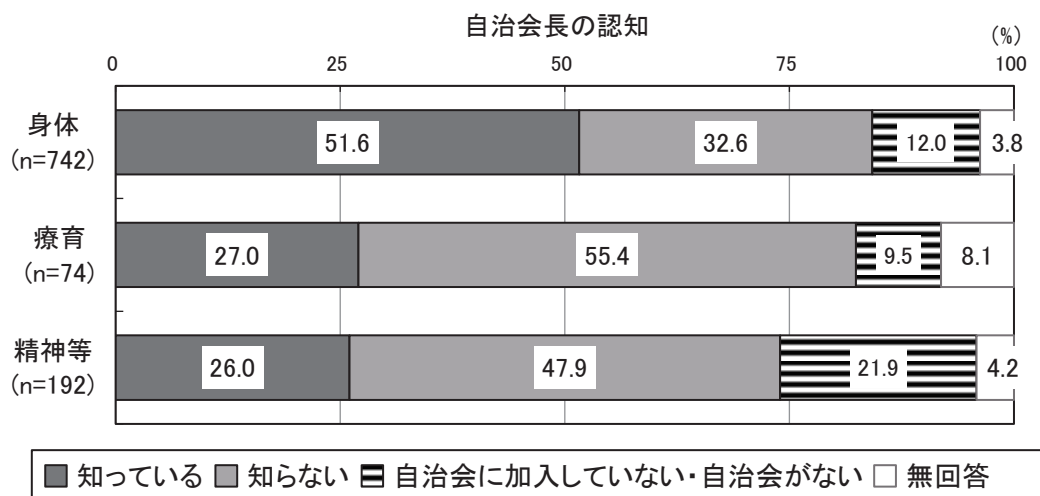
〔2〕自治会長、民生委員・児童委員の認知

44 あなたは、あなたの地域の自治会長や民生委員・児童委員を知っていますか。当てはまる番号にそれぞれ1つずつ〇をつけてください。

[身体：問 40，療育：問 38，精神等：問 40]

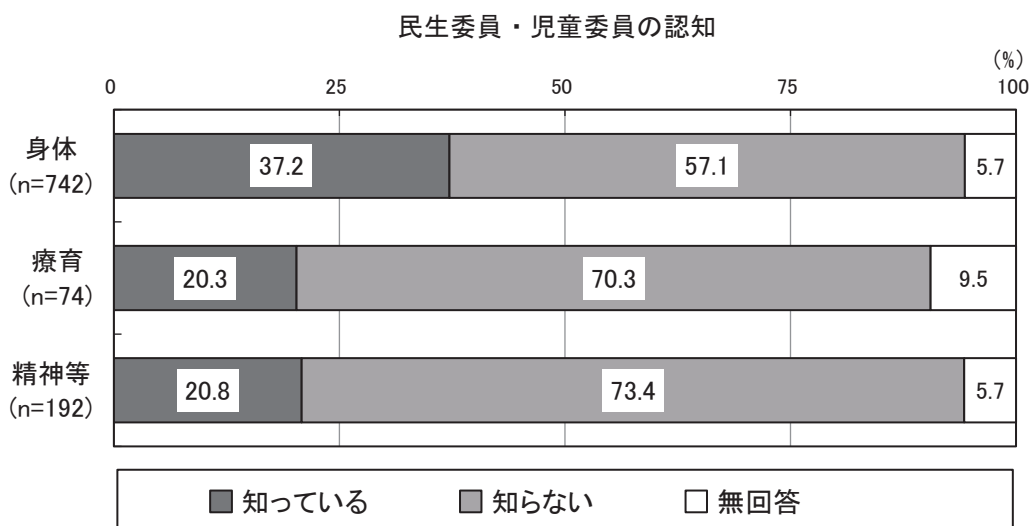
①自治会長の認知

自治会長の認知については、「知っている」が身体で 51.6%と最も多く、次いで、療育で 27.0%、精神等で 26.0%となっています。



②民生委員・児童委員の認知

民生委員・児童委員の認知については、「知っている」が身体で 37.2%と最も多く、次いで、精神等で 20.8%、療育で 20.3%となっています。



〔3〕 悩みや相談事

45 あなたの今現在の悩みや相談事などは、どんなことですか。当てはまる番号にいくつでも〇をつけてください。

[身体：問 41，療育：問 39，精神等：問 41]

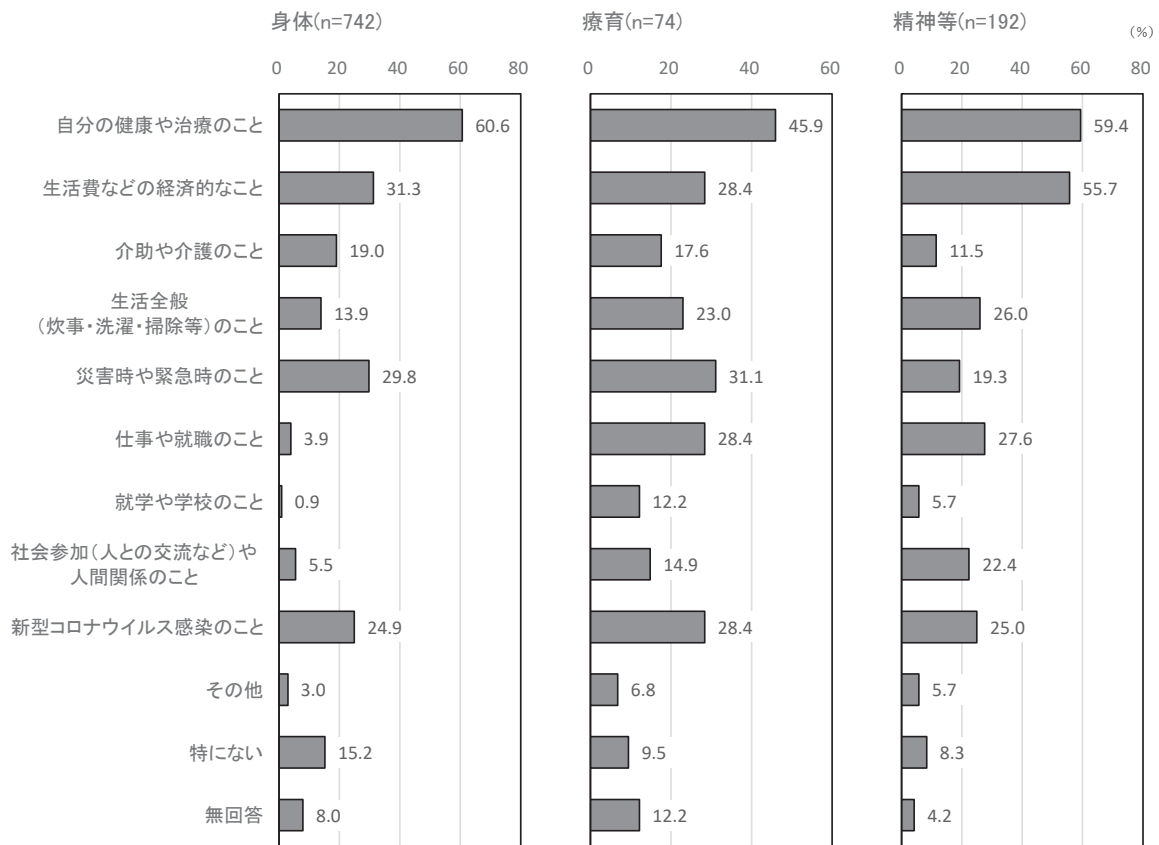
悩みや相談事については、いずれの調査対象でも「自分の健康や治療のこと」が最も多く、身体で60.6%、療育で45.9%、精神等59.4%となっています。

次いで、身体で「生活費などの経済的なこと」が31.3%、「災害時や緊急時のこと」が29.8%となっています。

療育で「災害時や緊急時のこと」が31.1%、「生活費などの経済的なこと」、「仕事や就職のこと」、「新型コロナウイルス感染のこと」がともに28.4%となっています。

精神等で「生活費などの経済的なこと」が55.7%、「仕事や就職のこと」が27.6%となっています。

悩みや相談事



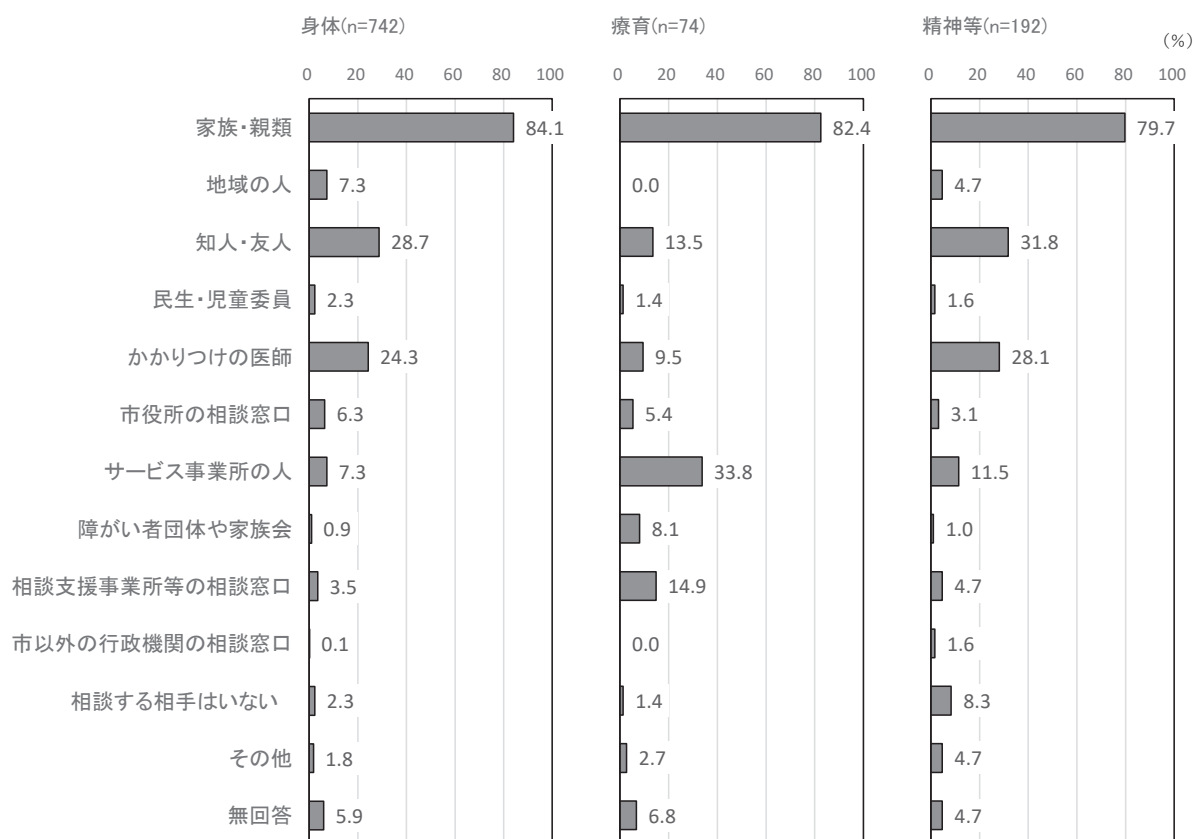
〔4〕 日常的な相談相手

46 日常的に連絡がとれ、困ったことや不安なことを相談できる相手はどのような方ですか。
 当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 42，療育：問 40，精神等：問 42]

日常的な相談相手については、いずれの調査対象でも「家族・親類」が約 8 割と最も多くなっています。次いで、身体で「知人・友人」が 28.7%、「かかりつけの医師」が 24.3%、療育で「サービス事業所の人」が 33.8%、「相談支援事業所等の相談窓口」が 14.9%、精神等で「知人・友人」が 31.8%、「かかりつけの医師」が 28.1%となっています。

日常的な相談相手



〔5〕現在の相談体制について

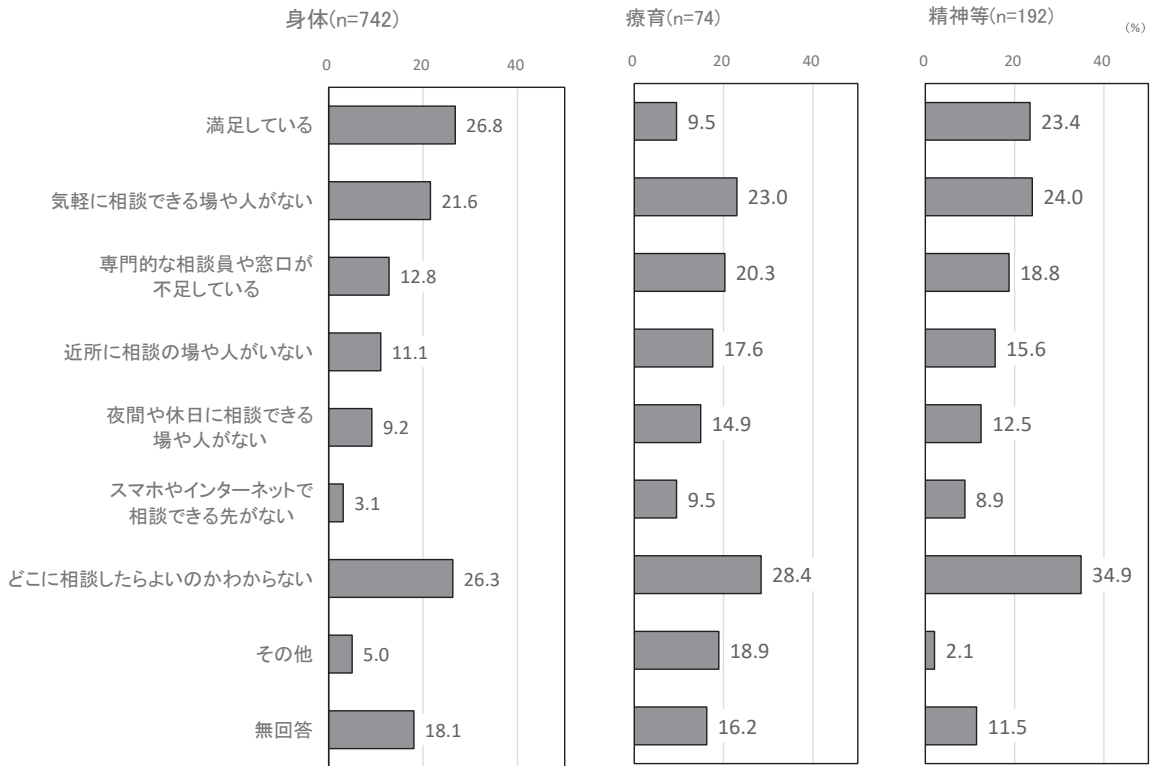
47 現在の困った時の相談体制について、どのように感じていますか。当てはまる番号にくつでも〇をつけてください。

[身体：問 43，療育：問 41，精神等：問 43]

現在の相談体制について、身体では「満足している」が26.8%で最も多くなっていますが、一方で、「どこに相談したらよいかわからない」が、身体で26.3%、療育で28.4%、精神等で34.9%と多くなっています。

また、「気軽に相談できる場や人がない」も身体で21.6%、療育で23.0%、精神等で24.0%と多くなっています。

現在の相談体制について



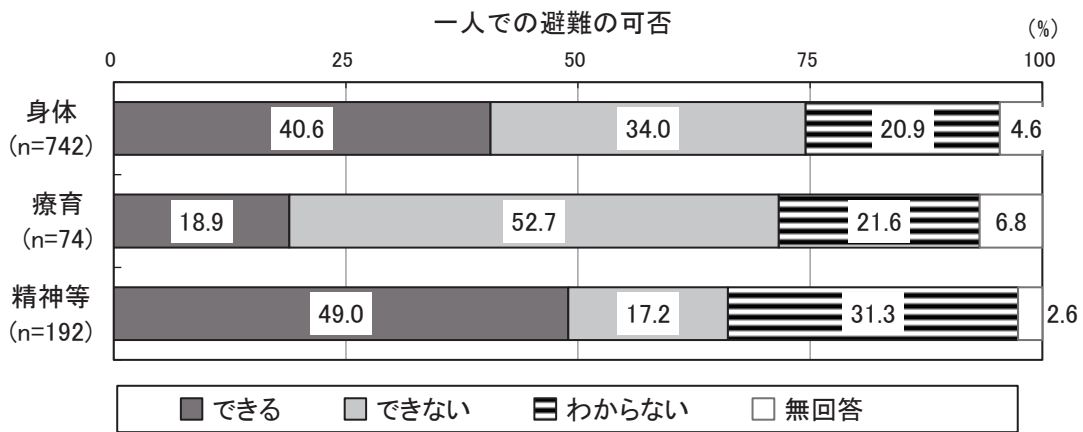
10 災害時の避難等について

〔1〕一人での避難の可否

48 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。

[身体：問 44, 療育：問 42, 精神等：問 44]

一人での避難の可否については、身体、精神等で「できる」が多く、それぞれ 40.6%、49.0% となっています。療育で「できない」が 52.7% と多くなっています。

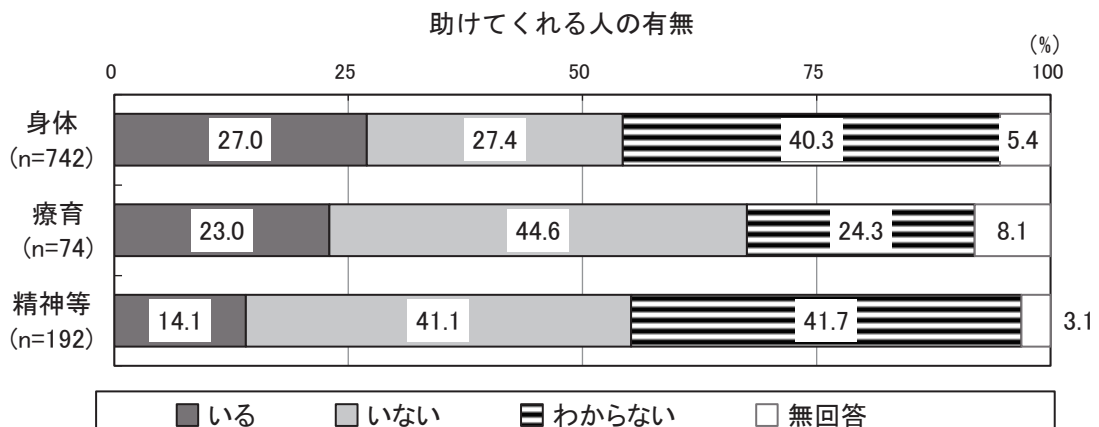


〔2〕助けてくれる人の有無

49 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。

[身体：問 45, 療育：問 43, 精神等：問 45]

助けてくれる人の有無については、身体、精神等で「わからない」が約 4 割と多くなっています。一方、療育で「いない」が最も多くなっています。精神等で「いない」と「わからない」が同率で最も多くなっています。

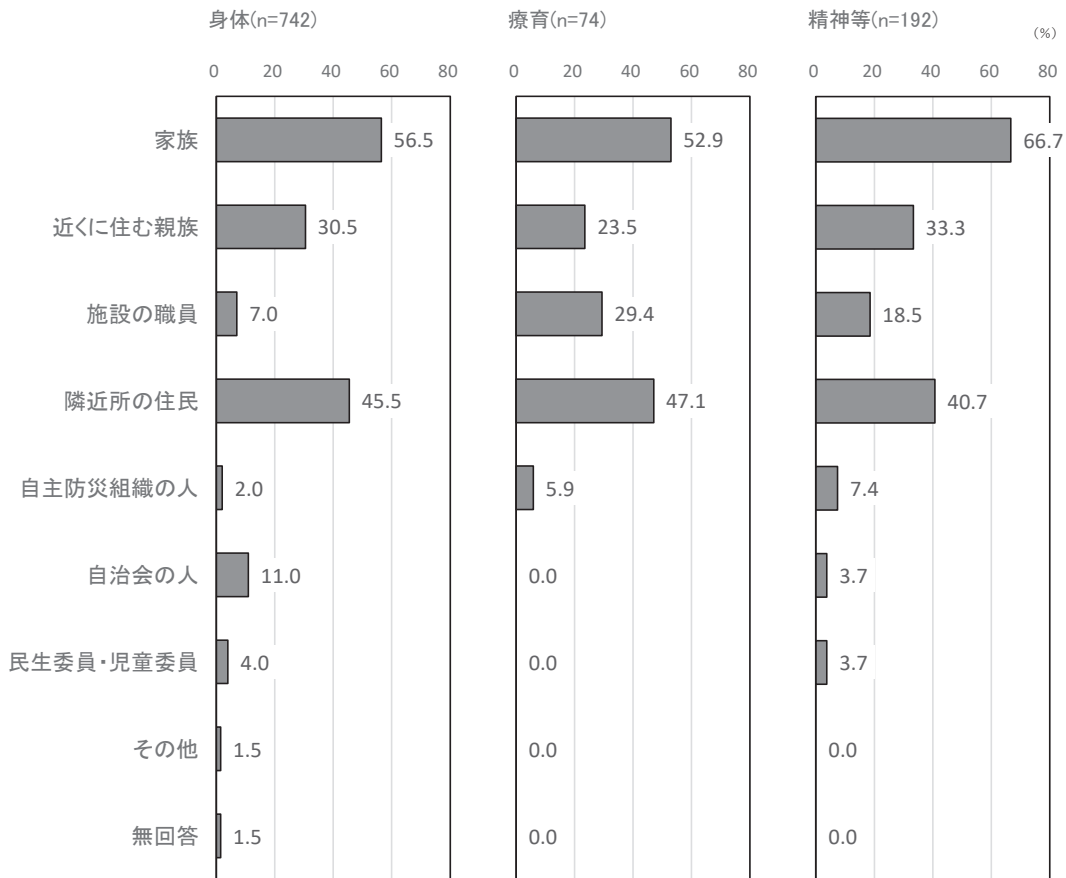


〔3〕 助けてくれる人

49-1 49 で避難を手助けしてくれる人が「いる」に○をつけた方にお聞きします。避難を手助けしてくれる人はどなたですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。
 [身体：問 45-1，療育：問 43-1，精神等：問 45-1]

助けてくれる人については、いずれの調査対象でも「家族」が約5割以上と最も多くなっています。次いで、「隣近所の住民」が身体では45.5%、療育では47.1%、精神等では40.7%となっており、身体、精神等で「近くに住む親族」がそれぞれ30.5%、33.3%、療育で「施設の職員」が29.4%となっています。

助けてくれる人



〔4〕災害時に困ること

50 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

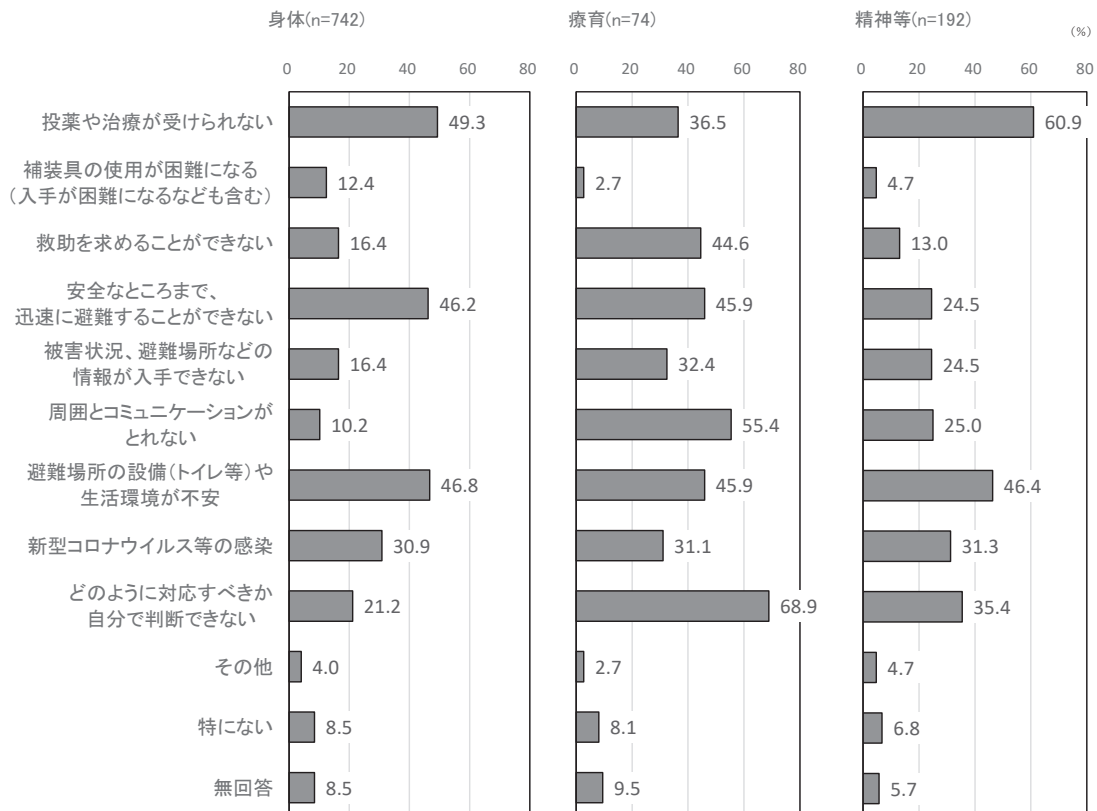
[身体：問 46，療育：問 44，精神等：問 46]

災害時に困ることについては、身体で「投薬や治療が受けられない」が49.3%と最も多く、次いで、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が46.8%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が46.2%となっています。

療育で「どのように対応すべきか自分で判断できない」が68.9%と最も多く、次いで、「周囲とコミュニケーションがとれない」が55.4%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」がともに45.9%となっています。

精神等で「投薬や治療が受けられない」が60.9%と最も多く、次いで、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が46.4%、「どのように対応すべきか自分で判断できない」が35.4%となっています。

災害時に困ること



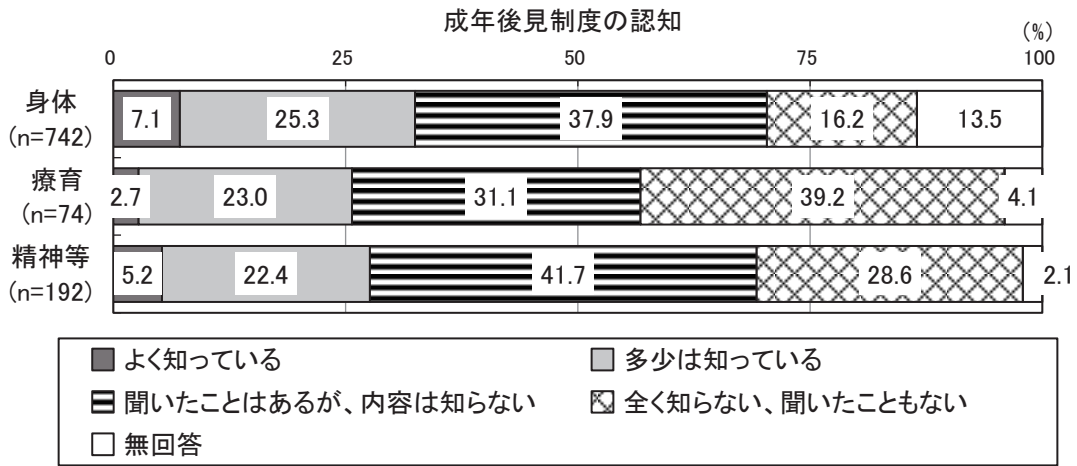
11 権利擁護等について

〔1〕 成年後見制度の認知

51 一人で決めることに不安や心配のある人が、さまざまな契約や手続きを行う際に支援してもらえる成年後見制度について、ご存じですか。

[身体：問 47，療育：問 45，精神等：問 47]

成年後見制度の認知については、いずれの調査対象でも「よく知っている」と「多少は知っている」を合わせた『知っている』に比べて「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「全く知らない、聞いたことがない」を合わせた『知らない』が多くなっています。

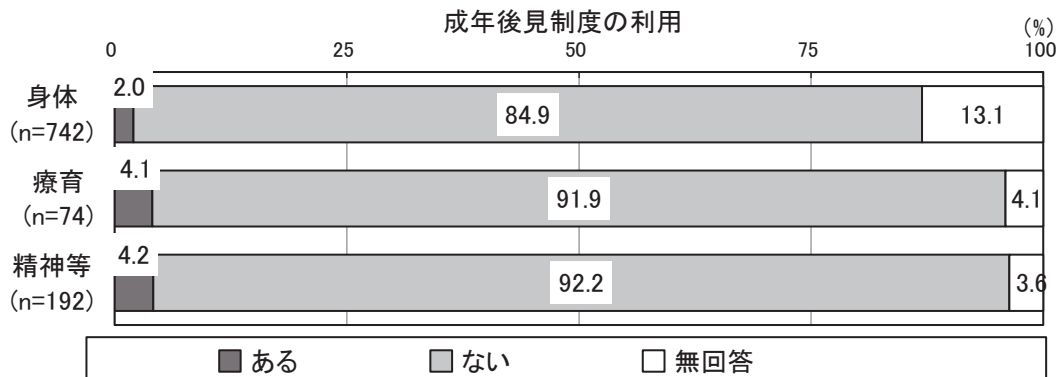


〔2〕 成年後見制度の利用

52 成年後見制度を利用したことはありますか。

[身体：問 48，療育：問 46，精神等：問 48]

成年後見制度の利用については、「ある」は精神等で4.2%と最も多く、次いで、療育で4.1%、身体で2.0%となっています。



〔3〕 成年後見制度について相談する相手

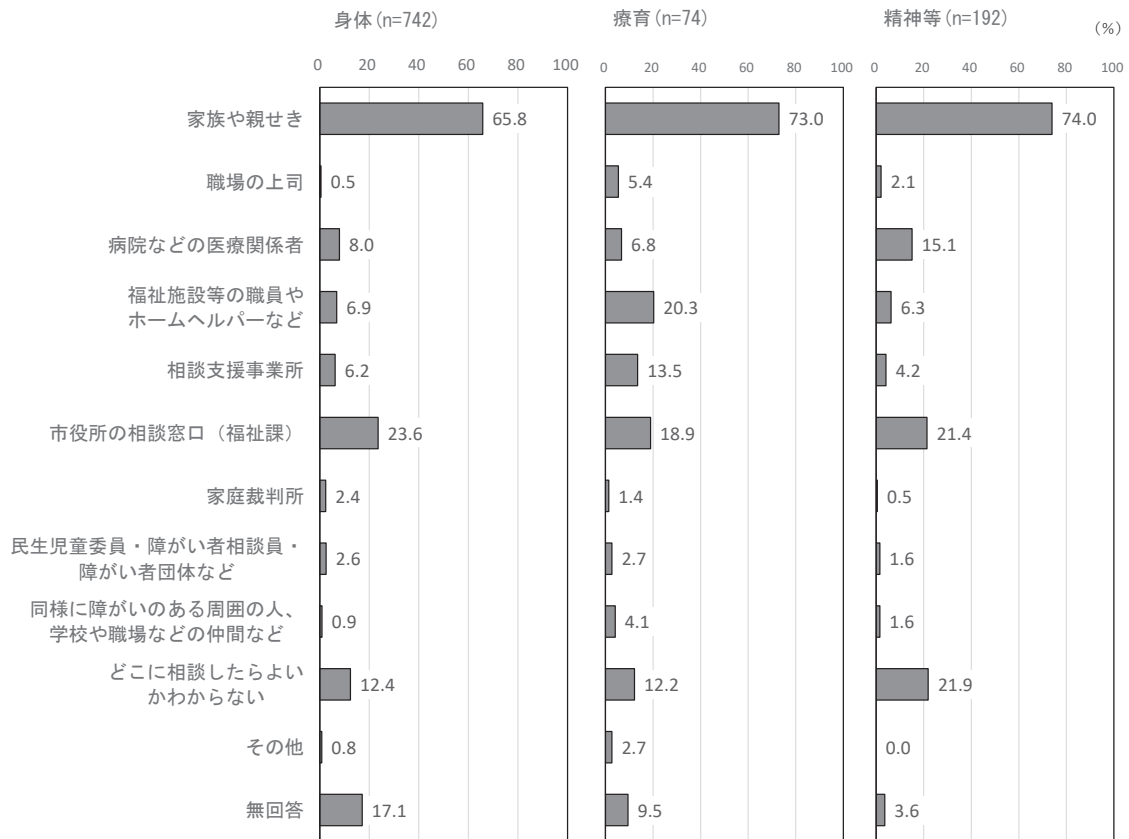
53 成年後見制度について、相談するとすれば誰ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 49，療育：問 47，精神等：問 49]

成年後見制度について相談する相手については、いずれの調査対象でも、「家族や親せき」が6割以上と最も多くなっています。

次いで、身体で「市役所の相談窓口（福祉課）」が23.6%、療育で「福祉施設等の職員やホームヘルパーなど」が20.3%、精神等で「どこに相談したらよいかわからない」が21.9%となっています。

成年後見制度について相談する相手



〔4〕 成年後見制度について必要な情報

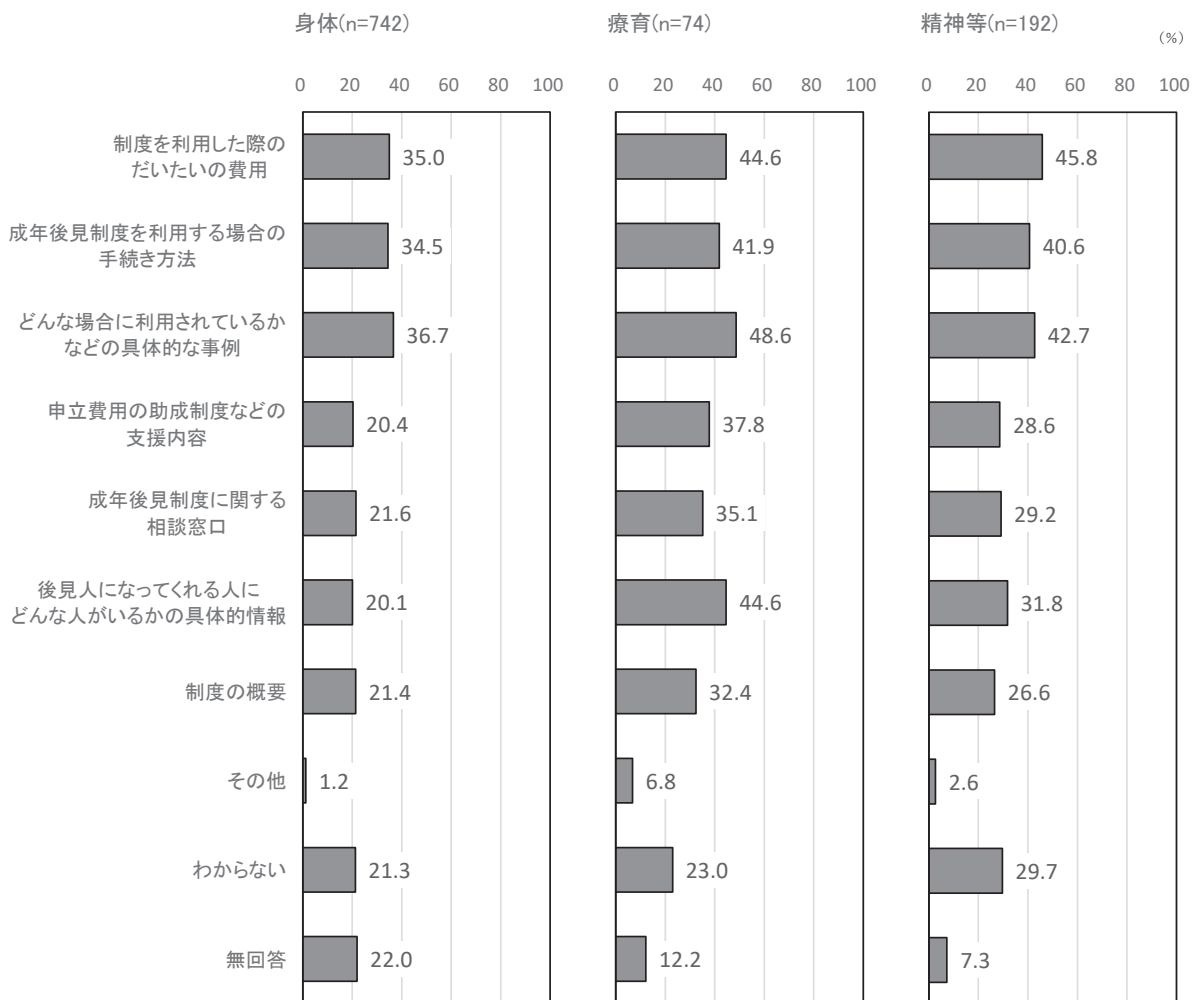
54 成年後見制度に関して、どのような情報が提供されればよいと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 50，療育：問 48，精神等：問 50]

成年後見制度について必要な情報については、身体、療育では「どんな場合に利用されているかなどの具体的な事例」が、精神では「制度を利用した際のだいたいの費用」が最も多くなっています。

次いで、身体では「制度を利用した際のだいたいの費用」が 35.0%、「成年後見制度を利用する場合の手続き方法」が 34.5%、療育では「制度を利用した際のだいたいの費用」、「後見人になってくれる人にどんな人がいるかの具体的情報」がともに 44.6%、精神等では「どんな場合に利用されているかなどの具体的な事例」が 42.7%、「成年後見制度を利用する場合の手続き方法」が 40.6%と多くなっています。

成年後見制度について必要な情報



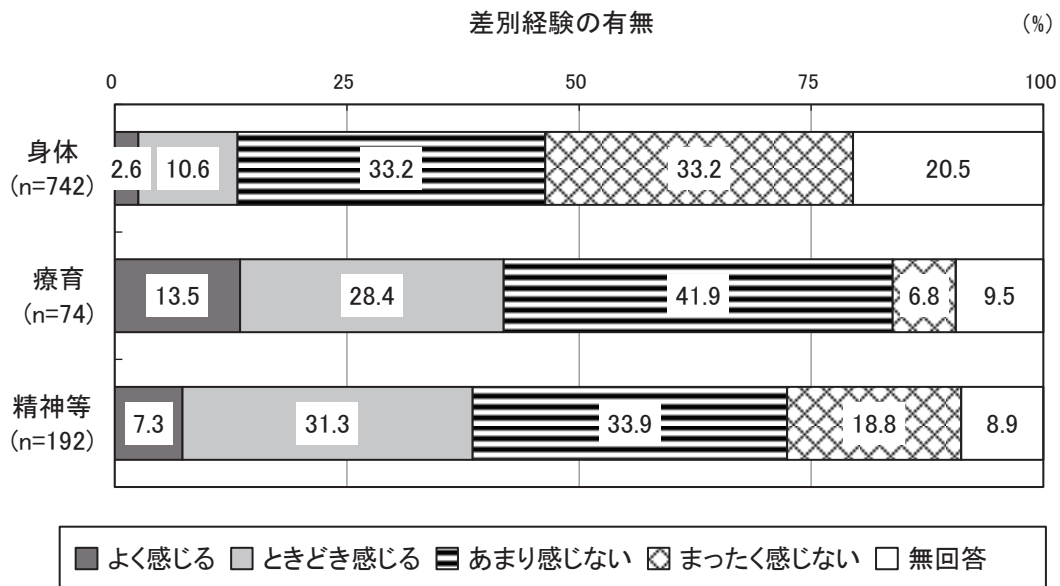
〔5〕 差別経験の有無

55 日常生活において、障がいがあるために差別や偏見、疎外感を感じることがありますか。当てはまる番号に1つだけ〇をつけてください。

[身体：問 51，療育：問 49，精神等：問 51]

差別経験の有無については、「あまり感じない」「まったく感じない」の『感じない』が最も多く、身体で66.4%、療育で48.7%、精神等で52.7%となっています。

「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせた『感じる』は、身体で13.2%、療育で41.9%、精神等で38.6%となっています。



〔6〕 差別経験の内容

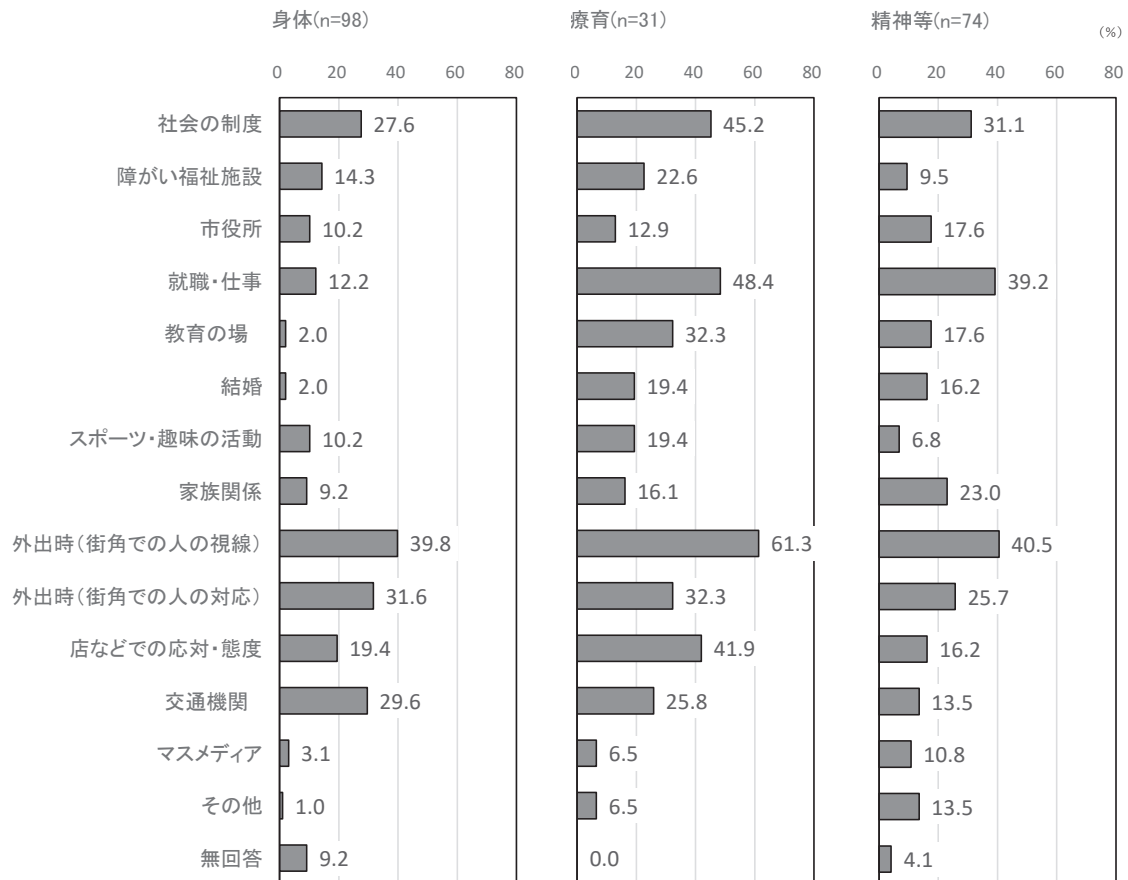
55-1 55で「よく感じる」、「ときどき感じる」を選択した方におたずねします。どんな場合でそれを感じますか。特に当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問51-1，療育：問49-1，精神等：問50-1]

差別経験の内容については、いずれの調査対象でも「外出時（街角での人の視線）」が最も多く、身体で39.8%、療育で61.3%、精神等で40.5%となっています。

次いで、身体で「外出時（街角での人の対応）」が31.6%、「交通機関」が29.6%、療育で「就職・仕事」が48.4%、「社会の制度」が45.2%、精神等で「就職・仕事」が39.2%、「社会の制度」が31.1%となっています。

差別経験の内容

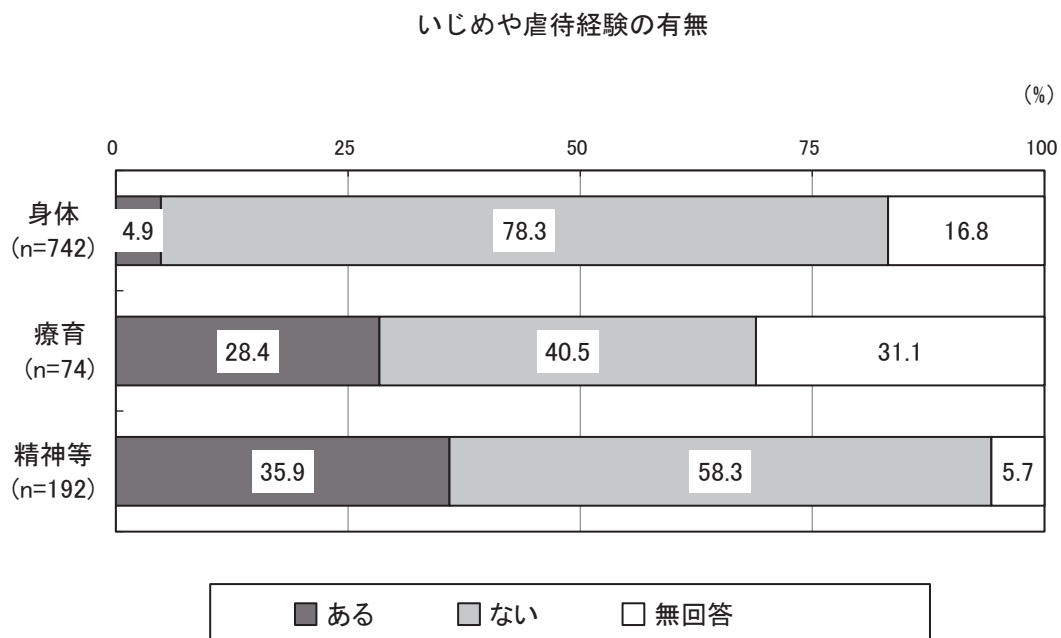


〔7〕 いじめや虐待経験の有無

56 あなたはいじめや虐待を受けたことがありますか。

[身体：問 52，療育：問 50，精神等：問 52]

いじめや虐待経験の有無については、いずれの調査対象でも「ない」の方が多くなっていますが、「ある」が療育では 28.4%、精神等では 35.9%と身体と比べて多くなっています。



〔8〕虐待を受けた場所

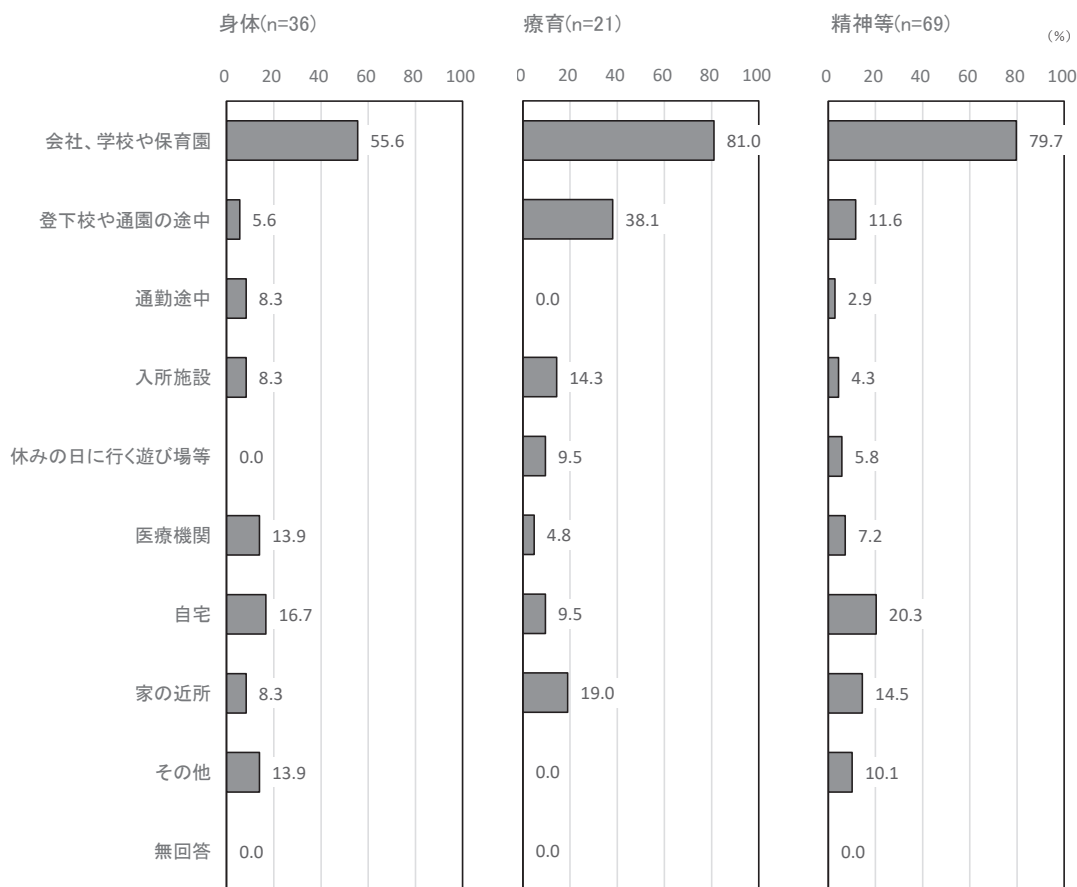
56-1 56で「ある」を選択した方におたずねします。どこで受けましたか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問52-1，療育：問50-1，精神等：問52-1]

虐待を受けた場所については、いずれの調査対象でも「会社、学校や保育園」が最も多くなっています。

次いで、身体で「自宅」が16.7%、「医療機関」が13.9%となっています。療育で「登下校や通園の途中」が38.1%、「家の近所」が19.0%となっています。精神等で「自宅」が20.3%、「家の近所」が14.5%となっています。

虐待を受けた場所



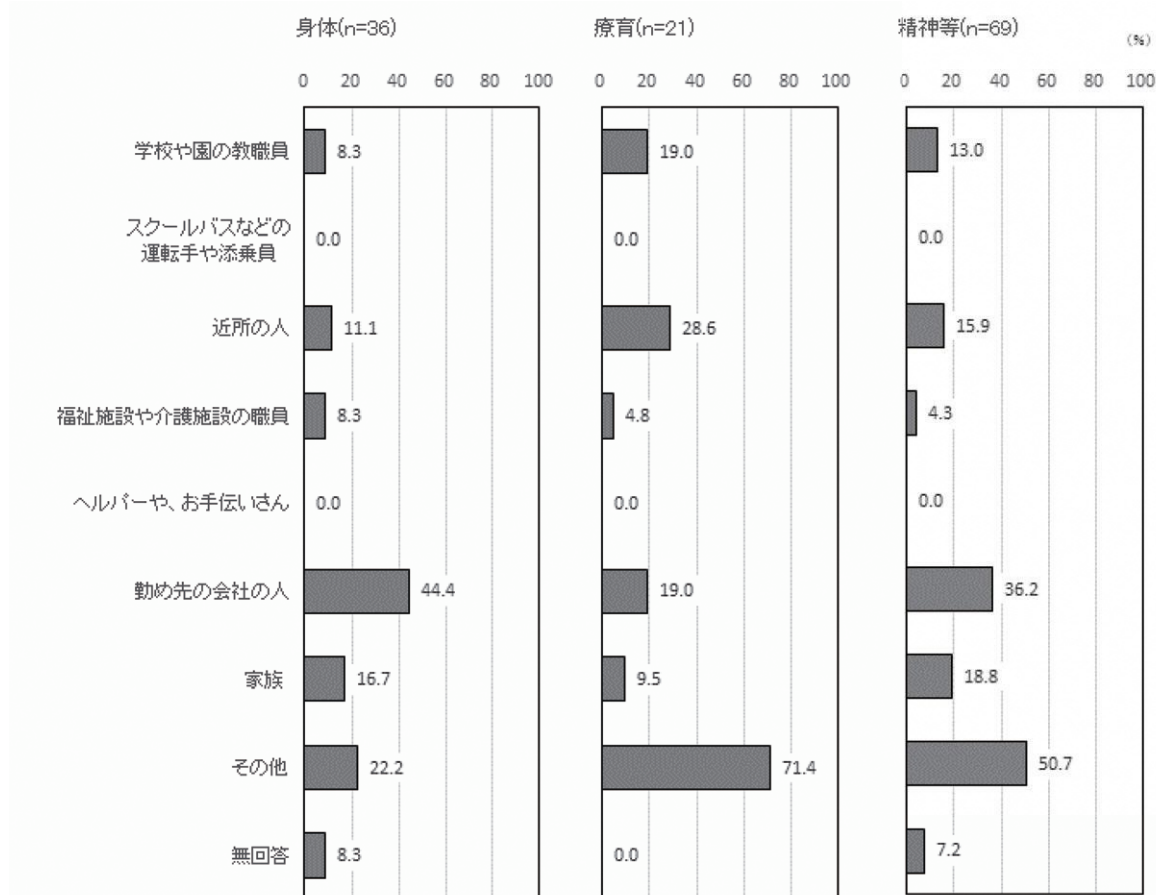
〔9〕虐待を受けた相手

56-2 56で「ある」を選択した方におたずねします。誰にされましたか。当てはまる番号にいくつでも〇をつけてください。

[身体：問52-2，療育：問50-2，精神等：問52-2]

虐待を受けた相手については、身体で「勤め先の会社の人」が44.4%で最も多く、次いで、「家族」が16.7%となっています。療育で「近所の人」が28.6%で最も多く、次いで、「学校や園の教職員」、「勤め先の会社の人」がともに19.0%、精神等で「勤め先の会社の人」が36.2%で最も多く、次いで、「家族」が18.8%となっています。

虐待を受けた相手



〔10〕虐待の内容

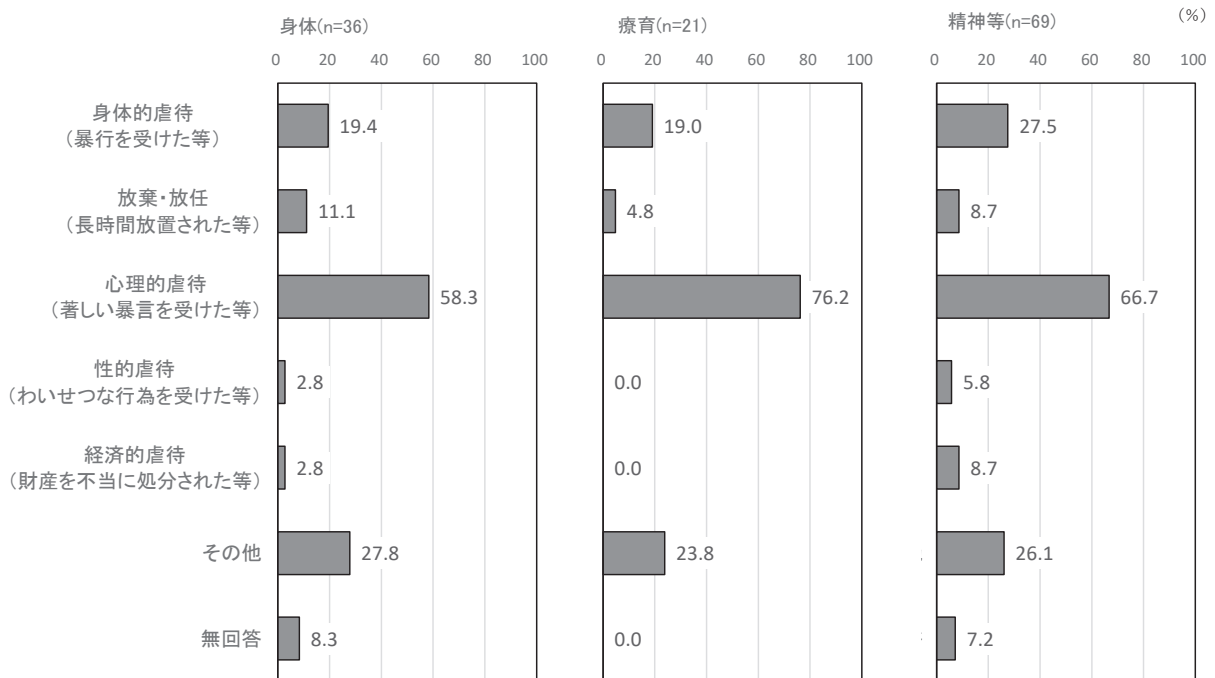
56-3 56で「ある」を選択した方におたずねします。どんなことをされましたか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 52-3, 療育：問 50-3, 精神等：問 52-3]

虐待の内容については、いずれの調査対象でも、「心理的虐待（著しい暴言を受けた等）」が最も多くなっています。

次いで、「身体的虐待（暴行を受けた等）」が身体で 19.4%、療育で 19.0%、精神等で 27.5% となっています。

虐待の内容



12 城陽市の福祉の環境について

〔1〕 今後重要な施策

57 城陽市で、障がい者が生活を送る上で重要と思われることは何ですか。特に当てはまる番号に3つまで○をつけてください。

[身体：問 53，療育：問 51，精神等：問 53]

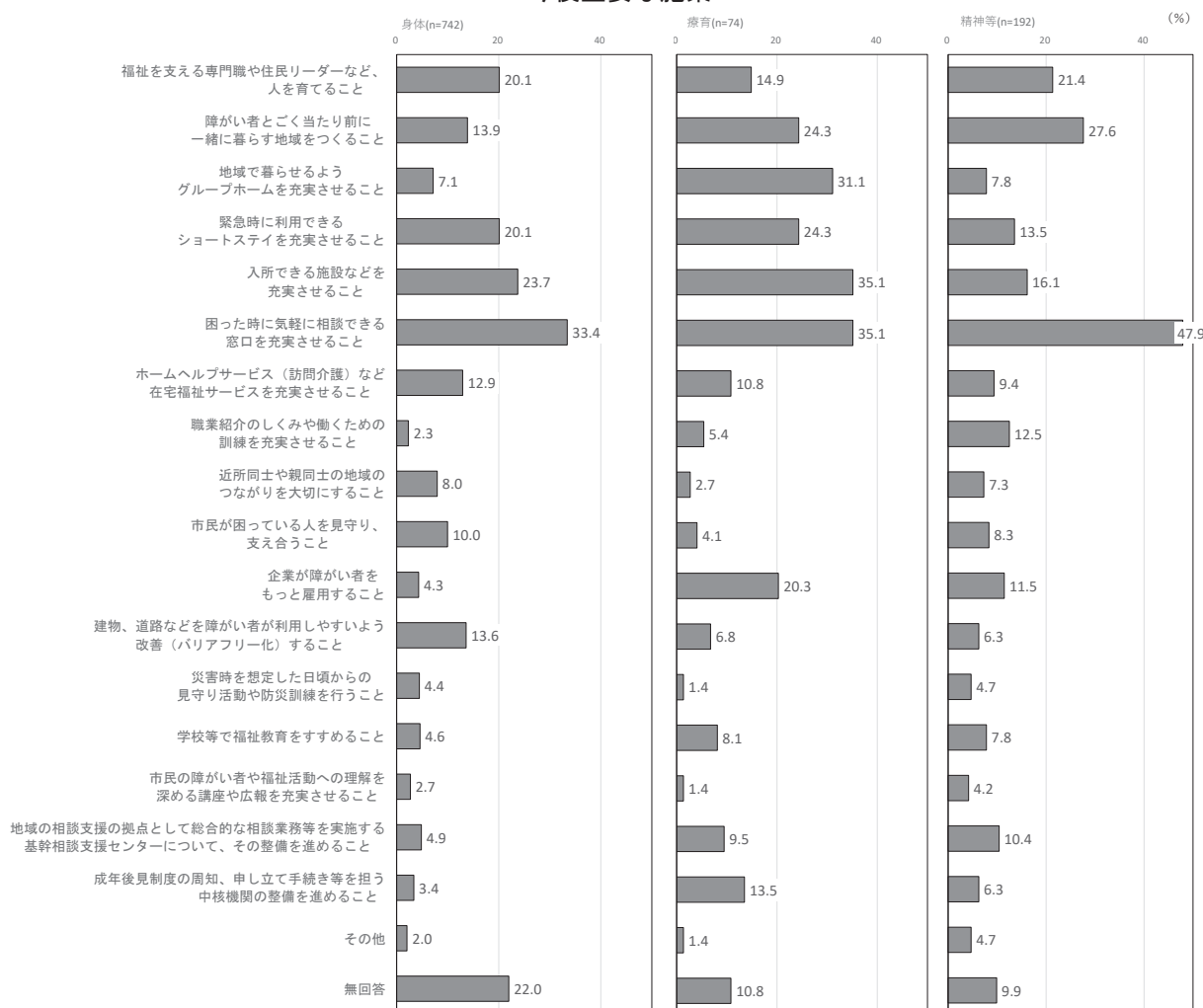
今後重要な施策については、いずれの調査対象でも「困った時に気軽に相談できる窓口を充実させること」が最も多くなっています。

次いで、身体で「入所できる施設などを充実させること」が23.7%、「福祉を支える専門職や住民リーダーなど、人を育てること」、「緊急時に利用できるショートステイを充実させること」がともに20.1%となっています。

療育で「入所できる施設などを充実させること」、「困った時に気軽に相談できる窓口を充実させること」がともに35.1%と最も多く、次いで、「地域で暮らせるようグループホームを充実させること」が31.1%となっています。

精神等で「障がい者とごく当たり前に一緒に暮らす地域をつくること」が27.6%、「福祉を支える専門職や住民リーダーなど、人を育てること」が21.4%となっています。

今後重要な施策



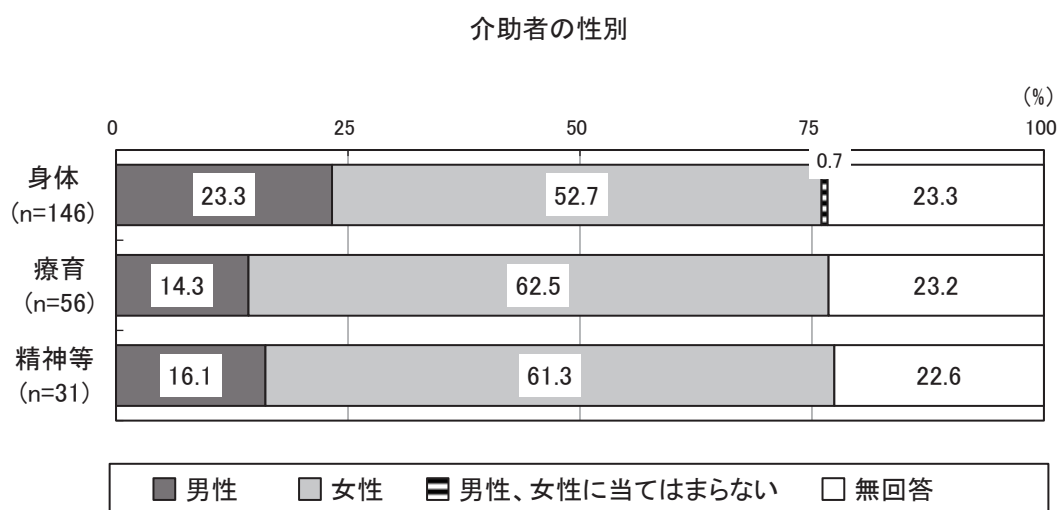
13 介助者について

〔1〕 介助者の性別

58 主な介助者の性別は。※ご自身が認識されている性別または状態をお書きください。

[身体：問 54，療育：問 52，精神等：問 54]

介助者の性別については、調査対象のいずれも、女性の割合が多くなっています。男性の割合は、身体で 23.3%、療育で 14.3%、精神等で 16.1%となっています。



〔2〕 介助者の年齢

59 主な介助者の方の年齢はいくつですか。

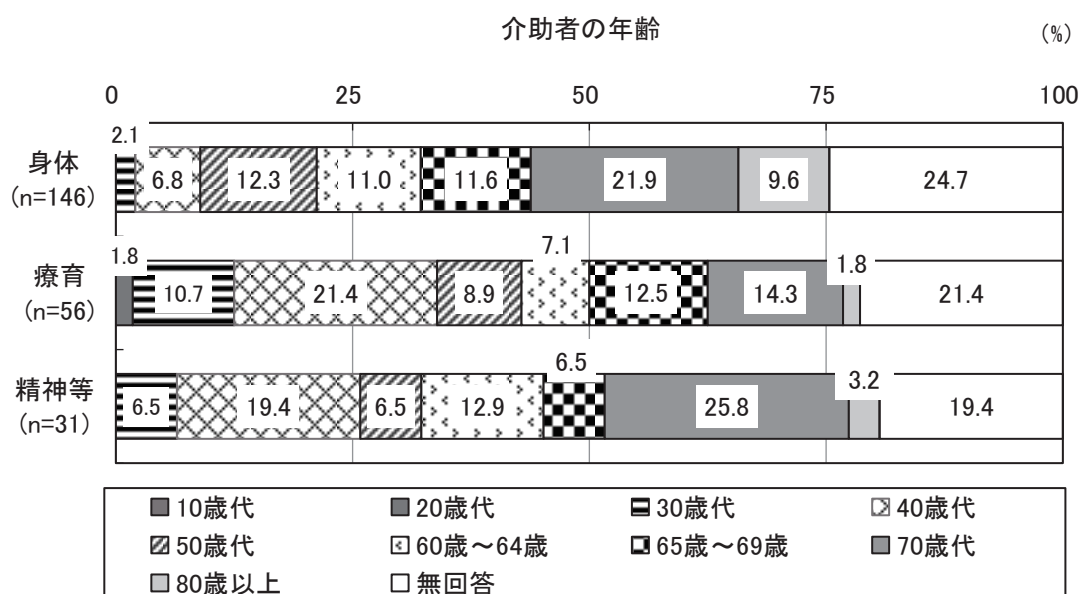
[身体：問 55，療育：問 53，精神等：問 55]

介助者の年齢については、身体で「70 歳代」が 21.9%と最も多く、次いで、「50 歳代」が 12.3%となっています。

療育で「40 歳代」が 21.4%と最も多く、次いで、「70 歳代」が 14.3%となっています。

精神等で「70 歳代」が 25.8%と最も多く、次いで、「40 歳代」が 19.4%となっています。

一方、「65 歳～69 歳」、「70 歳代」、「80 歳以上」を合わせた『65 歳以上』は、身体で 43.1%と最も多く、次いで、精神等で 35.5%、療育で 28.6%となっています。



〔3〕療育及び保育での困りごと

60 障がい児（18歳未満）の保護者の方におたずねします。お子さんの療育及び保育で困っている事は何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 56，療育：問 54，精神等：問 56]

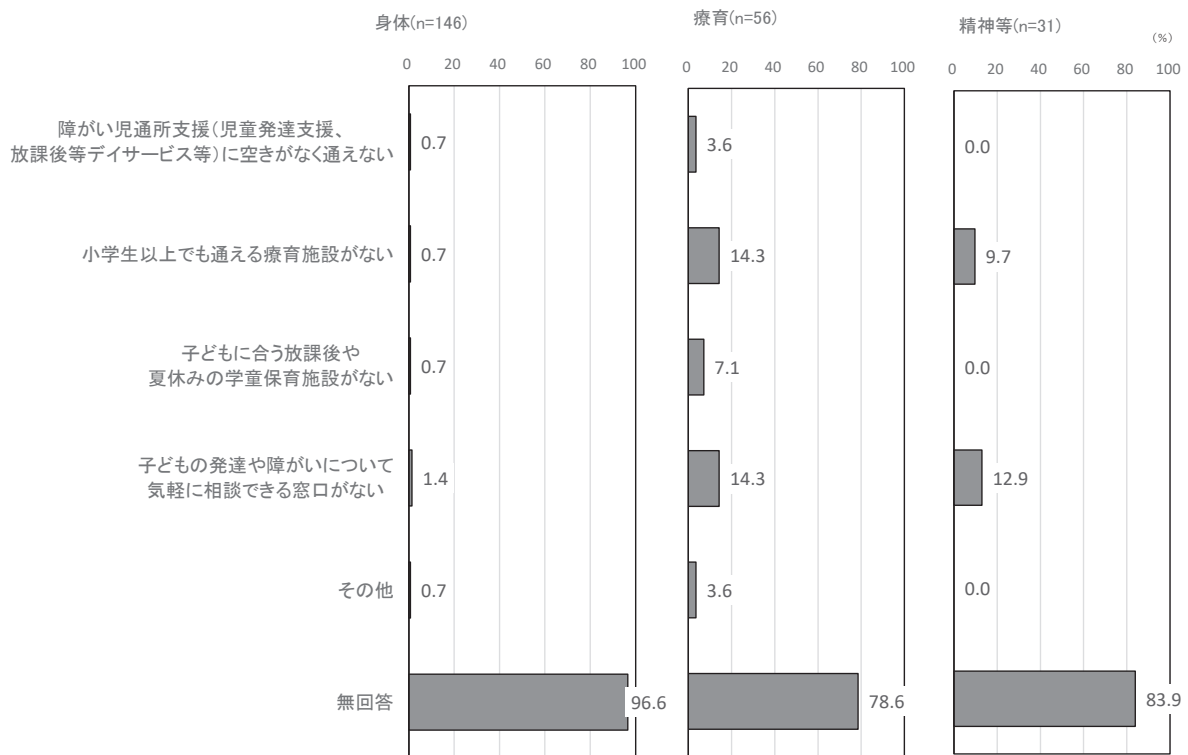
回答数は少ないものの、療育及び保育での困りごとについては、いずれの調査対象でも「子どもの発達や障がいについて気軽に相談できる窓口がない」が最も多くなっています。

次いで、身体では「障がい児通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス等）に空きがなく通えない」、「小学生以上でも通える療育施設がない」、「子どもに合う放課後や夏休みの学童保育施設がない」が同率で 0.7% となっています。

療育では「小学生以上でも通える療育施設がない」、「子どもの発達や障がいについて気軽に相談できる窓口がない」がともに 14.3% と最も多く、次いで、「子どもに合う放課後や夏休みの学童保育施設がない」が 7.1% となっています。

精神等では「小学生以上でも通える療育施設がない」が 9.7% となっています。

療育及び保育での困りごと



〔4〕介護での困りごと

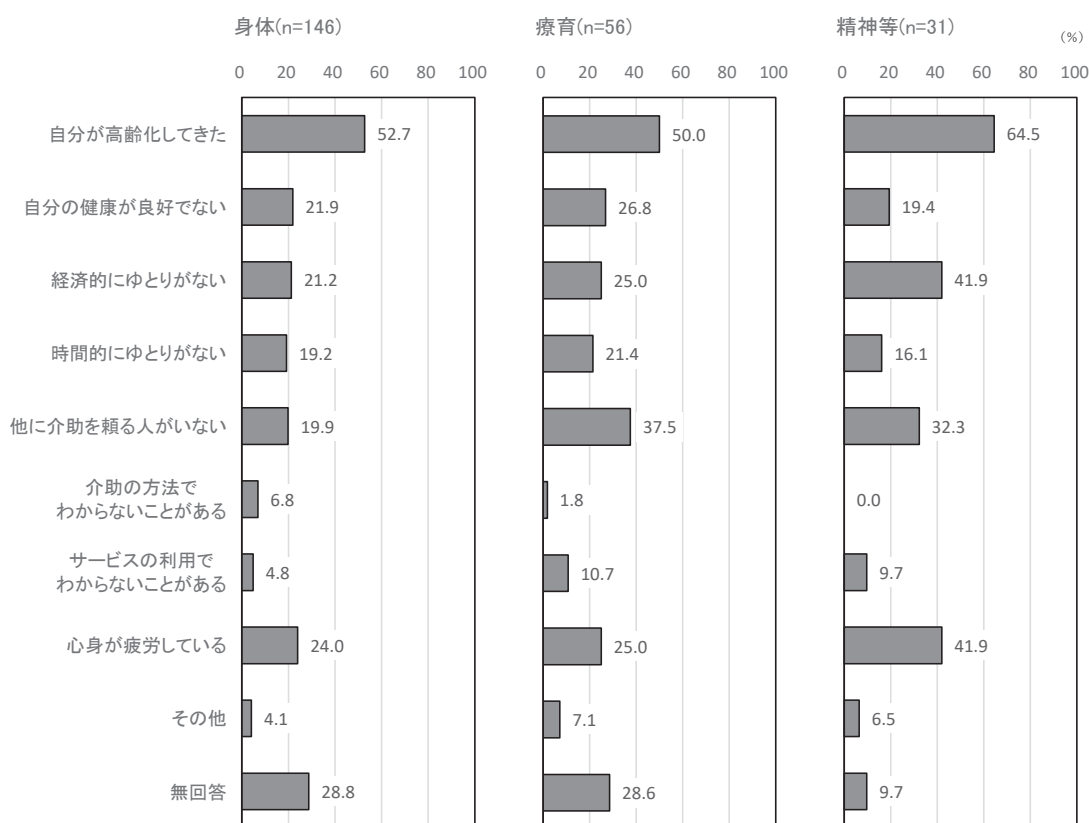
61 主な介助者の方におたずねします。今困っていることは何ですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 57，療育：問 55，精神等：問 57]

介護での困りごとについては、いずれの調査対象でも、「自分が高齢化してきた」が最も多く、身体で 52.7%、療育で 50.0%、精神等で 64.5%となっています。

次いで、身体で「心身が疲労している」が 24.0%、「自分の健康が良好でない」が 21.9%、療育で「他に介助を頼る人がいない」が 37.5%、「自分の健康が良好でない」が 26.8%、精神等で「経済的にゆとりがない」、「心身が疲労している」がともに 41.9%となっています。

介護での困りごと



Ⅱ- 13 介助者について

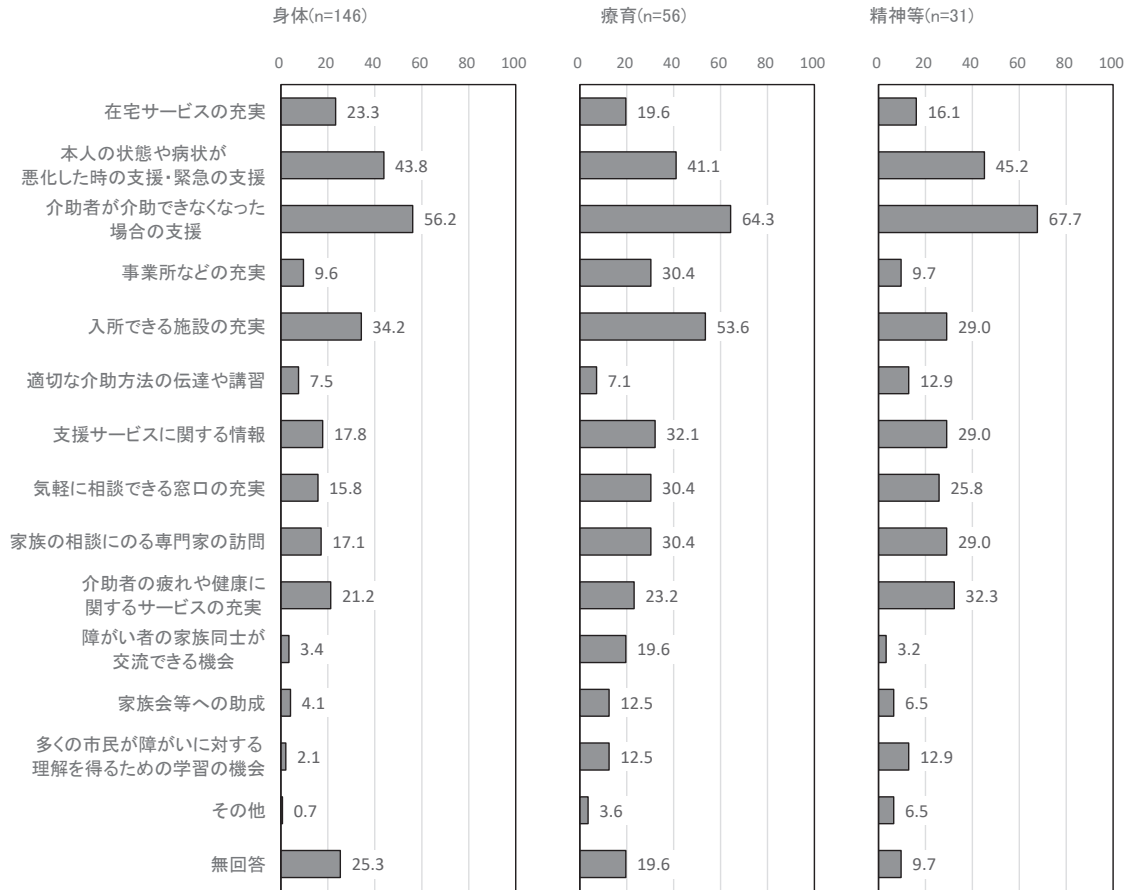
〔5〕 介助者に必要な支援

62 主な介助者の方におたずねします。介助者にとってどのような支援が必要だと思いますか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

[身体：問 58，療育：問 56，精神等：問 58]

介助者に必要な支援については、いずれの調査対象でも「介助者が介助できなくなった場合の支援」が最も多くなっています。次いで、身体で「本人の状態や病状が悪化した時の支援・緊急の支援」が43.8%、「入所できる施設の充実」が34.2%、療育で「入所できる施設の充実」が53.6%、「本人の状態や病状が悪化した時の支援・緊急の支援」が41.1%、精神等で「本人の状態や病状が悪化した時の支援・緊急の支援」が45.2%、「介助者の疲れや健康に関するサービスの充実」が32.3%となっています。

介助者に必要な支援



城陽市障がい者計画等策定に関する
アンケート調査結果報告書

城陽市 福祉保健部

令和5年(2023年)7月 発行

〒610-0195 城陽市寺田東ノ口16番地、17番地

電話 0774-56-4033
